

平成 27 年度  
牧之原市 市民意識調査  
～ 報告書 ～

平成 27 年 6 月  
牧 之 原 市

<b>1 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1) 調査の目的.....	1
2) 調査項目.....	1
3) 調査の設計.....	1
4) 回収状況.....	1
<b>2 調査結果</b> .....	<b>2</b>
1) 調査結果の要約.....	2
2) 調査結果の詳細.....	9
< 牧之原市での暮らしについて >.....	9
< 原子力発電について >.....	17
< 子育て環境について >.....	19
< 公共施設の更新問題について >.....	22
< 産業・雇用について >.....	27
< 地域活動について >.....	31
< 市からの情報発信について >.....	38
< 牧之原市の行政サービスについて >.....	51
< 回答者の属性 >.....	69
<b>3 調査票</b> .....	<b>70</b>

# 1 調査の概要

## 1) 調査の目的

この調査は、市の様々な取り組みに対する市民の意識を把握し、市政に反映させるとともに、平成27年度からスタートした第2次総合計画推進のための資料とすることを目的とする。

## 2) 調査項目

- ・ 牧之原市での暮らしについて
- ・ 子育て環境について
- ・ 産業・雇用について
- ・ 市からの情報発信について
- ・ 回答者の属性
- ・ 原子力発電について
- ・ 公共施設の更新問題について
- ・ 地域活動について
- ・ 牧之原市の行政サービスについて
- ・ 日ごろ思うこと（自由意見）

## 3) 調査の設計

- ・ 調査対象：牧之原市在住（市内に住民票がある人）の16歳以上の男女
- ・ 調査方法：無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- ・ 調査期間：平成27年5月1日～平成27年5月15日
- ・ 発送数：1,395通（1,400人抽出のうち転居等で5通は不達）

## 4) 回収状況

対象者数	有効回収数	有効回収率
1,395人	833人	59.7%

抽出数は1,400人であるが、事前転居や宛先不明により市内に居住が認められない5人については対象外とした  
回収数835人のうち無効票2人

### ◎ 報告書を見る際の注意事項

※回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してある。

※百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。

※1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

※選択肢の文章が長い場合、グラフ上では省略して表記していることがある。

## 2 調査結果

### 1) 調査結果の要約

#### 牧之原市での暮らしについて

##### ◆ 牧之原市に住み続けたい人は約6割

現在の住まいの場所での定住意向は、「住み続けたい」が59.5%で最も高くなっており、平成21年度以降、年々減少していたが、今年度はわずかに増加している。

##### ◆ 他の地域へ移りたい理由のトップは、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」で約5割

他の地域へ移りたい理由は、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が52.0%と最も高く、次いで「公共施設や商店がなく生活に不便だから」が40.3%、「通勤や通学など交通面が不便だから」が31.2%などとなっている。

##### ◆ 今現在、幸せだと思う人は6割以上

今現在、「幸せだと思う」（「大いに思う」＋「ある程度思う」）と回答した人は66.7%と6割以上を占めており、昨年度と比較すると、「幸せだと思う」が2.7ポイント低くなっている。一方、「幸せだと思わない」（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）と回答した人は7.5%と、1割未満にとどまっており、幸福感は高いと思われる。

##### ◆ 幸せだと思う主な理由は、健康と家族・友人との人間関係

幸せだと思う理由は、「健康であるから」が66.4%と最も高く、次いで「家族や友人との関係が良好だから」が50.9%、「住まいがあるから」が44.6%などとなっている。

#### 原子力発電について

##### ◆ 浜岡原子力発電所の今後については「停止しておいたほうがよい」が半数以上

浜岡原子力発電所の今後については、「停止しておいたほうがよい」が52.5%と半数以上を占めており、昨年度と比較すると2.8ポイント低くなっている。一方、「安全が確認できれば、稼動したほうがよい」は20.2%となっている。

## 子育て環境について

### ◆ 牧之原市を、“子どもを産み育てやすい環境だと思う”人は約3割

子育て環境については、「(産み育てやすいと) ある程度思う」が28.2%で最も高く、「大いに思う」と合わせた“子どもを産み育てやすい環境だと思う”は、31.0%となっている。昨年度と比較すると、“子どもを産み育てやすい環境だと思う”は2.5ポイント低くなっており、一方、“子どもを産み育てやすい環境だと思わない”は1.5ポイント高くなっている。

### ◆ 子どもを産み育てやすい環境にするために市が取り組むべきことは、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」で6割以上

子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことについては、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が64.5%と6割を超え最も高く、次いで「医療費の無料化」が44.1%、「地震・津波などの災害対策」が31.5%などとなっている。

## 公共施設の更新問題について

### ◆ 公共施設の更新問題（老朽化問題）の認知度は約3割

公共施設の更新問題（老朽化問題）の認知度については、「聞いたことがある」が39.0%と最も高く、次いで「知らない」が30.3%、「知っている」が28.5%となっている。

### ◆ 公共施設の更新問題（老朽化問題）に対応するための取り組みの認知度は1割未満

公共施設の更新問題（老朽化問題）に対する牧之原市の取り組みの認知度については、「知らない」が68.3%と約7割を占め最も高く、次いで「聞いたことがある」が20.8%となっており、「知っている」は6.8%で、認知度は1割を下回っている。

### ◆ 公共施設の更新問題（老朽化問題）に対応するための取り組み情報の入手経路トップは「広報まきのはら」で7割以上

公共施設の更新問題（老朽化問題）に対応するための取り組み情報の入手経路は、「広報まきのはら」が74.3%と最も高く、次いで「家族や知人」が28.3%、「議員の話」が13.9%などとなっている。

### ◆ 施設の統廃合により、施設が利用できなくなったり、使用料の値上がりを“容認できる”人は約8割

公共施設の更新問題（老朽化問題）への対応を進めることで起こる諸問題については、「容認できる」と「ある程度までは容認できる」を合わせた“容認できる”が82.6%と、約8割を占めている。一方、「容認できない」は14.2%と、1割程度にとどまっている。

## 産業・雇用について

### ◆ 市の産業について、“活力（元気）があると思う”人は1割未満

市の産業に活力（元気）があると思うかについては、「大いに思う」と「ある程度思う」を合わせた“活力（元気）があると思う”が8.3%と、1割未満にとどまっている。一方、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた“活力（元気）があると思わない”は53.9%となっている。

### ◆ もっとも活力（元気）のある産業は、「農業」で約6割

もっとも活力（元気）があると思う産業については、「農業」が58.0%で最も高く、次いで「工業」が43.5%、「水産業」が21.7%などとなっている。

### ◆ 市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取り組みは、「企業誘致の促進」が約5割

市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取り組みについては、「企業誘致の促進」が49.1%で最も高く、次いで「後継者の育成への支援」が37.0%、「特産品・製品の市外へのPR」が35.3%などとなっている。

## 地域活動について

### ◆ 一週間あたりの外出日数は、「毎日」が約5割

一週間あたりの外出日数については、「毎日」が47.1%と約5割を占めている。次いで「週に4～5日」が19.0%、「週に2～3日」が18.5%などとなっている。

### ◆ 外出目的のトップは、「買い物」で8割以上

外出の目的については、「買い物」が82.4%と最も高く、8割を超えている。次いで「仕事（農作業含む）」が61.9%、「趣味や娯楽」が37.9%などとなっている。

### ◆ 現在参加している地域活動のトップは、「自治会の行事」で3割以上

現在参加している地域活動については、「自治会の行事」が35.2%と最も高くなっている。次いで「防犯や防災」が20.0%、「文化芸術」が15.4%などとなっている。一方、「参加していない」は29.3%で、約3割となっている。

### ◆ 地域活動の活発・活性化に必要と思うことは、「住民の自治意識の向上」が約5割

地域活動の活発・活性化に必要と思うことについては、「住民の自治意識の向上」が48.0%と約半数を占めて最も高く、次いで「行政と住民との地域情報の共有」が41.4%、「人材育成」が26.8%などとなっている。

## 市からの情報発信について

### ◆ 市から得たい情報のトップは、「健康・医療・福祉」で6割以上

市から得たい情報については、「健康・医療・福祉」が65.8%と最も高く、次いで「防災・防犯」が47.5%、「観光・イベント」が27.6%などとなっている。昨年度と比較すると、「子育て」と「防災・防犯」がそれぞれ3.1ポイント低くなっている。

### ◆ 市からの情報の入手手段トップは、「広報まきのはら」で約8割

市からの情報の入手手段については、「広報まきのはら」が77.1%と最も高く、他の項目と比べても突出して高くなっている。次いで「家族や知人」が36.9%、「区、町内会の会合」が29.1%などとなっている。

### ◆ 広報まきのはらで読まれている箇所は、「全て」が半数以上

広報まきのはらの中で読んでいる箇所については、「全て」が56.7%と半数を超え最も高く、次いで「特集・お知らせ」が22.6%、「表紙」が18.5%などとなっている。

### ◆ 広報まきのはらの文字の大きさ・文字の量・ページ数は、「ちょうど良い」が8割以上、見やすさは“見やすい”が約7割、内容は“良い”が6割以上

広報まきのはらの文字の大きさについては、「ちょうど良い」が86.0%と8割以上を占めている。

文字の量については、「ちょうど良い」が82.5%と約8割を占めている。

ページ数については、「ちょうど良い」が80.1%と約8割を占めている

見やすさについては、「見やすい」と「どちらかといえば見やすい」を合わせた“見やすい”は71.4%と約7割を占め、「どちらかといえば見にくい」と「見にくい」を合わせた“見にくい”は9.8%と約1割を占めている。

内容については、「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた“良い”は66.1%と6割を超えており、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた“悪い”は6.7%と1割未満にとどまっている。

## 牧之原市の行政サービスについて

### ◆【健康福祉】 支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり◆

「救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制」の満足度が最も低い

『救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』の満足度は、「やや不満」と「不満」の合計である“不満”が63.8%と6割を超え、評価点も-0.68点と低くなっている。一方で、『救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』の重要度は、『こども医療費制度』とともに評価点が1.13点で最も高くなっている。

### ◆【教育文化】 地域全体で学び、育てる教育の場づくり◆

「子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み」の重要度が最も高い

『生涯学習など教養を高める機会の提供、趣味などのサークル活動への参加機会の提供』の満足度は、「満足」と「やや満足」の合計である“満足”が61.6%と唯一6割を超えており、評価点も0.47点と高くなっている。一方、重要度では『子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み』の評価点が0.99点で最も高くなっている。

### ◆【産業経済】 活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり◆

全ての項目で満足度がマイナス評価、重要度がプラス評価

『耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み』の満足度は、「やや不満」と「不満」の合計である“不満”が77.6%と約8割を占め、評価点も-1.02点と低くなっている。一方、重要度では『企業誘致の取り組み』で「高い」が33.3%と3割以上を占め、評価点も0.80点と高くなっている。

### ◆【生活基盤】 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり◆

「公共交通の充実」の満足度が低く、「生活環境対策などへの取り組み」の重要度が高い

『公共交通の充実』の満足度は、「不満」が29.5%と約3割を占めて最も高く、評価点も-0.83点と低くなっている。一方、重要度では『生活環境対策などへの取り組み』で、「高い」と「やや高い」の合計である“高い”が72.2%と7割以上を占め、評価点も0.93点と高くなっている。

### ◆【防災】 安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり◆

震災・火災・水害・浸水対策への取り組みの重要度が最も高い

『夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み』では、「やや不満」と「不満」の合計である“不満”が58.9%と約6割を占めて最も高く、評価点も-0.45点と低くなっている。一方、重要度では『震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』で、「高い」が47.5%と約半数を占め、評価点は1.20点で、全項目の中で最も高い評価点となっている。次いで『自主防災組織の強化のための取り組み』も1.11点と高くなっており、震災・防災に関する取り組みの重要度が高いことがわかる。



◆【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり◆

「行政改革の取り組み」の満足度が低く、「市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信」の重要度が最も高い

『行政改革の取り組み』では、「不満」が 11.2%と 1 割を超えて最も高く、評価点も-0.33 点と低くなっている。一方、重要度では『市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』で、「高い」と「やや高い」の合計である“高い”が 62.5%と 6 割以上を占め、評価点も 0.62 点と高くなっている。

～ 全ての取り組みの満足度・重要度の評価点順位 ～

■■■ 満足度 ■■■

■■■ 重要度 ■■■

順位	取り組み	分野	27年度 (A)	26年度 (B)	差 (A)-(B)	順位	取り組み	分野	27年度 (A)	26年度 (B)	差 (A)-(B)
1	子ども医療費制度		0.51	0.46	0.04	1	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み		1.20	1.02	0.17
2	生涯学習など教養を高める機会の提供、趣味などのサークル活動への参加機会の提供		0.47	0.28	0.19	2	救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制		1.13	1.07	0.06
3	学校や地域で子どもを守る取り組み		0.32	0.35	-0.02	3	子ども医療費制度		1.13	1.00	0.13
4	消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み		0.29	0.19	0.10	4	自主防災組織の強化のための取り組み		1.11	1.01	0.10
5	健康相談などの日常的な保健活動		0.29	0.21	0.08	5	幼稚園・保育園・認定子ども園等の充実		1.07	0.93	0.14
6	幼稚園・保育園・認定子ども園等の充実		0.27	0.24	0.02	6	学校や地域で子どもを守る取り組み		1.06	1.12	-0.06
7	健康づくりサービスの推進		0.24	0.15	0.08	7	子育て支援の取り組み		1.01	0.89	0.12
8	生活環境対策などへの取り組み		0.20	0.19	0.01	8	子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み		0.99	0.95	0.04
9	小・中学校施設の整備		0.15	0.00	0.16	9	消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み		0.98	0.97	0.01
10	市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる充分な情報発信		0.14	0.19	-0.05	10	高齢者への福祉サービスの取り組み		0.97	0.79	0.18
11	上水道施設整備の取り組み		0.12	0.06	0.06	11	福祉施設などの整備		0.94	0.90	0.03
12	姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み		0.11	0.07	0.04	12	生活環境対策などへの取り組み		0.93	0.96	-0.03
13	子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み		0.09	-0.10	0.18	13	道路や河川の補修・整備		0.86	0.64	0.22
14	公害防止対策への取り組み		0.07	-0.10	0.17	14	道路交通の安全対策		0.86	0.84	0.01
15	障がい者への福祉サービスの取り組み		0.05	-0.04	0.09	15	福祉施設などの整備		0.84	0.85	-0.01
16	子育て支援の取り組み		0.05	0.06	-0.01	16	障がい者への福祉サービスの取り組み		0.84	0.75	0.09
17	悩みごと相談など各種相談窓口の充実		0.05	-0.02	0.07	17	学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取り組み		0.82	0.87	-0.05
18	地区公民館などの活動拠点の施設整備		0.03	0.11	-0.07	18	夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み		0.81	0.81	0.00
19	伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み		0.02	0.06	-0.04	19	企業誘致の取り組み		0.80	0.59	0.21
20	学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取り組み		0.01	-0.11	0.13	20	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み		0.80	0.69	0.11
21	高齢者への福祉サービスの取り組み		0.00	-0.03	0.03	21	上水道施設整備の取り組み		0.79	0.76	0.03
22	行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業への取り組み		-0.01	-0.15	0.14	22	風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み		0.76	0.76	0.00
23	地域福祉活動を行うボランティア等への支援		-0.02	-0.15	0.13	23	公共交通の充実		0.74	0.60	0.13
24	自主防災組織の強化のための取り組み		-0.02	-0.01	-0.01	24	健康づくりサービスの推進		0.72	0.84	-0.11
25	風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み		-0.07	-0.31	0.25	25	公害防止対策への取り組み		0.67	0.63	0.04
26	公共スポーツ施設の整備		-0.12	-0.17	0.05	26	起業支援、産業雇用支援の取り組み		0.65	0.51	0.14
27	文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取り組み		-0.13	-0.17	0.04	27	特産品の消費推進の取り組み		0.64	0.57	0.06
28	NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組み整備		-0.14	-0.29	0.16	28	市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる充分な情報発信		0.62	0.75	-0.13
29	情報通信技術（ICT）の環境整備の取り組み		-0.18	-0.35	0.17	29	観光誘客促進のための取り組み		0.62	0.51	0.10
30	自治会の住民自治活動への支援		-0.18	-0.32	0.14	30	耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み		0.58	0.49	0.09
31	自然環境の保全への取り組み		-0.21	-0.22	0.01	31	茶業安定の取り組み		0.58	0.51	0.07
32	福祉施設などの整備		-0.21	-0.18	-0.03	32	商工業の振興の取り組み		0.58	0.49	0.09
33	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み		-0.26	-0.27	0.02	33	計画的な土地利用の推進		0.57	0.48	0.09
34	サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み		-0.30	-0.48	0.18	34	農漁業の担い手への支援の取り組み		0.56	0.40	0.15
35	行政改革の取り組み		-0.33	-0.55	0.22	35	空港を活用するための取り組み		0.55	0.62	-0.08
36	街並みや周辺の景観・美観への取り組み		-0.34	-0.37	0.03	36	健康相談などの日常的な保健活動		0.52	0.68	-0.16
37	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み		-0.34	-0.49	0.15	37	悩みごと相談など各種相談窓口の充実		0.52	0.40	0.12
38	各種イベントの開催		-0.35	-0.21	-0.13	38	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み		0.52	0.42	0.09
39	道路や河川の補修・整備		-0.37	-0.48	0.12	39	公園・緑地の管理や整備の取り組み		0.51	0.41	0.11
40	道路交通の安全対策		-0.39	-0.52	0.12	40	街並みや周辺の景観・美観への取り組み		0.49	0.39	0.11
41	夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み		-0.45	-0.59	0.14	41	行政改革の取り組み		0.48	0.67	-0.19
42	特産品の消費推進の取り組み		-0.47	-0.40	-0.07	42	商店街の魅力向上の取り組み		0.47	0.44	0.04
43	空港を活用するための取り組み		-0.48	-0.71	0.23	43	情報通信技術（ICT）の環境整備の取り組み		0.43	0.39	0.04
44	住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信		-0.48	-0.55	0.07	44	自治会の住民自治活動への支援		0.43	0.45	-0.02
45	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み		-0.49	-0.54	0.05	45	各種イベントの開催		0.40	0.17	0.24
46	茶業安定の取り組み		-0.51	-0.25	-0.25	46	自然環境の保全への取り組み		0.38	0.39	-0.01
47	公園・緑地の管理や整備の取り組み		-0.53	-0.43	-0.10	47	地域福祉活動を行うボランティア等への支援		0.36	0.44	-0.08
48	計画的な土地利用の推進		-0.56	-0.62	0.06	48	生涯学習など教養を高める機会の提供、趣味などのサークル活動への参加機会の提供		0.36	0.43	-0.07
49	農漁業の担い手への支援の取り組み		-0.61	-0.78	0.17	49	地区公民館などの活動拠点の施設整備		0.35	0.53	-0.18
50	商工業の振興の取り組み		-0.63	-0.58	-0.05	50	伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み		0.33	0.38	-0.05
51	救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制		-0.68	-0.74	0.06	51	文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取り組み		0.30	0.24	0.06
52	起業支援、産業雇用支援の取り組み		-0.71	-0.71	0.00	52	住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信		0.28	0.23	0.05
53	観光誘客促進のための取り組み		-0.81	-0.62	-0.19	53	行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業への取り組み		0.27	0.33	-0.06
54	商店街の魅力向上の取り組み		-0.83	-0.82	-0.01	54	公共スポーツ施設の整備		0.23	0.40	-0.17
55	公共交通の充実		-0.83	-0.83	0.00	55	NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組み整備		0.15	0.20	-0.05
56	企業誘致の取り組み		-0.89	-0.87	-0.02	56	サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み		0.12	0.22	-0.11
57	耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み		-1.02	-1.04	0.02	57	姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み		0.04	-0.03	0.06

\* 分野の凡例



【健康福祉】 支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり



【教育文化】 地域全体で学び、育てる教育の場づくり



【産業経済】 活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり



【生活基盤】 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり



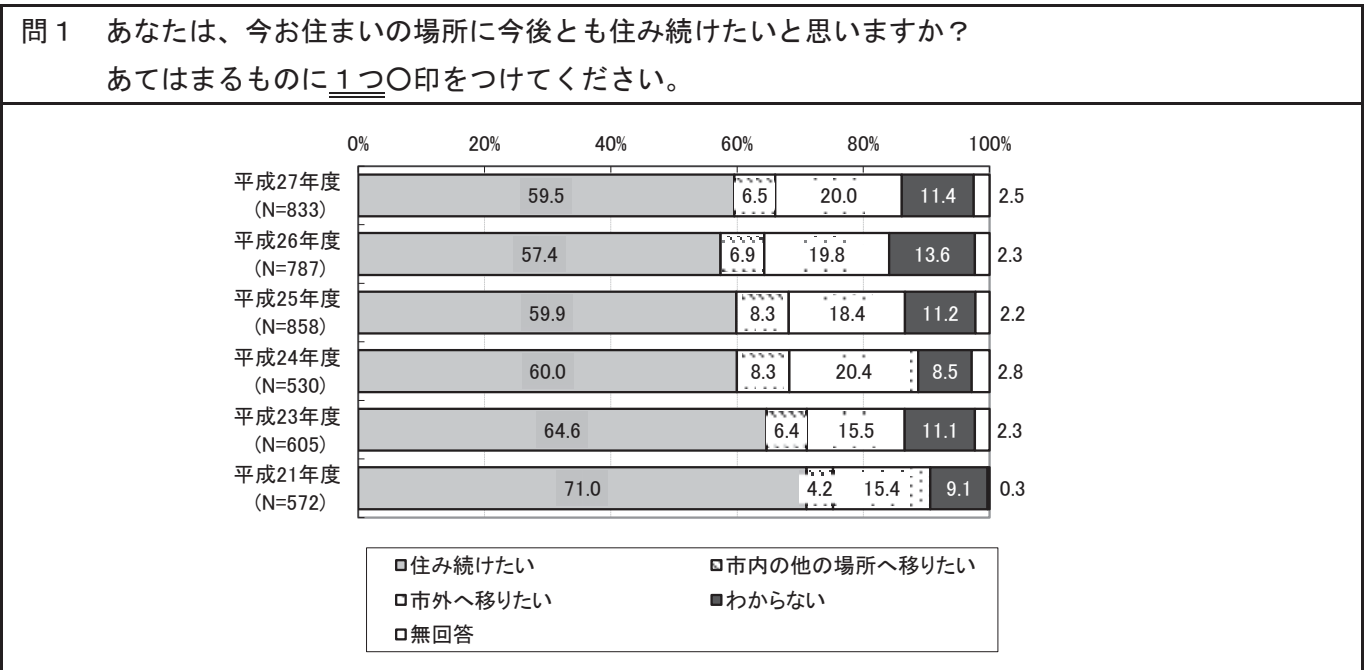
【防災】 安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり



【市政経営】 実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり

## 2) 調査結果の詳細

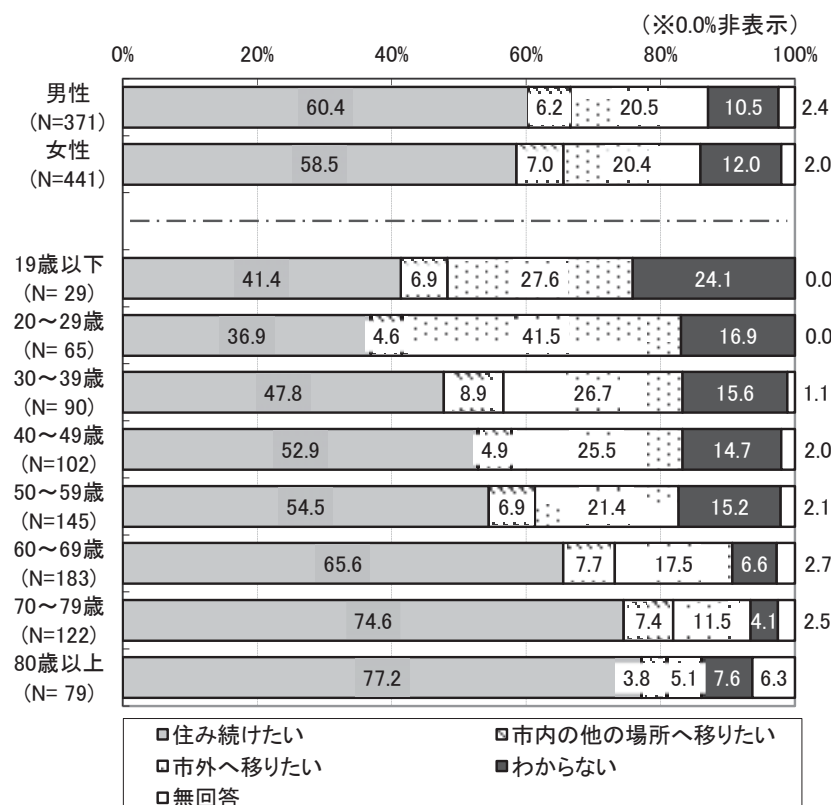
### <牧之原市での暮らしについて>



現在の住まいの場所での定住意向については、「住み続けたい」が59.5%で、最も高い。「市外へ移りたい」は20.0%で2割を占めている。

昨年度と比較すると、「住み続けたい」は2.1ポイント高くなっており、平成21年度以降、年々減少していたが、今年度はわずかに増加している。

### クロス集計



#### 【性別】

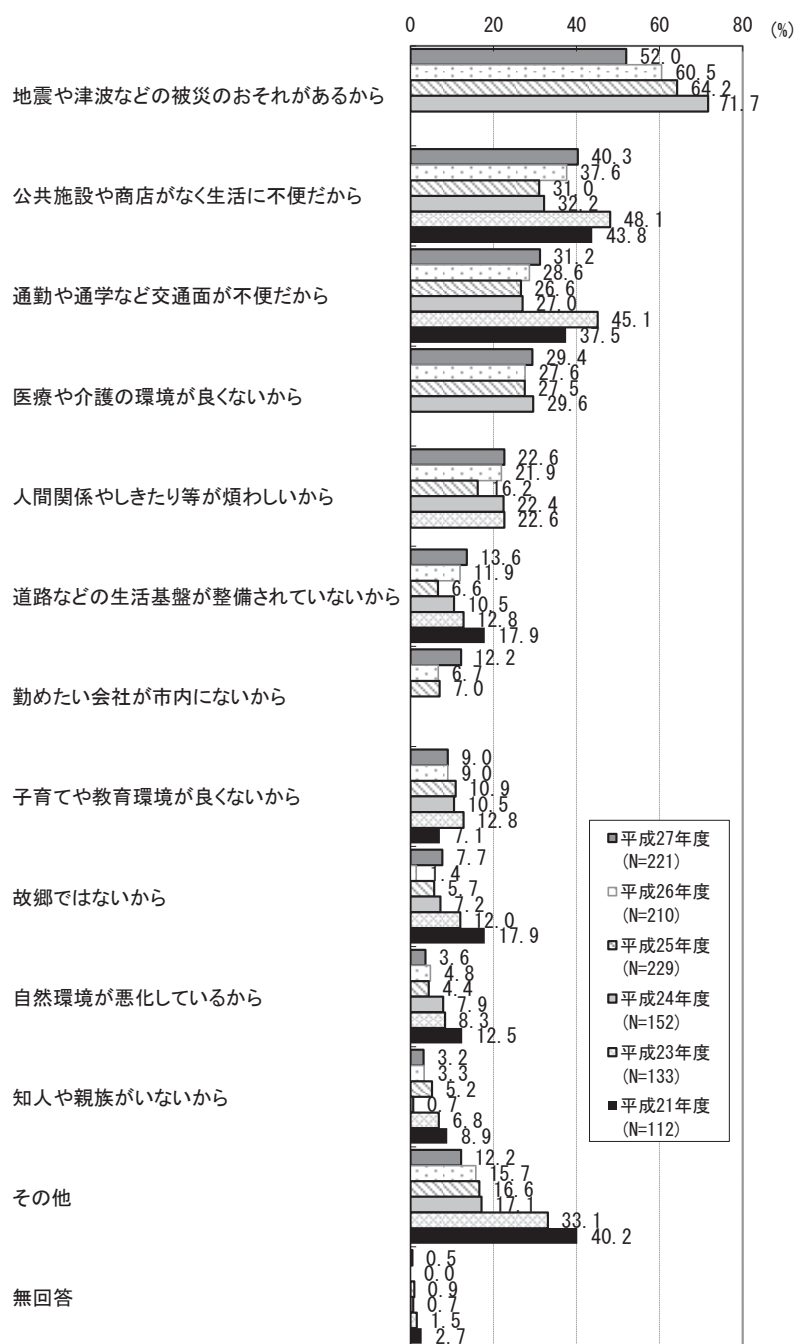
性別による大きな差異は見られない。

#### 【年代別】

年代が上がるにつれて、「住み続けたい」が高くなる傾向にあり、特に80歳以上においては約8割となっている。一方、「60歳未満」では「市外へ移りたい」が2割以上を占め、特に20～29歳では41.5%と約4割を占めている。

(問1で「2. 市内の他の場所へ移りたい」または「3. 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きします。)

問2 他の地域へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



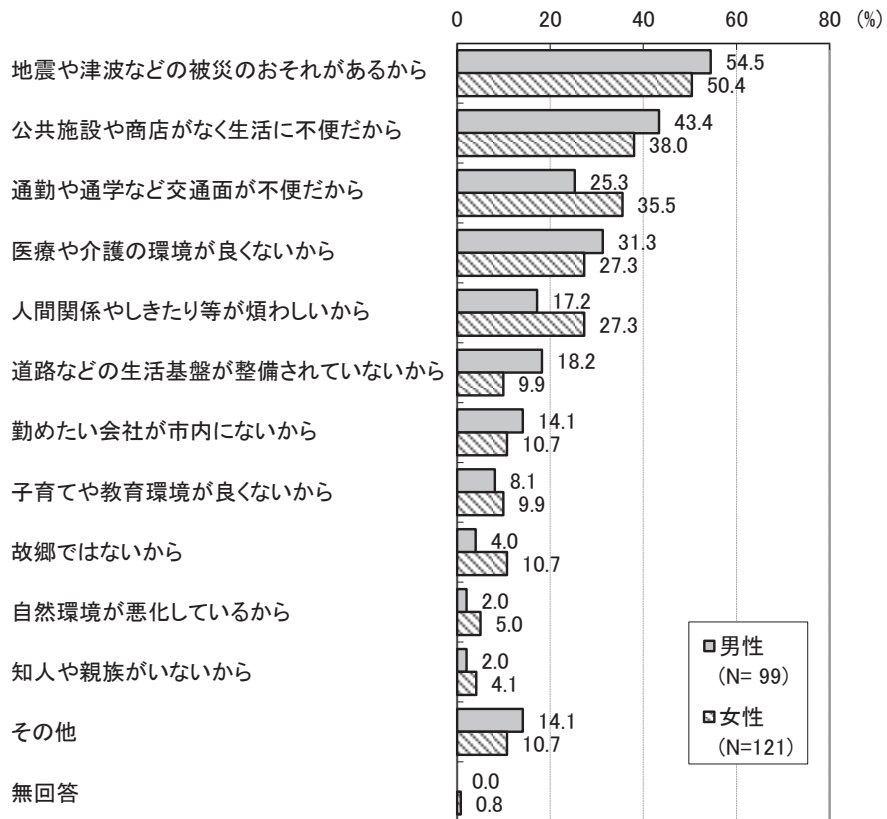
※「地震や津波などの被災のおそれがあるから」は、平成24年度より追加された項目

※「勤めたい会社が市内にないから」は、平成25年度より追加された項目

問1で「市内の他の場所へ移りたい」または「市外へ移りたい」と回答した221人に他の地域へ移りたい理由についてうかがったところ、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が52.0%と最も高く、次いで「公共施設や商店がなく生活に不便だから」が40.3%、「通勤や通学など交通面が不便だから」が31.2%などとなっている。

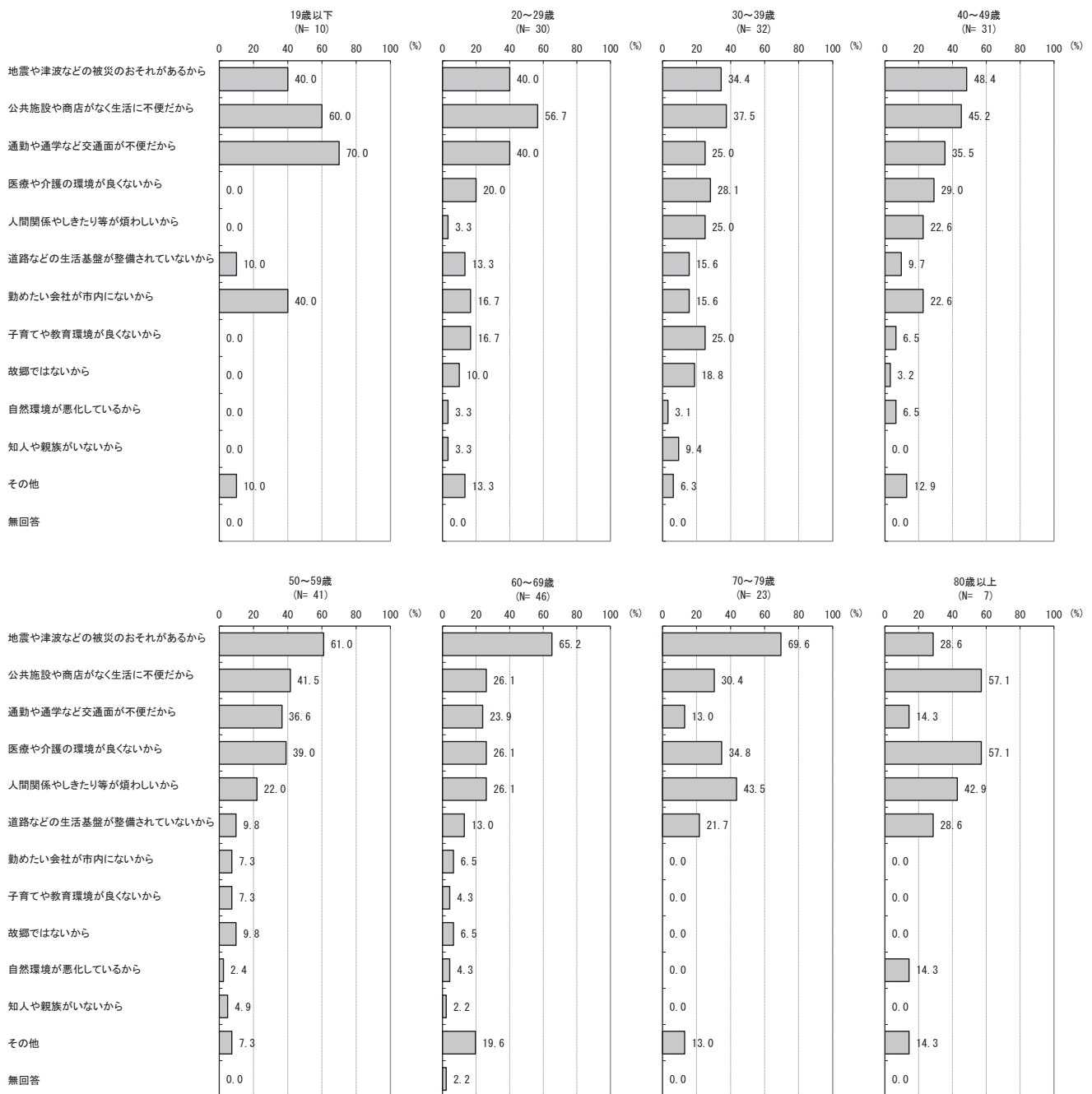
昨年度と比較すると、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が8.5ポイント低くなっており、平成24年度以降、年々減少している。

クロス集計



【性別】

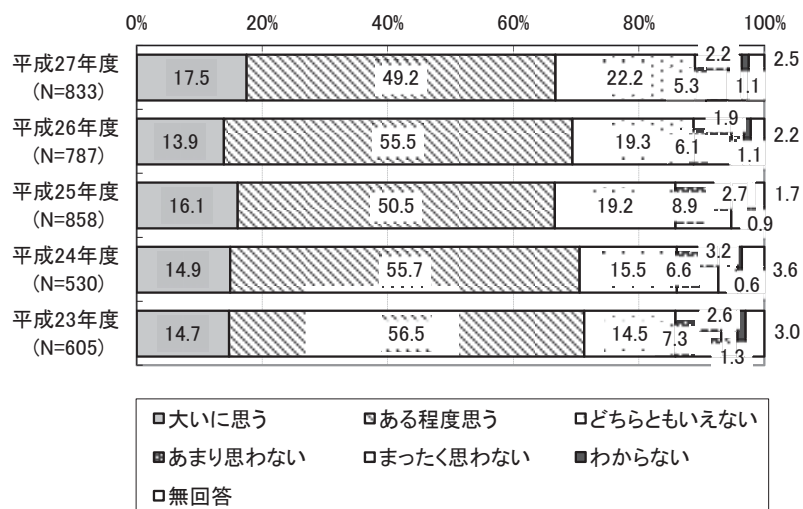
女性において「通勤や通学など交通面が不便だから」が35.5%と、男性を10.2ポイント上回っている。また、「人間関係やしきたり等が煩わしいから」が27.3%と、男性を10.1ポイント上回っている。一方、男性では「道路などの生活基盤が整備されていないから」が18.2%と、女性を8.3ポイント上回っている。



### 【年代別】

“40～79 歳”において「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が最も高くなっており、特に70～79歳では約7割となっている。また、19歳以下で「通勤や通学などに交通面が不便だから」、20～29歳と80歳以上で「公共施設や商店がなく生活に不便だから」、80歳以上では「医療や介護の環境が良くないから」が、他の年代に比べて高くなっている。

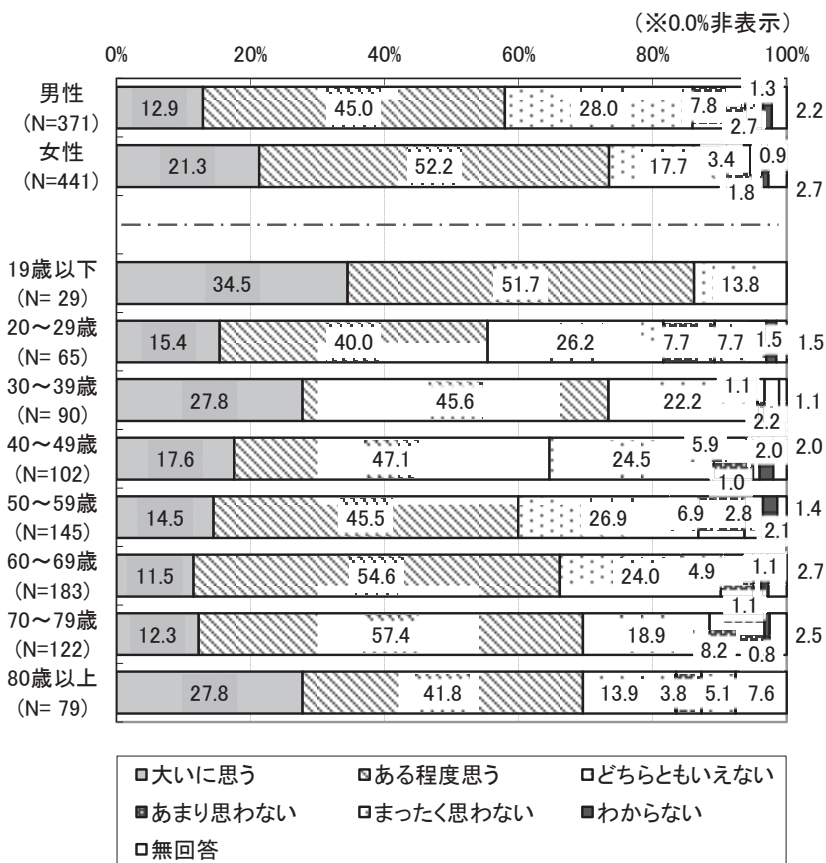
問3 あなたは、今現在、幸せだと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



今現在、幸せだと思うかについては、「ある程度思う」が49.2%と約5割を占めている。次いで「どちらともいえない」が22.2%、「大いに思う」が17.5%などとなっている。「大いに思う」と「ある程度思う」を合わせた“幸せだと思う”は66.7%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた“幸せだと思わない”は7.5%となっている。

昨年度と比較すると、“幸せだと思う”が2.7ポイント低くなっている。

クロス集計



【性別】

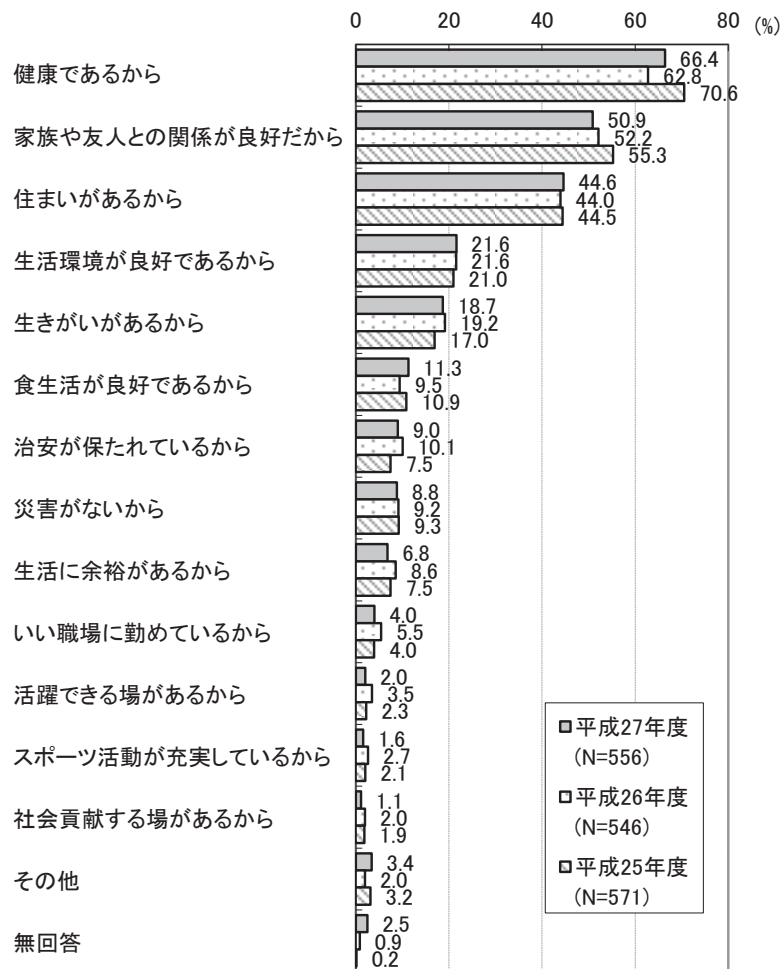
女性において「ある程度思う」が52.2%と約5割を占め、“幸せだと思う”が73.5%と男性を15.6ポイント上回っている。一方、男性では“幸せだと思わない”が10.5%と約1割を占め、女性を5.3ポイント上回っている。

【年代別】

19歳以下において「大いに思う」が34.5%と唯一3割を超えている。一方、20～29歳では“幸せだと思う”が55.4%と唯一6割を下回り、他の年代に比べて低くなっている。

(問3で「1. 大いに思う」または「2. ある程度思う」と答えた方にお聞きします。)

問4 幸せだと思う理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

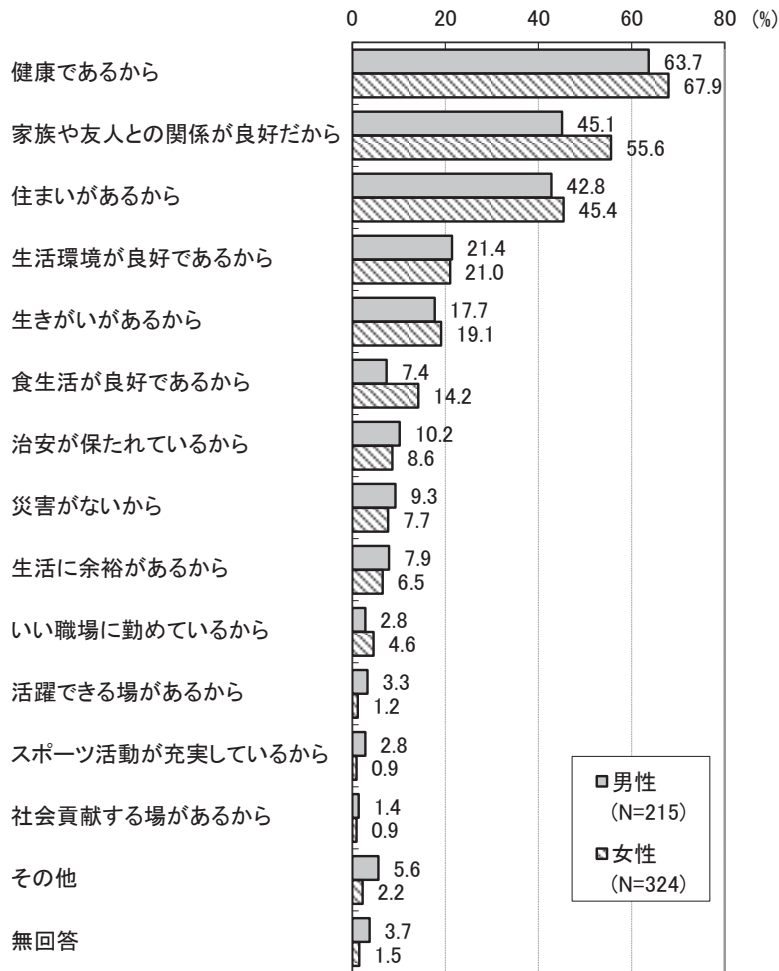


問3で「大いに思う」または「ある程度思う」と回答した 556 人に幸せだと思う理由についてうかがったところ、「健康であるから」が 66.4%と最も高く、次いで「家族や友人との関係が良好だから」が 50.9%、「住まいがあるから」が 44.6%などとなっている。

昨年度に比べ、「健康であるから」が 3.6 ポイント高くなっている。

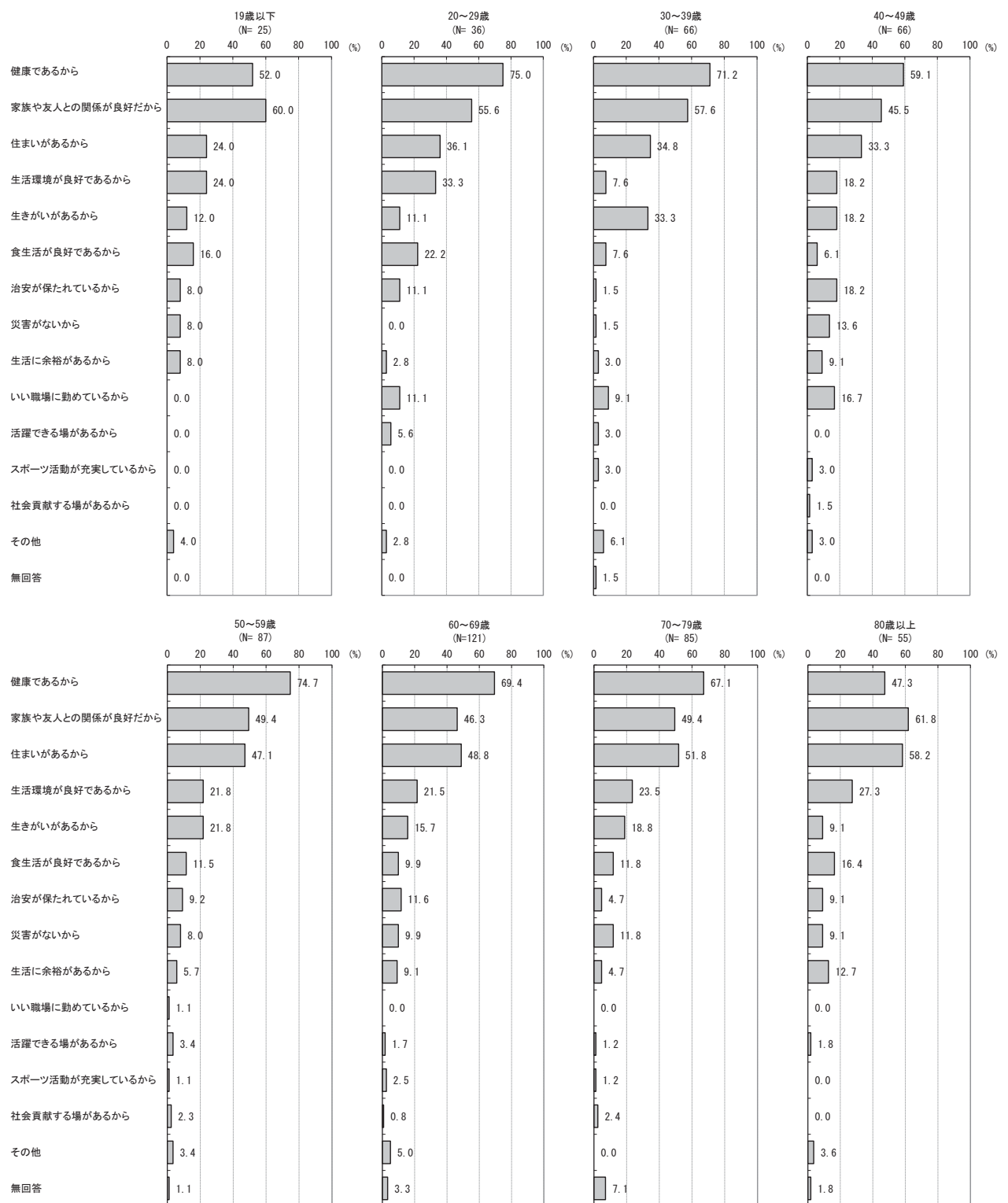


クロス集計



【性別】

回答割合の高い項目では、男性に比べて女性の割合がやや上回っており、特に「家族や友人との関係が良好だから」では 55.6%と、男性を 10.5 ポイント上回っている。また、「食生活が良好であるから」は 14.2%と、男性を 6.8 ポイント上回っている。一方、「活躍できる場があるから」では男性において 3.3%と、女性を 2.1 ポイント上回っている。

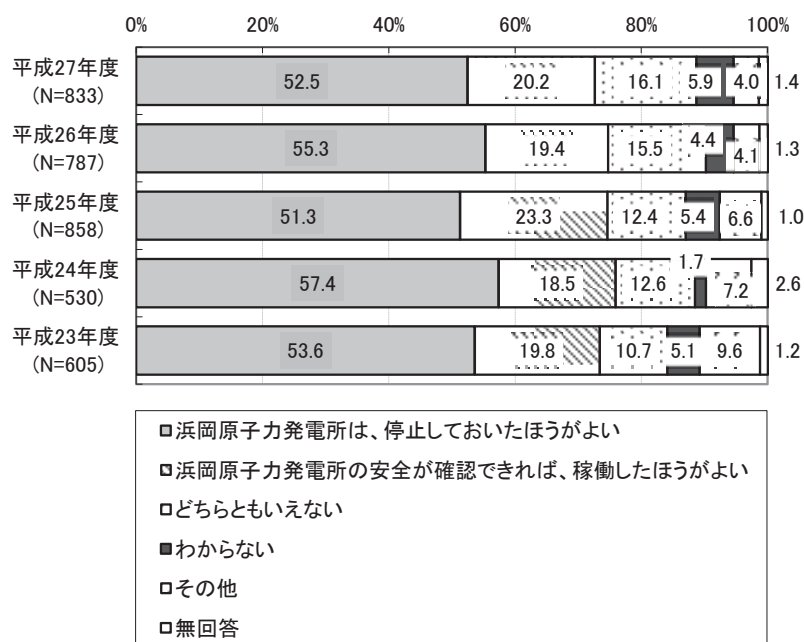


### 【年代別】

“20～79歳”においては「健康であるから」、19歳以下と80歳以上では「家族や友人との関係が良好だから」が最も高くなっている。また、30～39歳で「生きがいがあるから」、80歳以上では「住まいがあるから」が、他の年代に比べて高くなっている。

## <原子力発電について>

問5 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？  
 あてはまるものに1つ○印をつけてください。

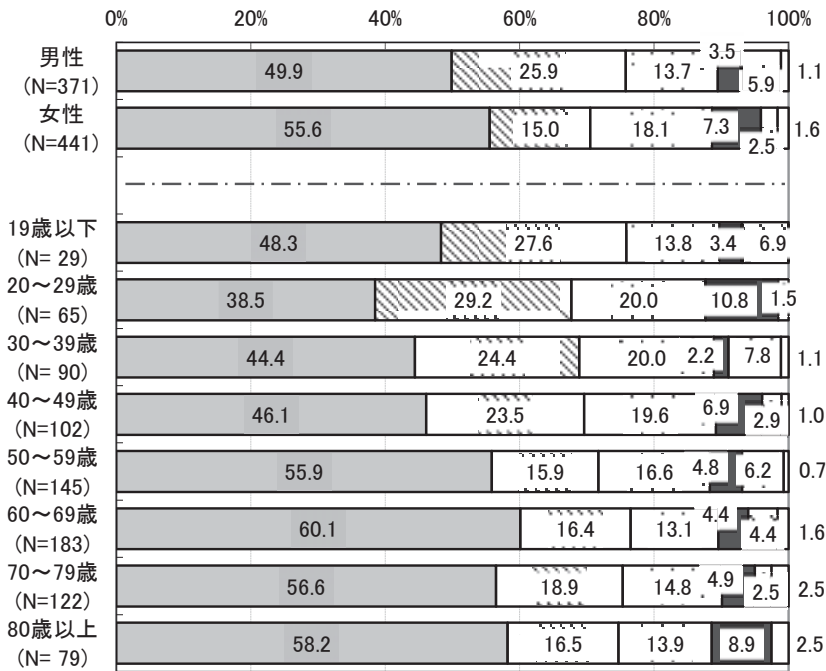


浜岡原子力発電所の今後については、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が52.5%と半数以上を占めている。一方、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」は20.2%で、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」の半分以下にとどまっている。

昨年度と比較すると、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」は2.8ポイント低くなっている。

クロス集計

(※0.0%非表示)



- 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい
- 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい
- どちらともいえない
- わからない
- その他
- 無回答

【性別】

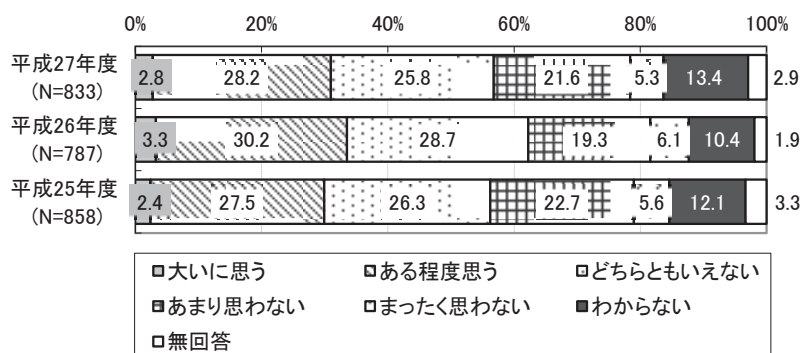
女性において「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が55.6%と、男性を5.7ポイント上回っている。一方、男性では「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が25.9%と、女性を10.9ポイント上回っている。

【年代別】

「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が19歳以下で27.6%、20～29歳で29.2%と約3割を占めている。一方、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」は、60～69歳で60.1%と、唯一6割を超えている。

## <子育て環境について>

問6 あなたは、牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと思いますか？  
 あてはまるものに1つ○印をつけてください。

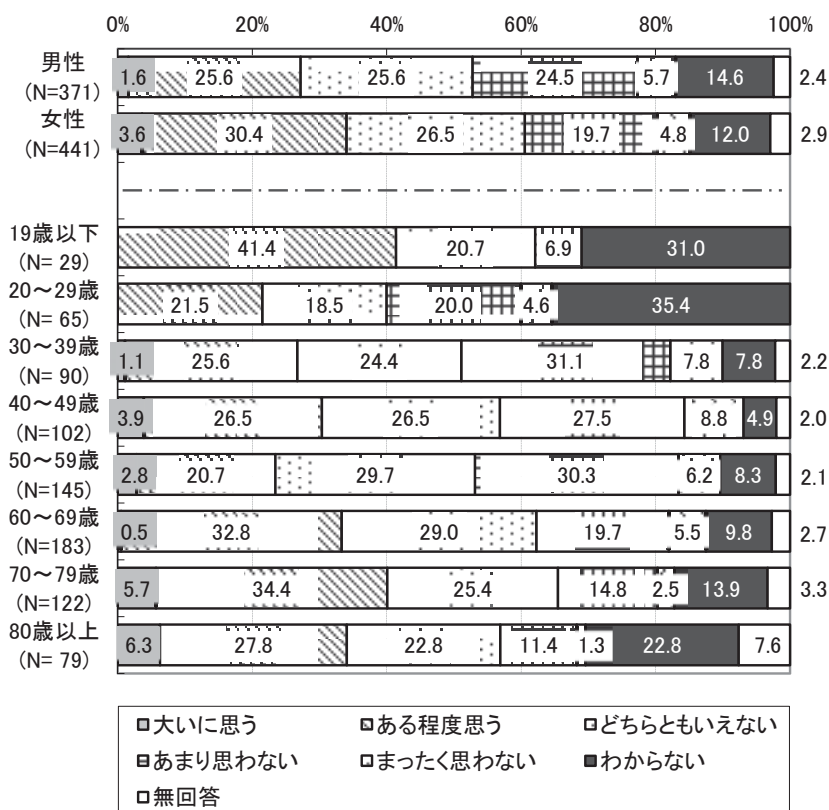


子育て環境については、「(産み育てやすいと) ある程度思う」が 28.2%と約3割を占め最も高く、「大いに思う」と合わせた“子どもを産み育てやすい環境だと思う”は 31.0%となっている。一方、「あまり思わない」は 21.6%と約2割を占め、「まったく思わない」(5.3%) と合わせた“子どもを産み育てやすい環境だと思わない”は 26.9%となっている。

昨年度と比較すると、“子どもを産み育てやすい環境だと思う”は 2.5 ポイント低くなっており、“子どもを産み育てやすい環境だと思わない”は 1.5 ポイント高くなっている。

### クロス集計

(※0.0%非表示)



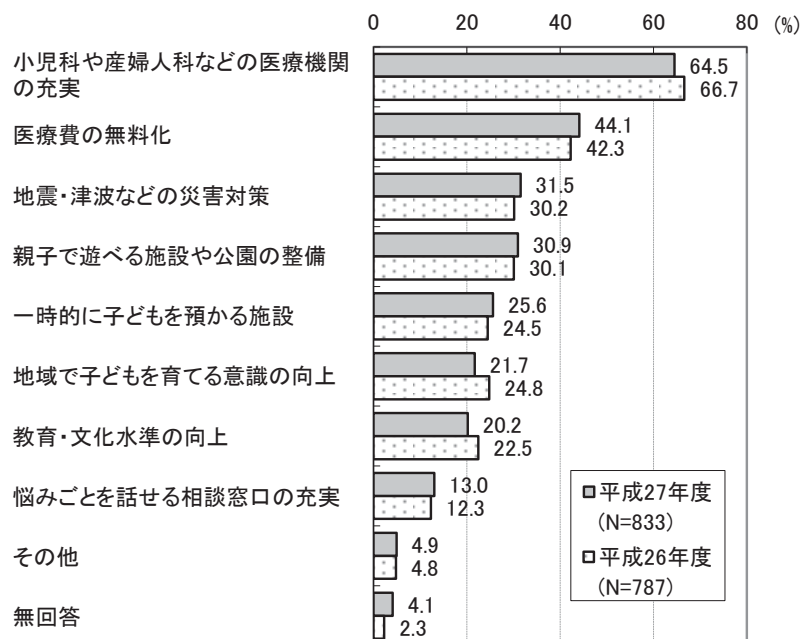
#### 【性別】

女性において“子どもを産み育てやすい環境だと思う”が 34.0%と、男性を 6.8 ポイント上回っている。一方、男性では“子どもを産み育てやすい環境だと思わない”が 30.2%と、女性を 5.7 ポイント上回っている。

#### 【年代別】

30~39歳において“子どもを産み育てやすい環境だと思わない”が 38.9%と、約4割を占めている。一方、19歳以下と70~79歳では“子どもを産み育てやすい環境だと思う”が4割以上を占めている。

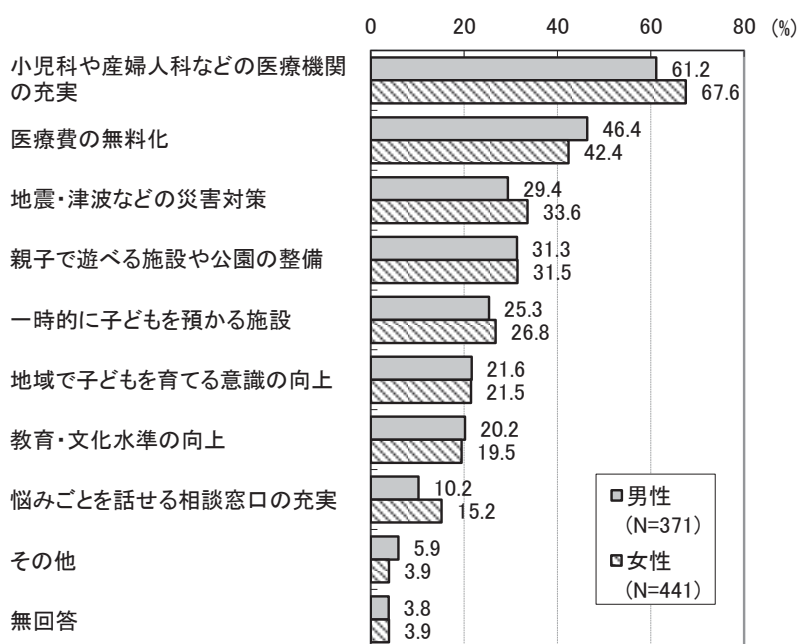
問7 あなたは、子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことはどれだと思いますか？  
次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことについては、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が64.5%と6割以上を占め最も高く、次いで「医療費の無料化」が44.1%、「地震・津波などの災害対策」が31.5%などとなっている。

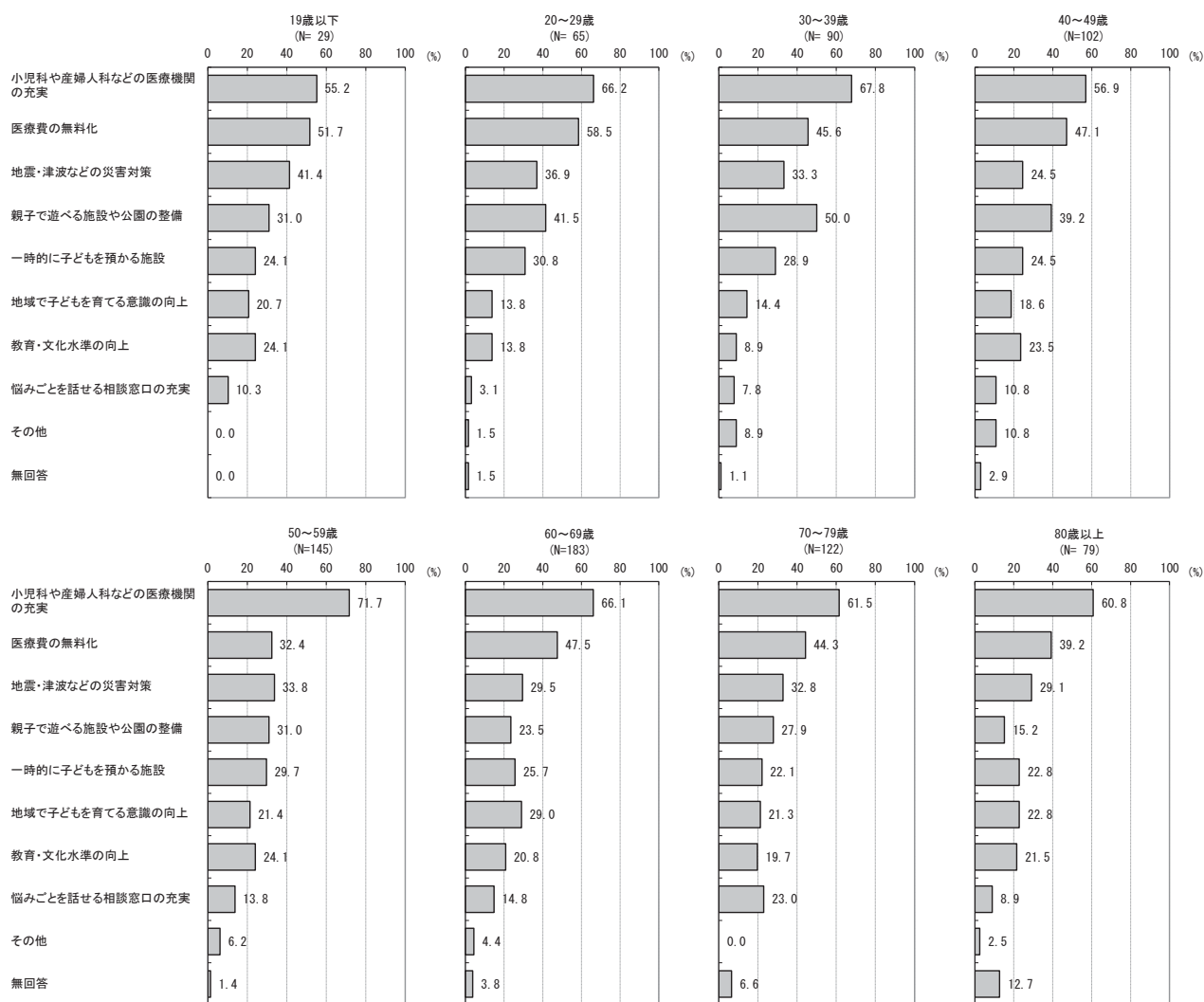
昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

### クロス集計



### 【性別】

ほとんどの項目で男性に比べて女性の割合がやや上回っており、特に「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」では男性を6.4ポイント上回っている。一方、男性では、「医療費の無料化」が女性を4.0ポイント上回っている。

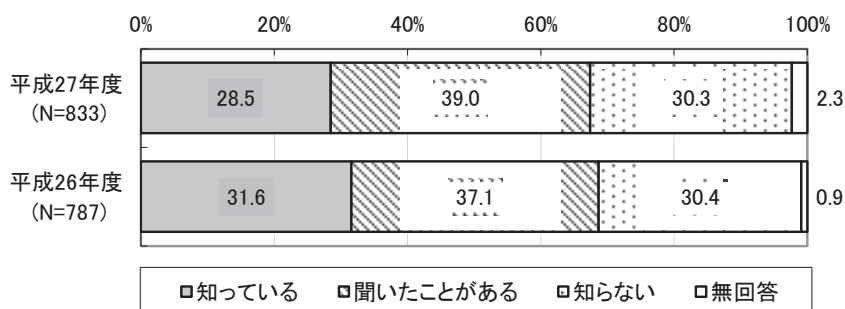


### 【年代別】

全ての年代において「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が最も高くなっており、特に 50～59 歳では 71.7%と 7 割を超えている。また、20～29 歳で「医療費の無料化」、30～39 歳で「親子で遊べる施設や公園の整備」、70～79 歳では「悩みごとを話せる相談窓口の充実」が、他の年代に比べて高くなっている。

## <公共施設の更新問題について>

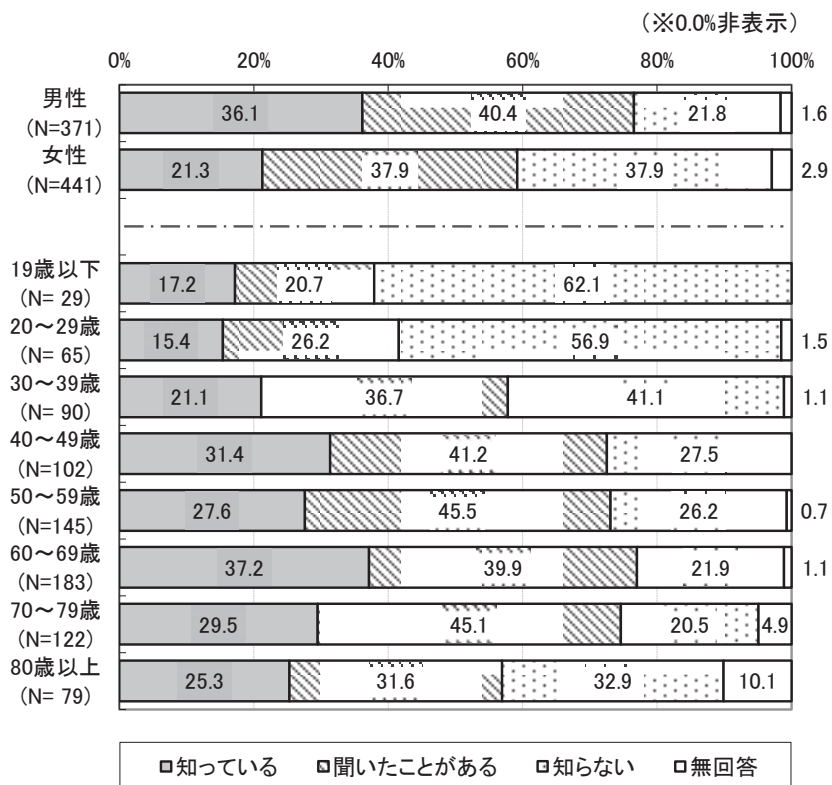
問8 あなたは、「公共施設の更新問題（老朽化問題）」を知っていましたか？  
あてはまるものに1つ○印をつけてください。



公共施設の更新問題（老朽化問題）の認知度については、「聞いたことがある」が39.0%と最も高く、次いで「知らない」が30.3%、「知っている」が28.5%となっている。

昨年度と比較すると、「知っている」が3.1ポイント低くなっている。

### クロス集計



#### 【性別】

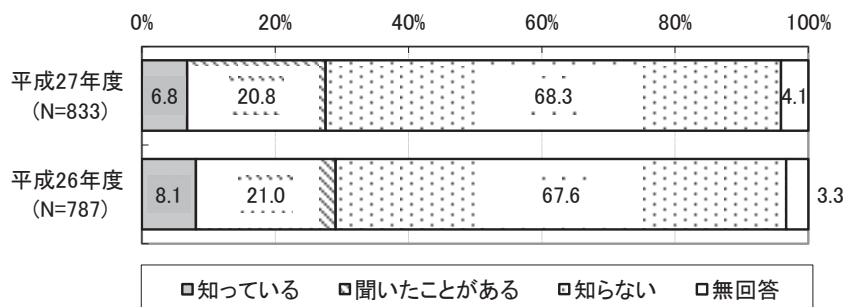
男性において「知っている」が36.1%と3割以上を占め、女性を14.8ポイント上回っている。一方、女性では「知らない」が37.9%と、男性を16.1ポイント上回っている。

#### 【年代別】

60~69歳において「知っている」が37.2%と、約4割を占めている。一方、“30歳未満”では「知らない」が半数以上を占めている。



問9 牧之原市では、「公共施設の更新問題（老朽化問題）」に対応するための取り組みを始めました。  
 あなたは、この取り組みを知っていましたか？  
 あてはまるものに1つ○印をつけてください。

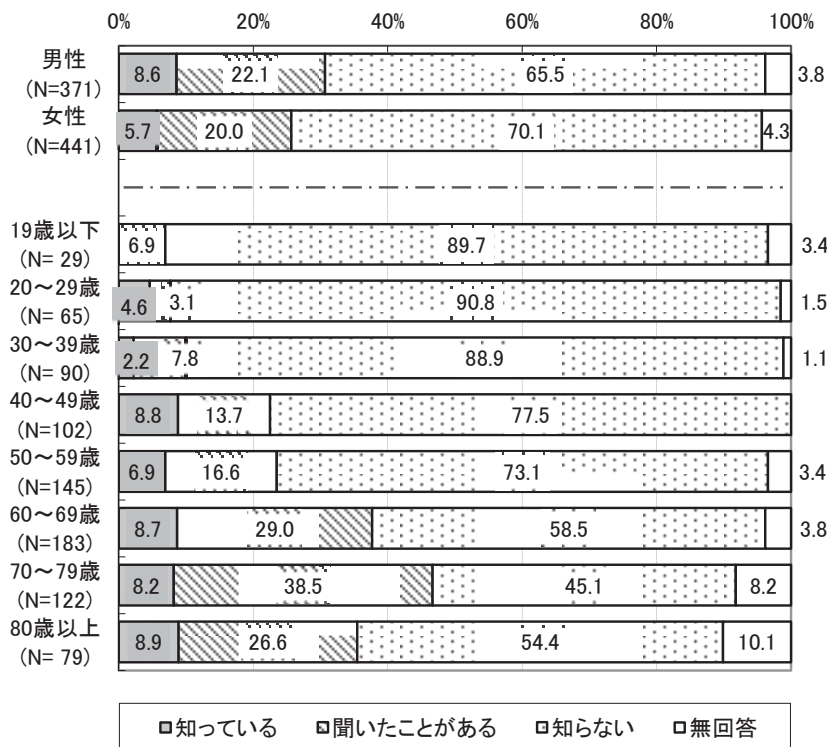


公共施設の更新問題(老朽化問題)に対する牧之原市の取り組みの認知状況については、「知らない」が68.3%と約7割を占め最も高く、次いで「聞いたことがある」が20.8%となっており、「知っている」は6.8%で1割未満となっている。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

### クロス集計

(※0.0%非表示)



#### 【性別】

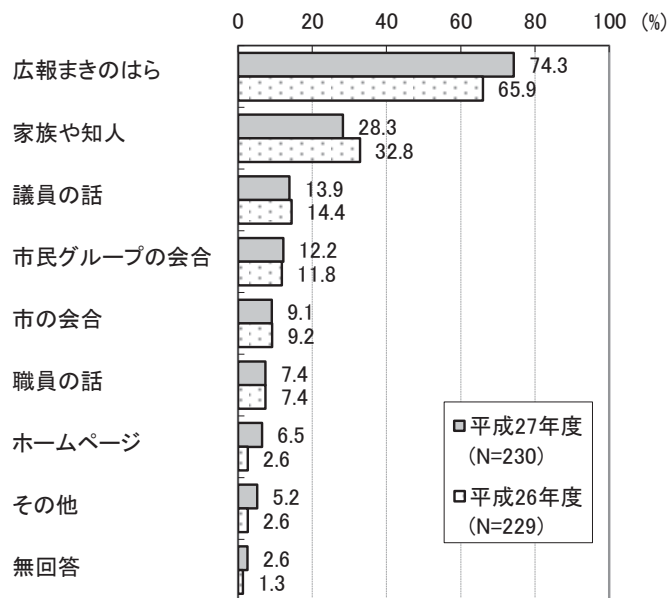
女性において「知らない」が70.1%と、男性を4.6ポイント上回っている。

#### 【年代別】

19歳以下において「知っている」の割合は0.0%となっており、「知らない」が約9割を占めている。一方、「聞いたことがある」の割合は年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、特に70~79歳では38.5%と、約4割を占めている。

(問9で「1. 知っている」または「2. 聞いたことがある」と答えた方にお聞きします。)

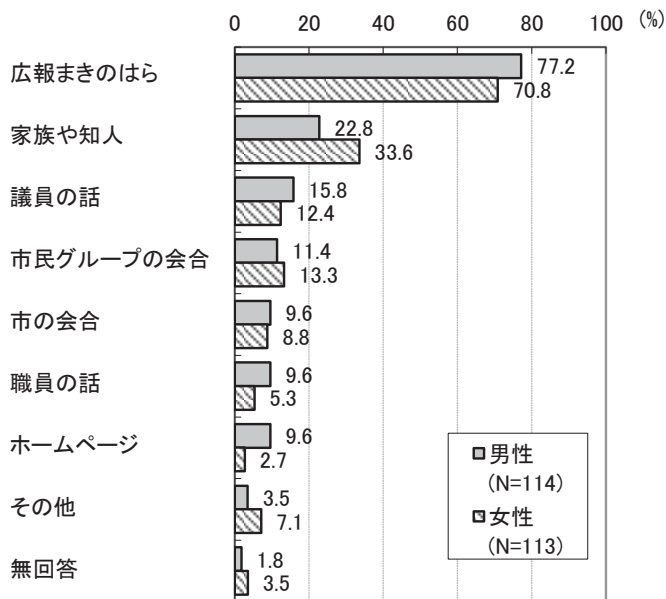
問10 その情報をなにで見聞きましたか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



問9で「知っている」または「聞いたことがある」と回答した 230 人に情報の入手経路についてうかがったところ、「広報まきのほら」が 74.3%と最も高く、次いで「家族や知人」が 28.3%、「議員の話」が 13.9%などとなっている。

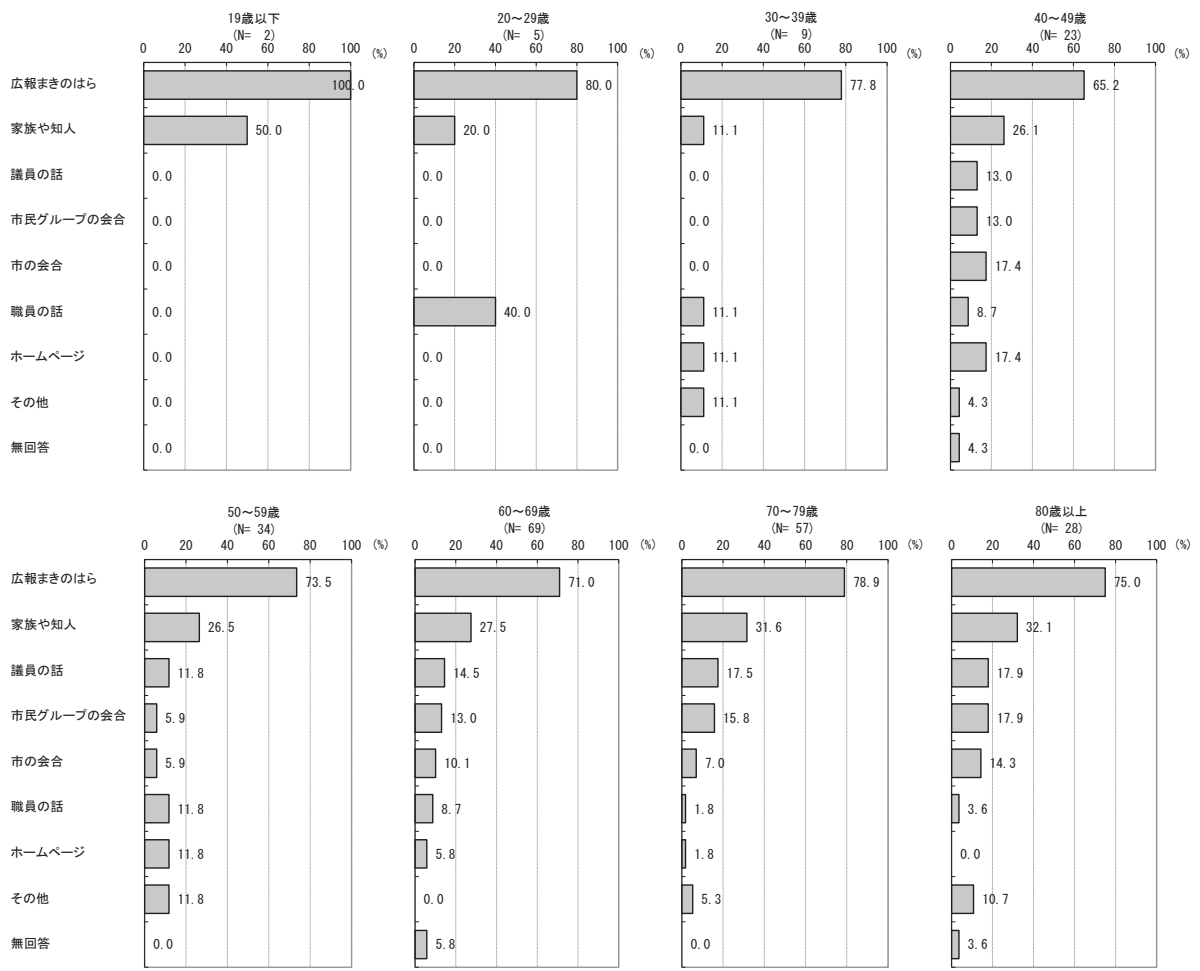
昨年度と比較すると、「広報まきのほら」が 8.4 ポイント高くなっている。

### クロス集計



#### 【性別】

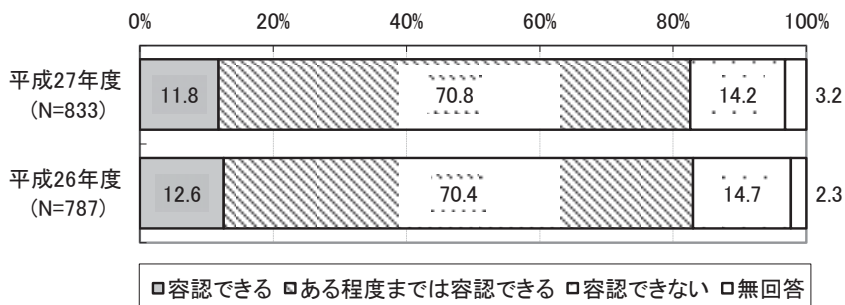
女性において「家族や知人」が 33.6%と 3 割以上を占め、男性を 10.8 ポイント上回っている。一方、男性では「ホームページ」が 9.6%と、女性を 6.9 ポイント上回っている。



### 【年代別】

いずれの年代においても、「広報まきのほら」が最も高くなっており、特に70~79歳では約8割となっている。また、40~49歳では「市の会合」と「ホームページ」が、他の年代に比べ高くなっている。

問11 「公共施設の更新問題（老朽化問題）」への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合があります。  
 このことに対して、あなたはどのように思いますか？  
 あてはまるものに1つ○印をつけてください。

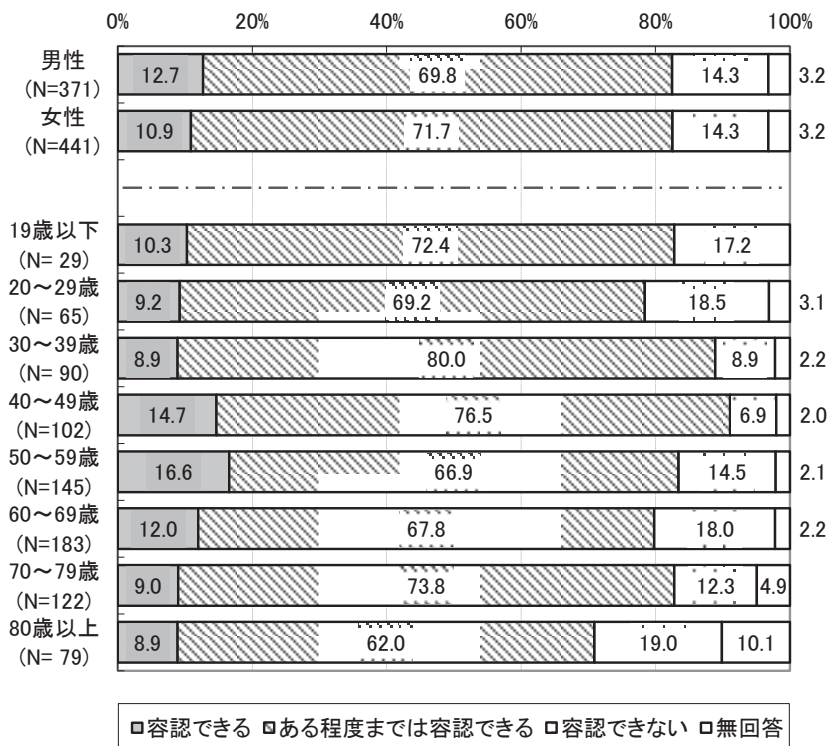


公共施設の更新問題（老朽化問題）への対応を進めることで起こる諸問題についてどう思うかをうかがったところ、「ある程度までは容認できる」が 70.8%で約7割を占め最も高く、次いで「容認できない」が 14.2%、「容認できる」が 11.8%となっている。「容認できる」と「ある程度までは容認できる」を合わせた“容認できる”は 82.6%と、8割以上を占めている。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

### クロス集計

(※0.0%非表示)



#### 【性別】

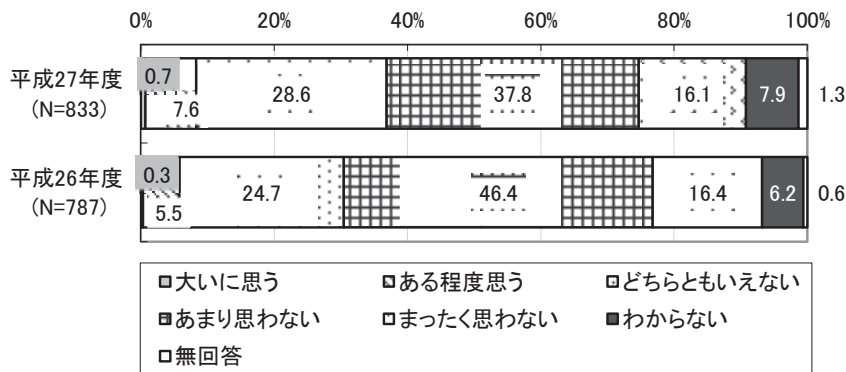
性別による大きな差異はみられない。

#### 【年代別】

いずれの年代においても、“容認できる”が7割以上を占めており、特に40～49歳では91.2%と9割を超えている。

## <産業・雇用について>

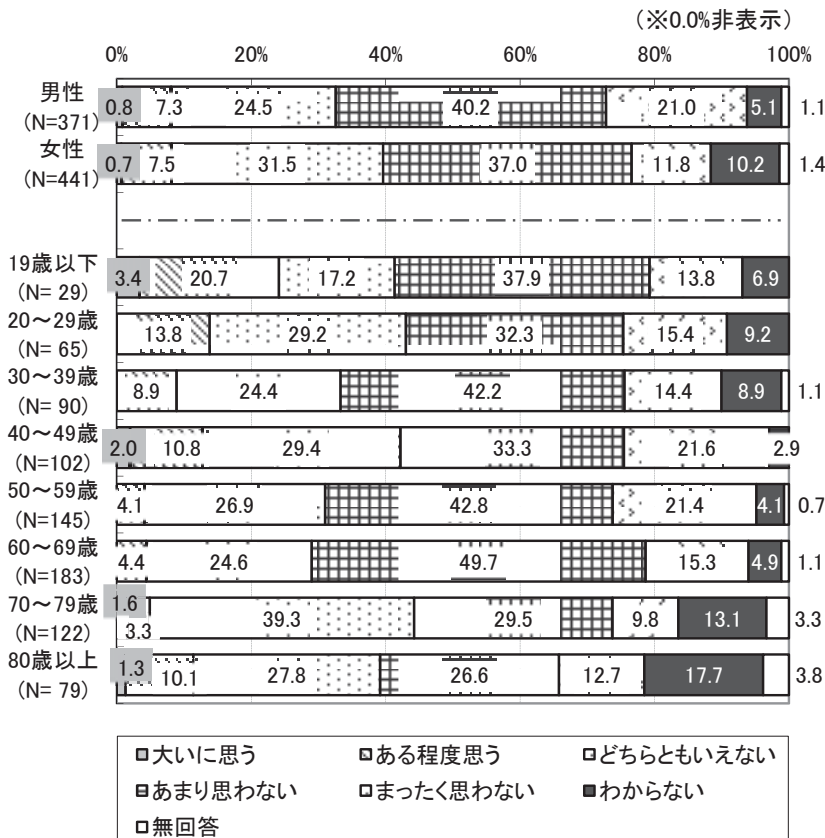
問12 あなたは、市の産業に、活力（元気）があると思いますか。  
あてはまるものに1つ○印をつけてください。



市の産業に活力（元気）があると思うかについては、「あまり思わない」が37.8%と約4割を占めている。次いで「どちらともいえない」が28.6%、「まったく思わない」が16.1%などとなっている。「大いに思う」と「ある程度思う」を合わせた“活力（元気）があると思う”は8.3%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた“活力（元気）があると思わない”は53.9%となっている。

昨年度と比較すると、“活力（元気）があると思う”は2.5ポイント高くなっており、“活力（元気）があると思わない”は8.9ポイント低くなっている。

### クロス集計



#### 【性別】

男性において「まったく思わない」が21.0%と約2割を占め、女性を9.2ポイント上回っている。一方、女性では「どちらともいえない」が31.5%と、男性を7.0ポイント上回っている。

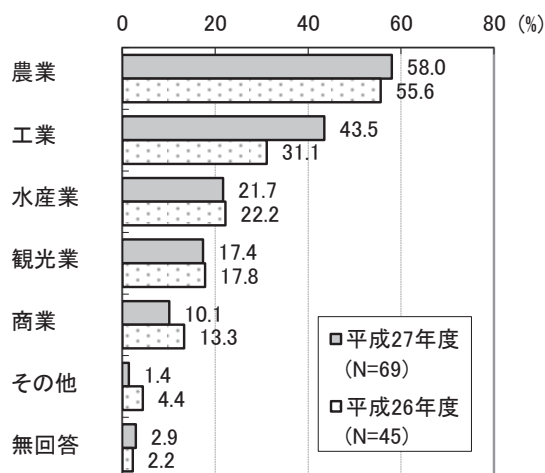
#### 【年代別】

60～69歳において「あまり思わない」が約半数を占めており、また、「40～59歳」において「まったく思わない」が2割以上を占めている。一方、19歳以下では「ある程度思う」が20.7%と唯一2割を超えている。

(問 12 で「1. 大いに思う」または「2. ある程度思う」と答えた方にお聞きします。)

問13 あなたは、どの産業がもっとも活力(元気)があると思いますか。

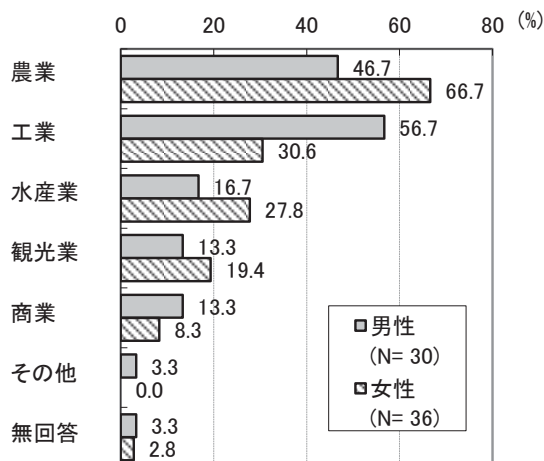
あてはまるものに全てに○印をつけてください。



問 12 で「大いに思う」または「ある程度思う」と回答した 69 人に、どの産業がもっとも活力(元気)があると思うかについてうかがったところ、「農業」が 58.0%と約 6 割を占め最も高く、次いで「工業」が 43.5%、「水産業」が 21.7%などとなっている。

昨年度と比較すると、「工業」が 12.4 ポイント高くなっている。

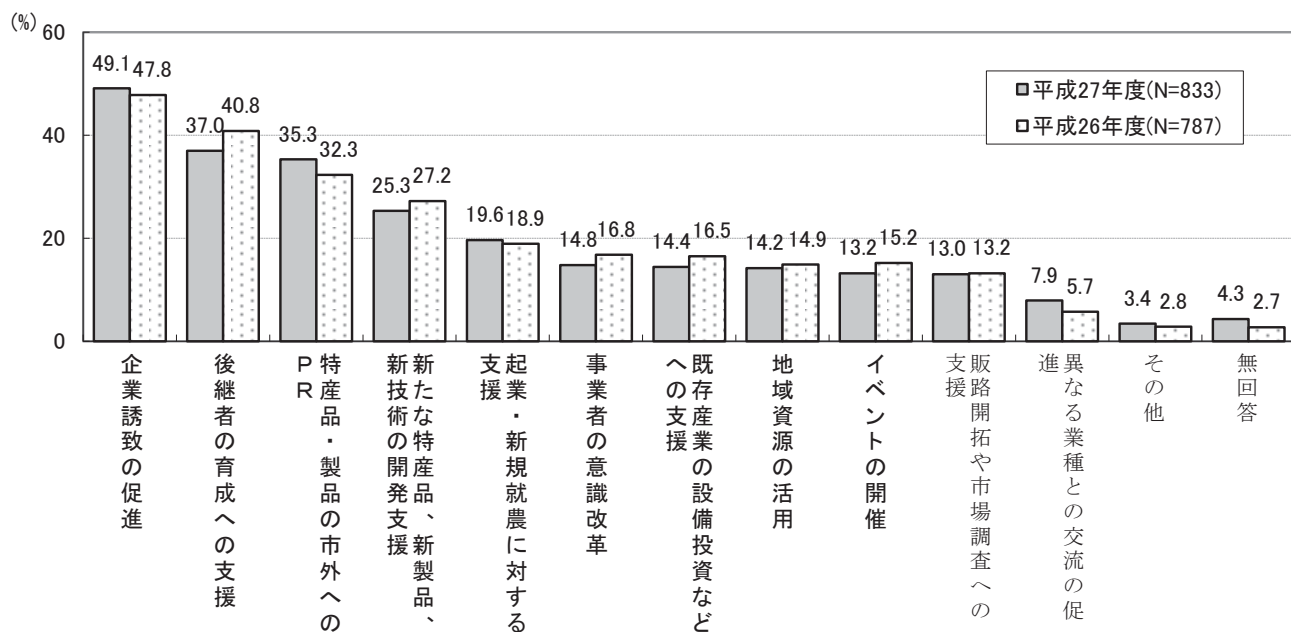
### クロス集計



#### 【性別】

男性において「工業」が 56.7%と、女性を 26.1 ポイント上回っている。一方、女性では「農業」が 66.7%と、男性を 20.0 ポイント上回っている。また、「水産業」は 27.8%と、男性を 11.1 ポイント上回っている。

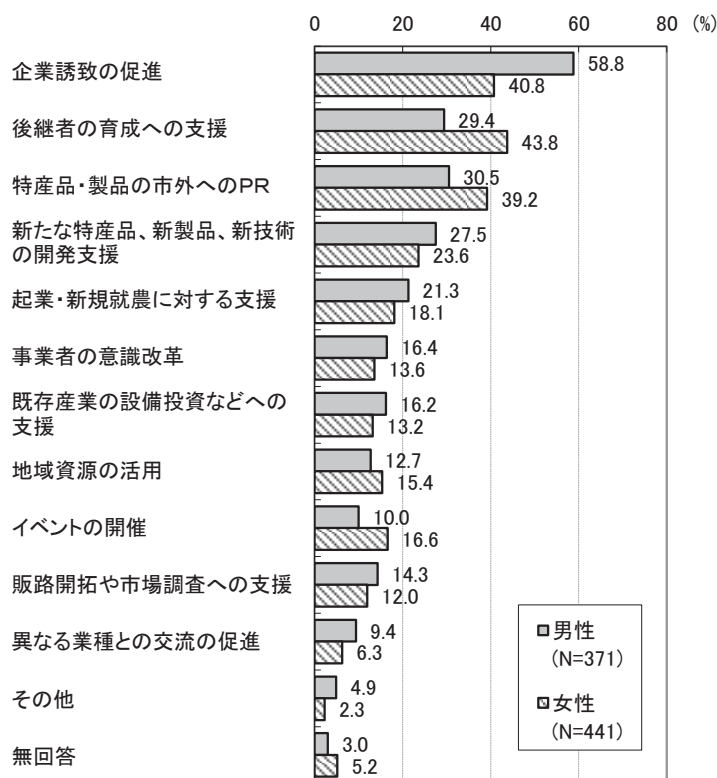
問14 あなたは、市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取り組みは何だと思いますか？  
次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取り組みについては、「企業誘致の促進」が49.1%と最も高く、次いで「後継者の育成への支援」が37.0%、「特産品・製品の市外へのPR」が35.3%などとなっている。

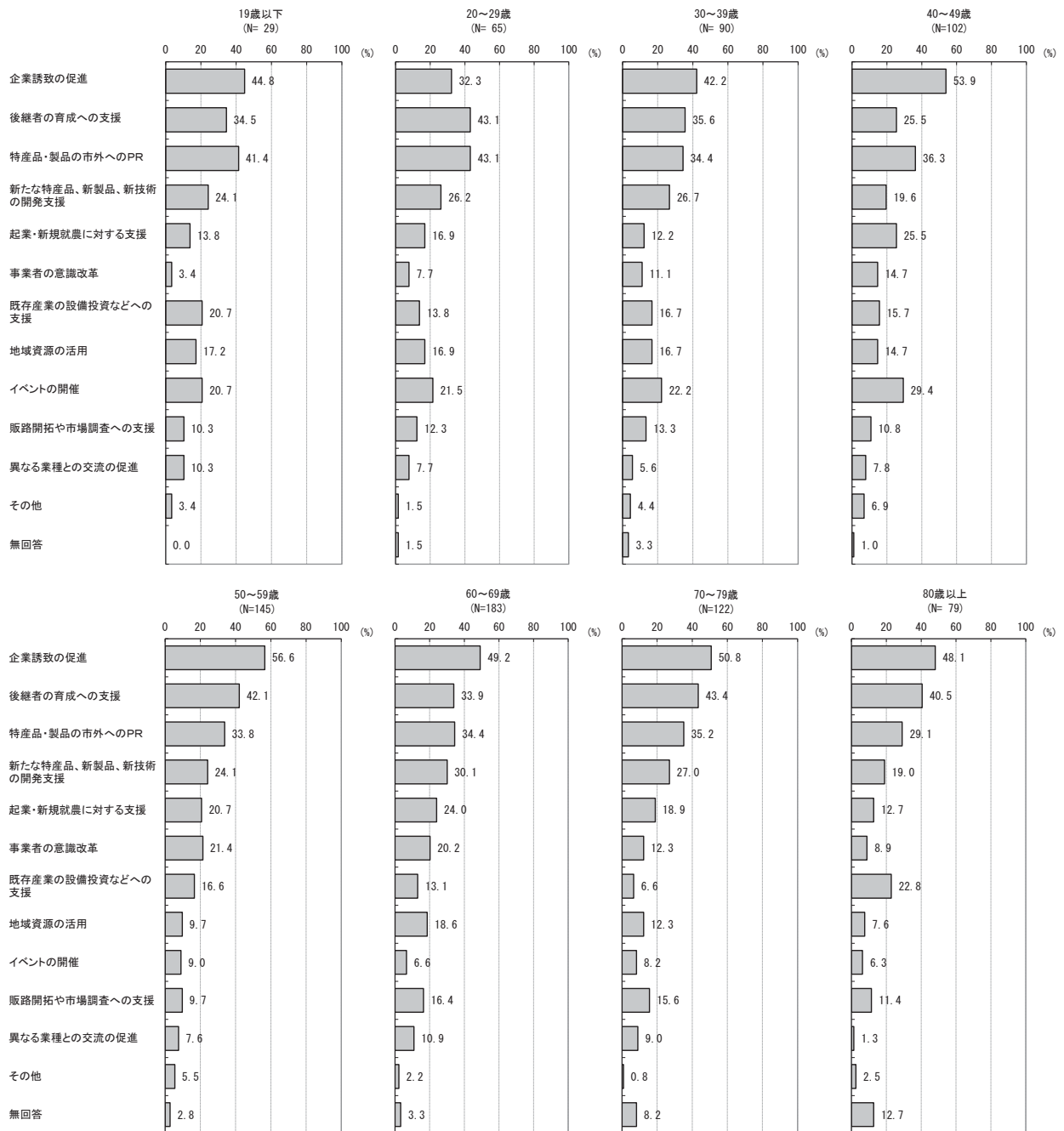
昨年度と比較すると、「後継者の育成への支援」は3.8ポイント低くなっており、「特産品・製品の市外へのPR」は3.0ポイント高くなっている。

### クロス集計



### 【性別】

男性において「企業誘致の促進」が58.8%と、女性を18.0ポイント上回っている。一方、女性では「後継者の育成への支援」が43.8%と、男性を14.4ポイント上回っている。また、「特産品・製品の市外へのPR」が39.2%と、男性を8.7ポイント上回っている。



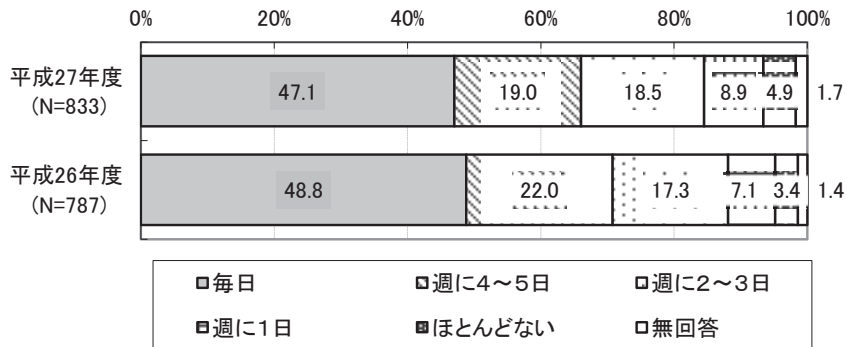
【年代別】

19歳以下と“30歳以上”では「企業誘致の促進」が最も高く、20~29歳では「後継者の育成への支援」と「特産品・製品の市外へのPR」が最も高くなっている。また、40~49歳では「イベントの開催」が約3割を占め、他の年代に比べて高くなっている。



## <地域活動について>

問15 あなたは、週に何日くらい外出しますか？  
あてはまるものに1つ○印をつけてください。

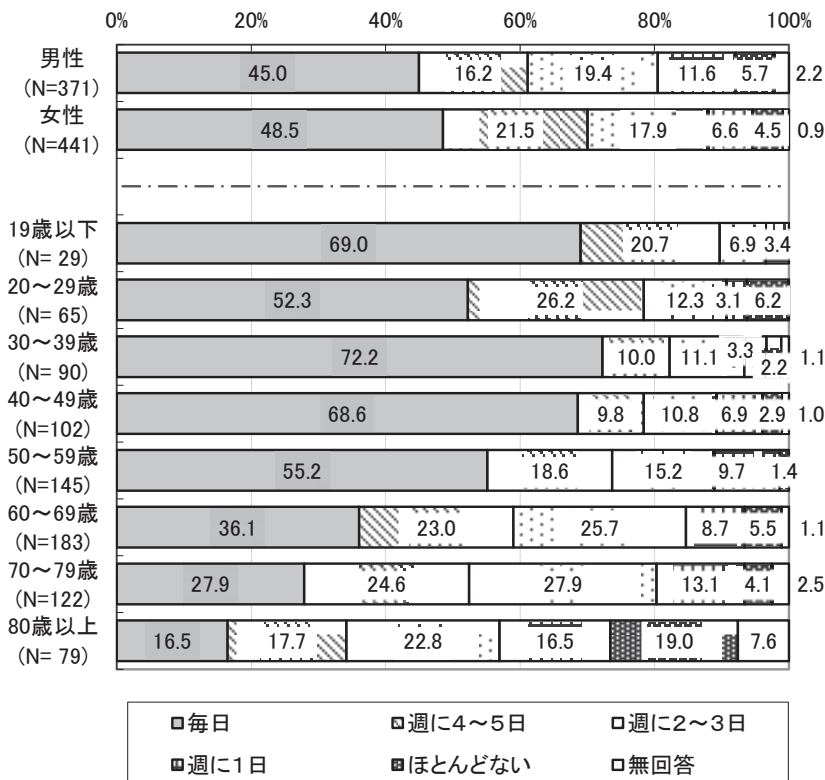


一週間あたりの外出日数については、「毎日」が47.1%と約半数を占めている。次いで「週に4～5日」が19.0%、「週に2～3日」が18.5%などとなっている。一方、「ほとんどない」は4.9%となっている。

昨年度と比較すると、「週に4～5日」が3.0ポイント低くなっている。

### クロス集計

(※0.0%非表示)



#### 【性別】

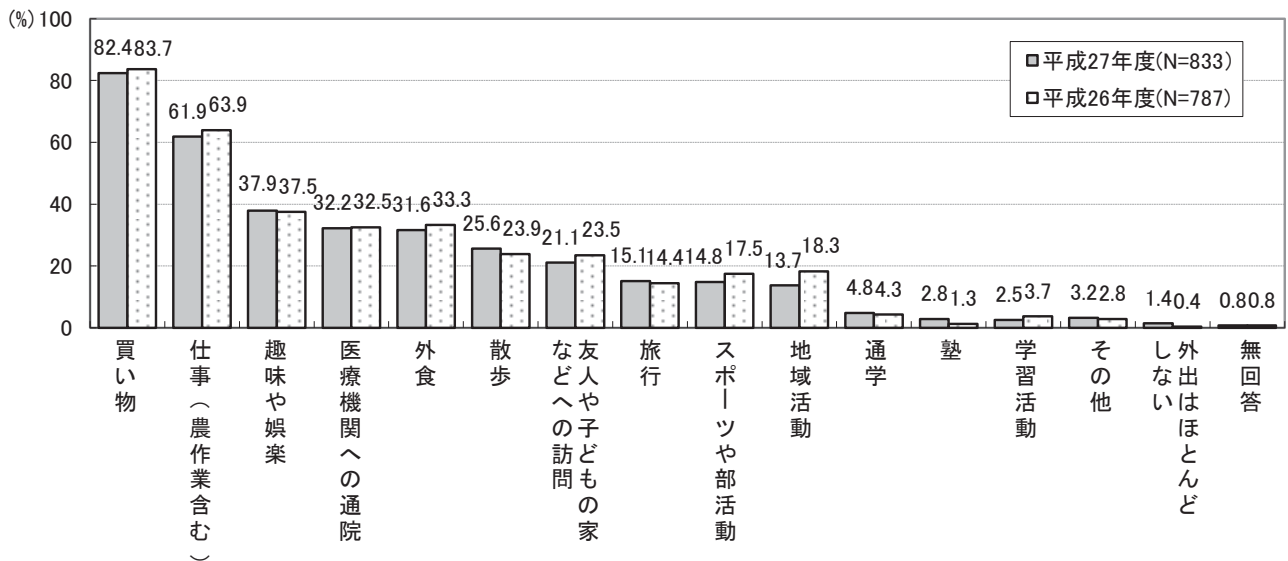
女性において「週に4～5日」が21.5%と、男性を5.3ポイント上回っている。一方、男性では「週に1日」が11.6%と、女性を5.0ポイント上回っている。

#### 【年代別】

“60歳以上”において「週に2～3日」が2割以上を占め、他の年代に比べて高くなっている。また、80歳以上では「ほとんどない」が19.0%と、約2割を占めている。一方、19歳以下と“30～49歳”では「毎日」が約7割を占めている。

問16 あなたは何のために外出しますか？

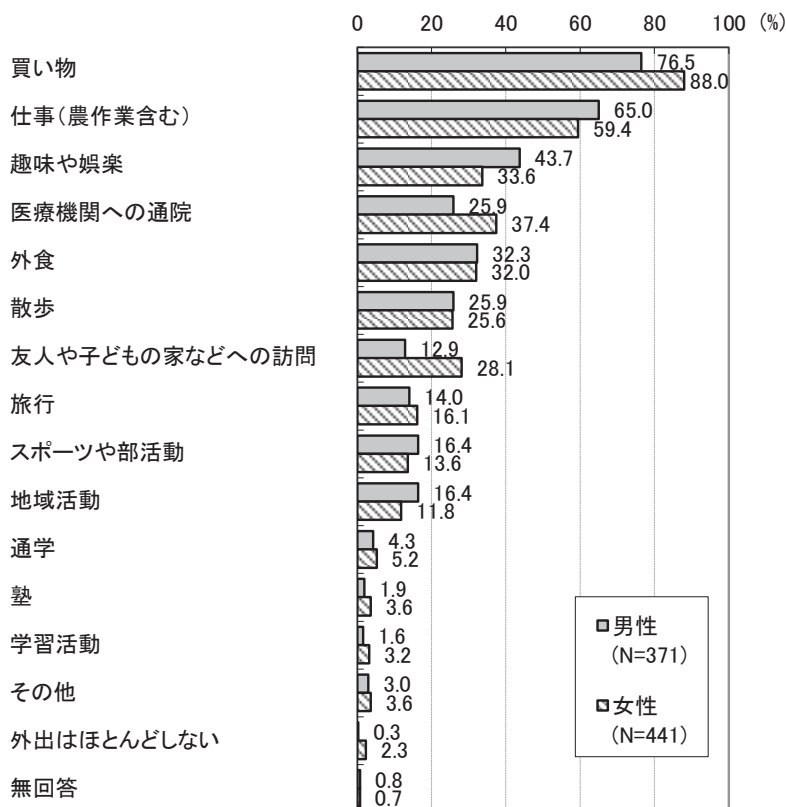
あてはまるもの全てに○印をつけてください。



外出の目的については、「買い物」が 82.4%と最も高く、8割を超えている。次いで「仕事（農作業含む）」が 61.9%、「趣味や娯楽」が 37.9%などとなっている。

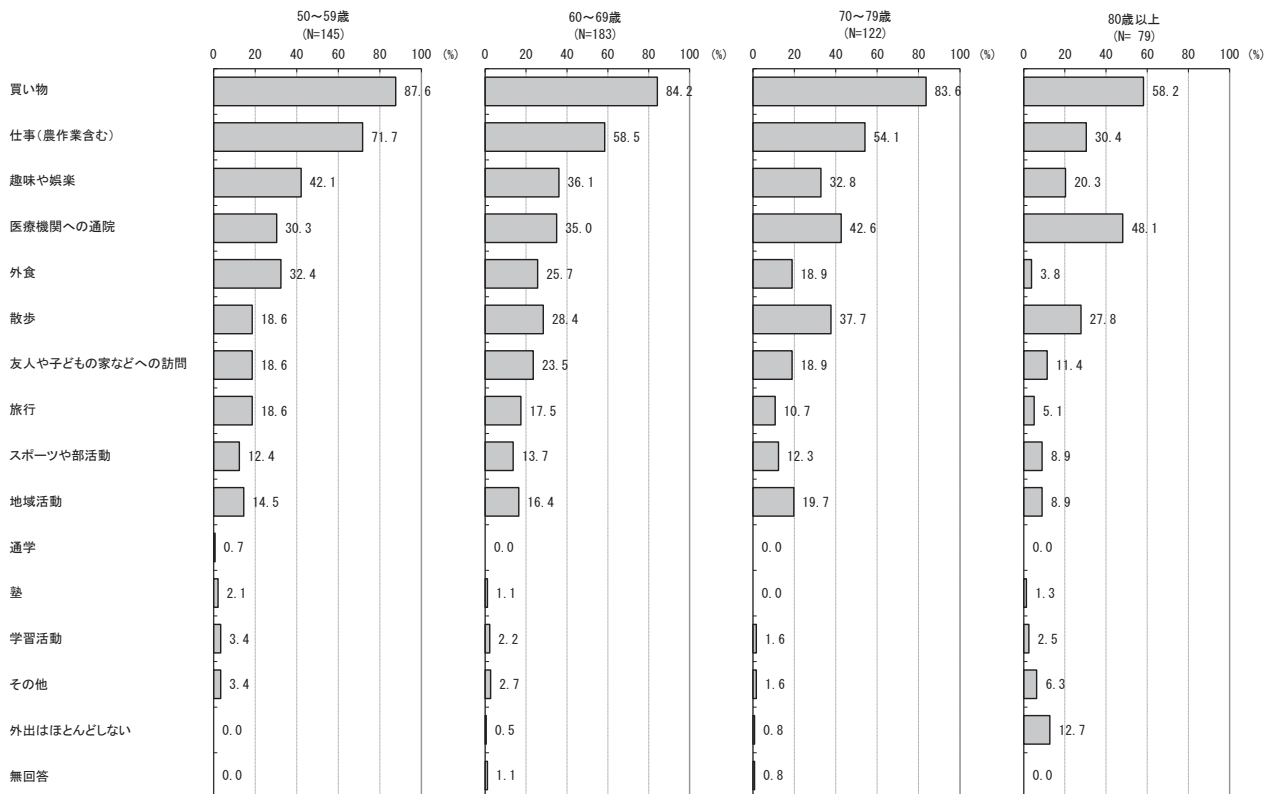
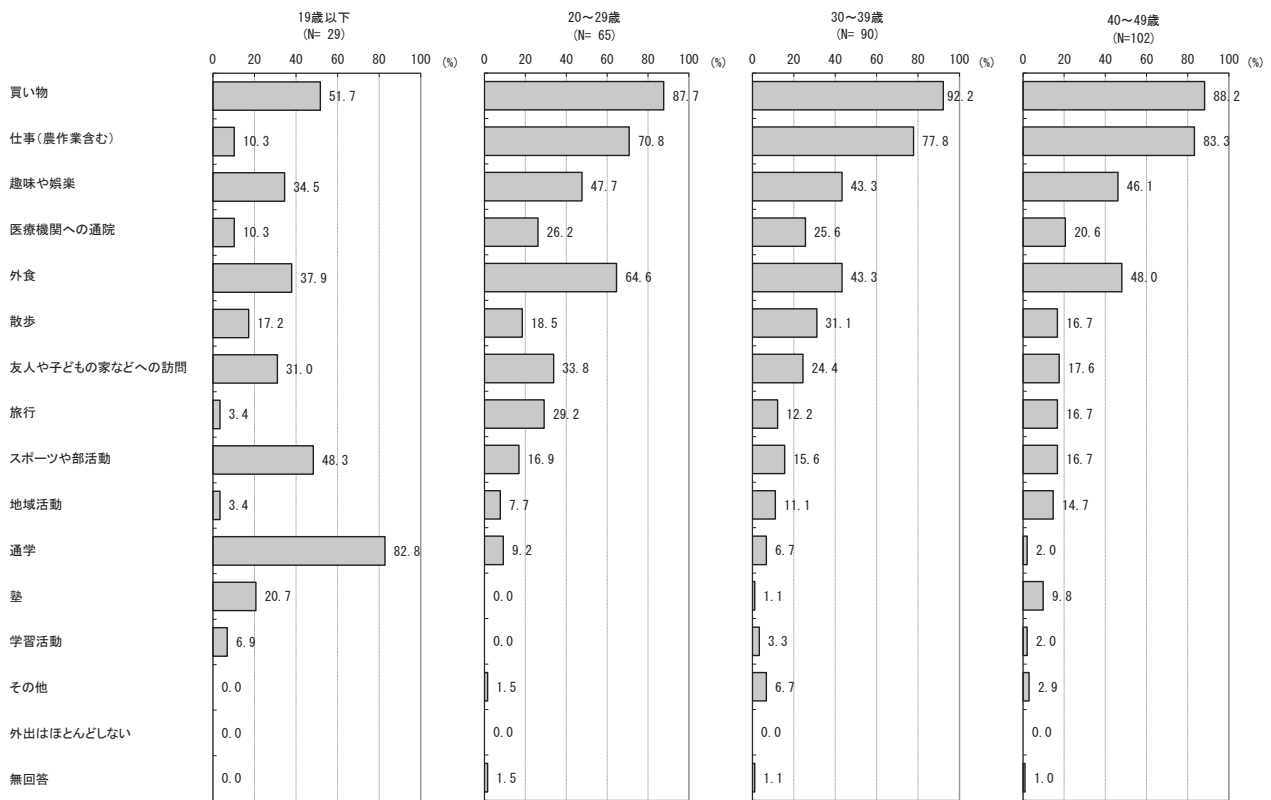
昨年度と比較すると、「地域活動」が 4.6 ポイント低くなっている。

クロス集計



【性別】

女性において「友人や子どもの家などへの訪問」が 28.1%と、男性を 15.2 ポイント上回っている。また、「医療機関への通院」が 37.4%と、男性を 11.5 ポイント上回っている。一方、男性では「趣味や娯楽」が 43.7%と、女性を 10.1 ポイント上回っている。また、「仕事（農作業含む）」が 65.0%と、女性を 5.6 ポイント上回っている。

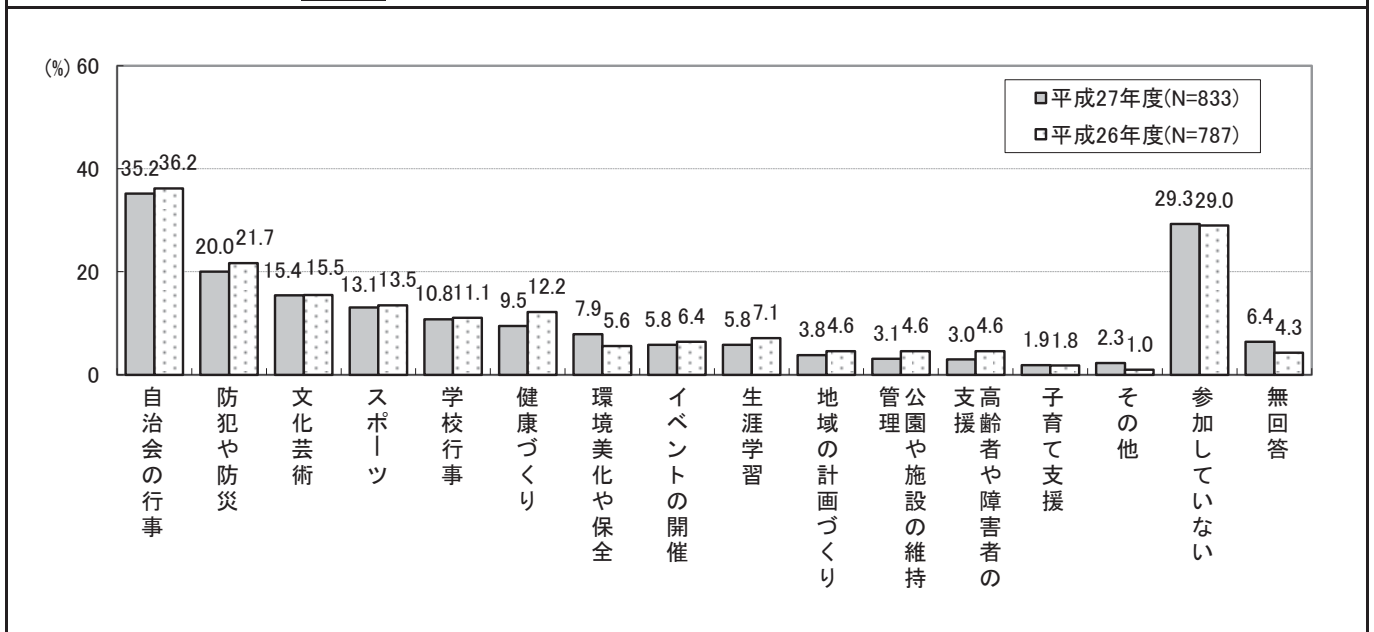


【年代別】

“20歳以上”において「買い物」が最も高くなっており、80歳以上を除いて8割を超えている。また、19歳以下で「通学」、20~29歳で「外食」、80歳以上では「医療機関への通院」が、他の年代に比べて高くなっている。

問17 あなたが現在参加している地域活動は何ですか？

あてはまるもの全てに○印をつけてください。

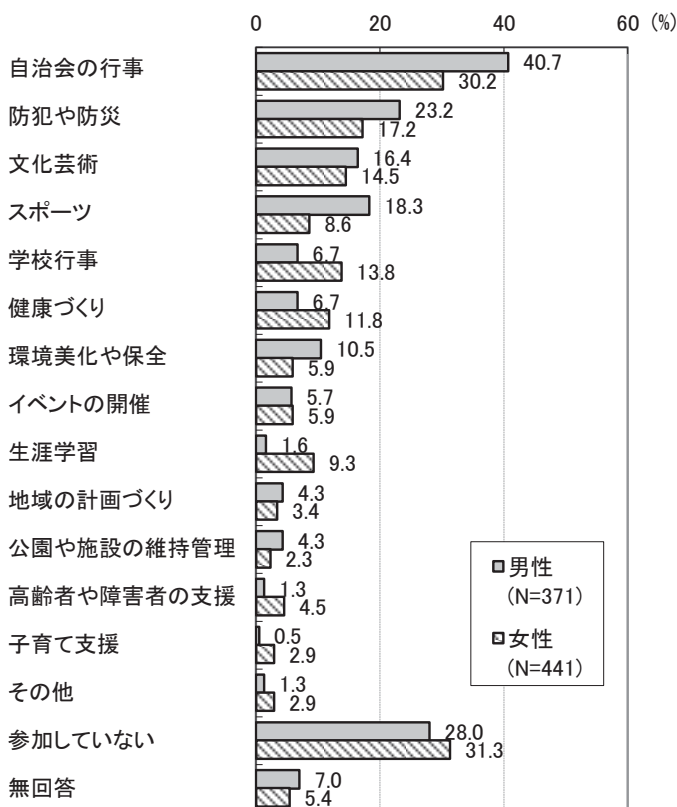


現在参加している地域活動については、「自治会の行事」が 35.2%と最も高くなっている。次いで「防犯や防災」が 20.0%、「文化芸術」が 15.4%などとなっている。

一方、「参加していない」は 29.3%で、約 3 割となっている。

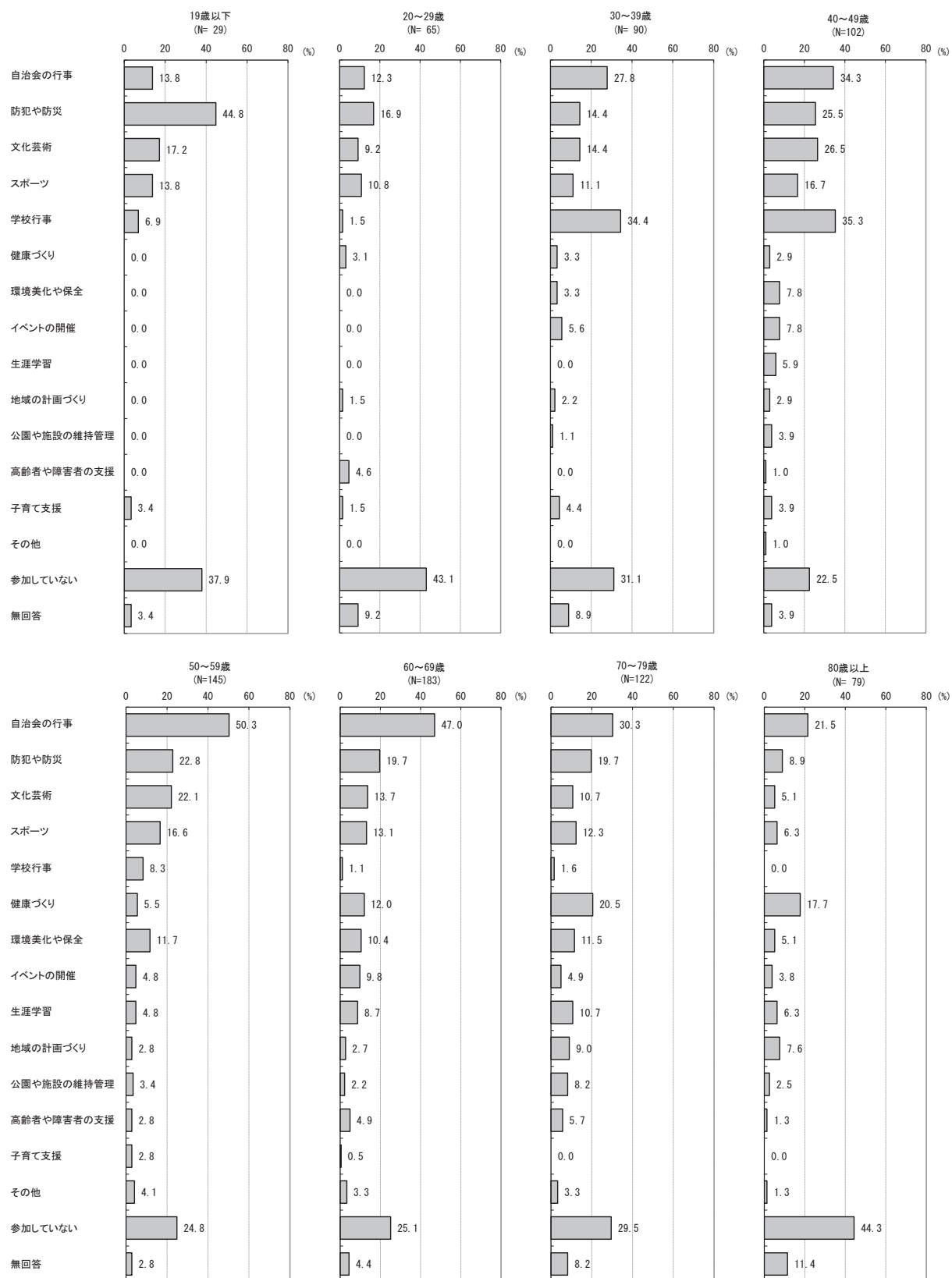
昨年度と比較すると、「健康づくり」が 2.7 ポイント低くなっている。

クロス集計



【性別】

男性において「自治会の行事」が 40.7%と、女性を 10.5 ポイント上回っている。また、「スポーツ」が 18.3%と、女性を 9.7 ポイント上回っている。一方、女性では「生涯学習」が 9.3%と、男性を 7.7 ポイント上回っている。また、「学校行事」が 13.8%と、男性を 7.1 ポイント上回っている。

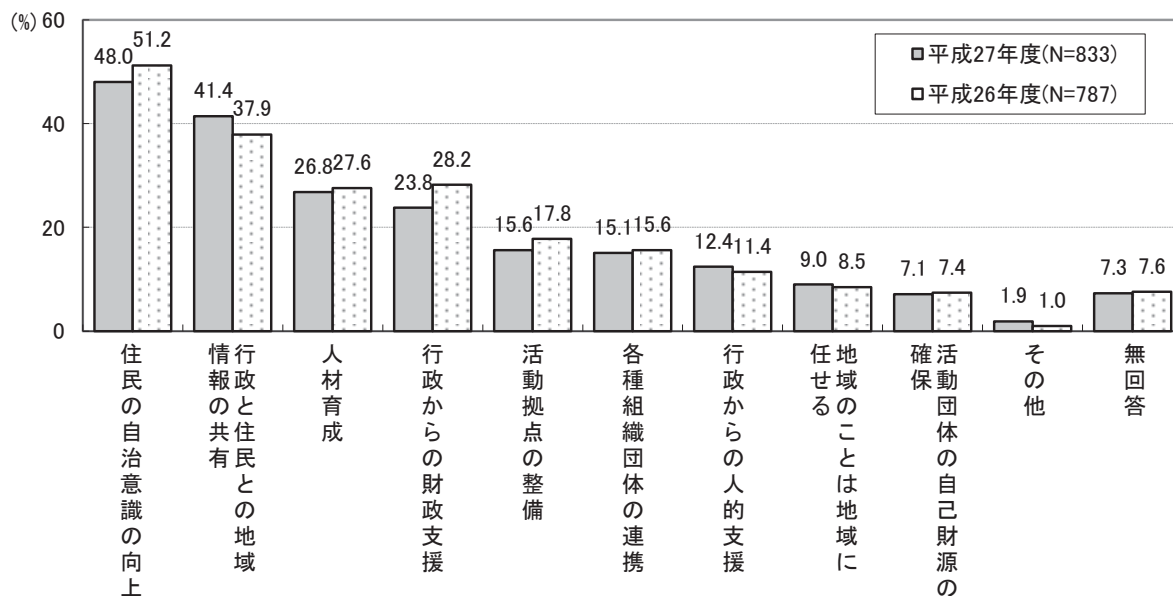


### 【年代別】

“50～79歳”で「自治会の行事」が最も高くなっている。20～29歳と80歳以上では「参加していない」が最も高く、4割を超えている。“30～49歳”では「学校行事」が3割以上と、最も高くなっている。また、19歳以下で「防犯や防災」、「70歳以上」では「健康づくり」が、他の年代に比べて高くなっている。

問18 あなたは、地域活動の活発・活性化に必要だと思うことは何ですか？

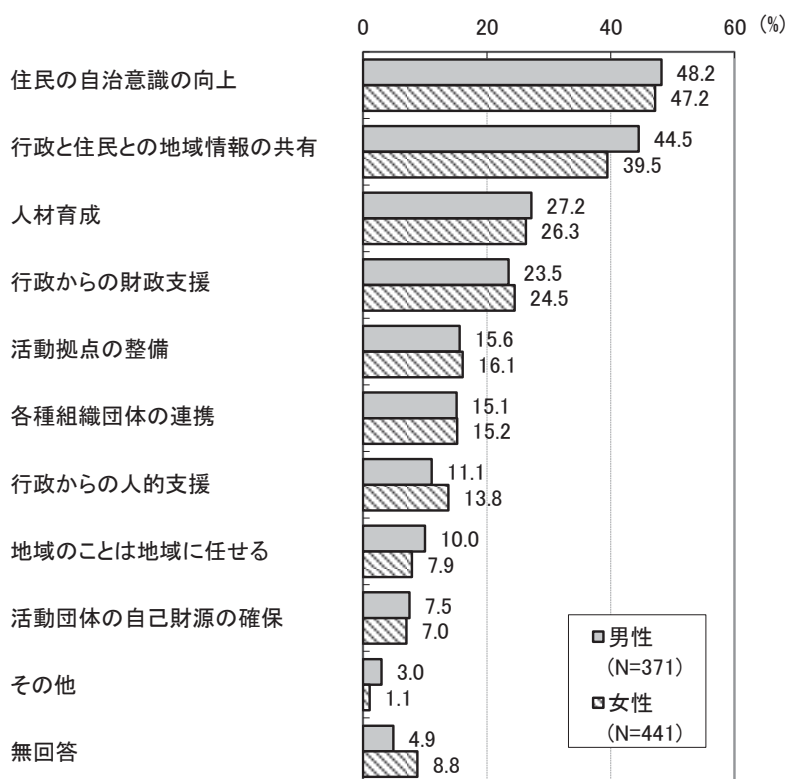
次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



地域活動の活発・活性化に必要と思うことについては、「住民の自治意識の向上」が 48.0%と約半数と最も高く、次いで「行政と住民との地域情報の共有」が 41.4%、「人材育成」が 26.8%などとなっている。

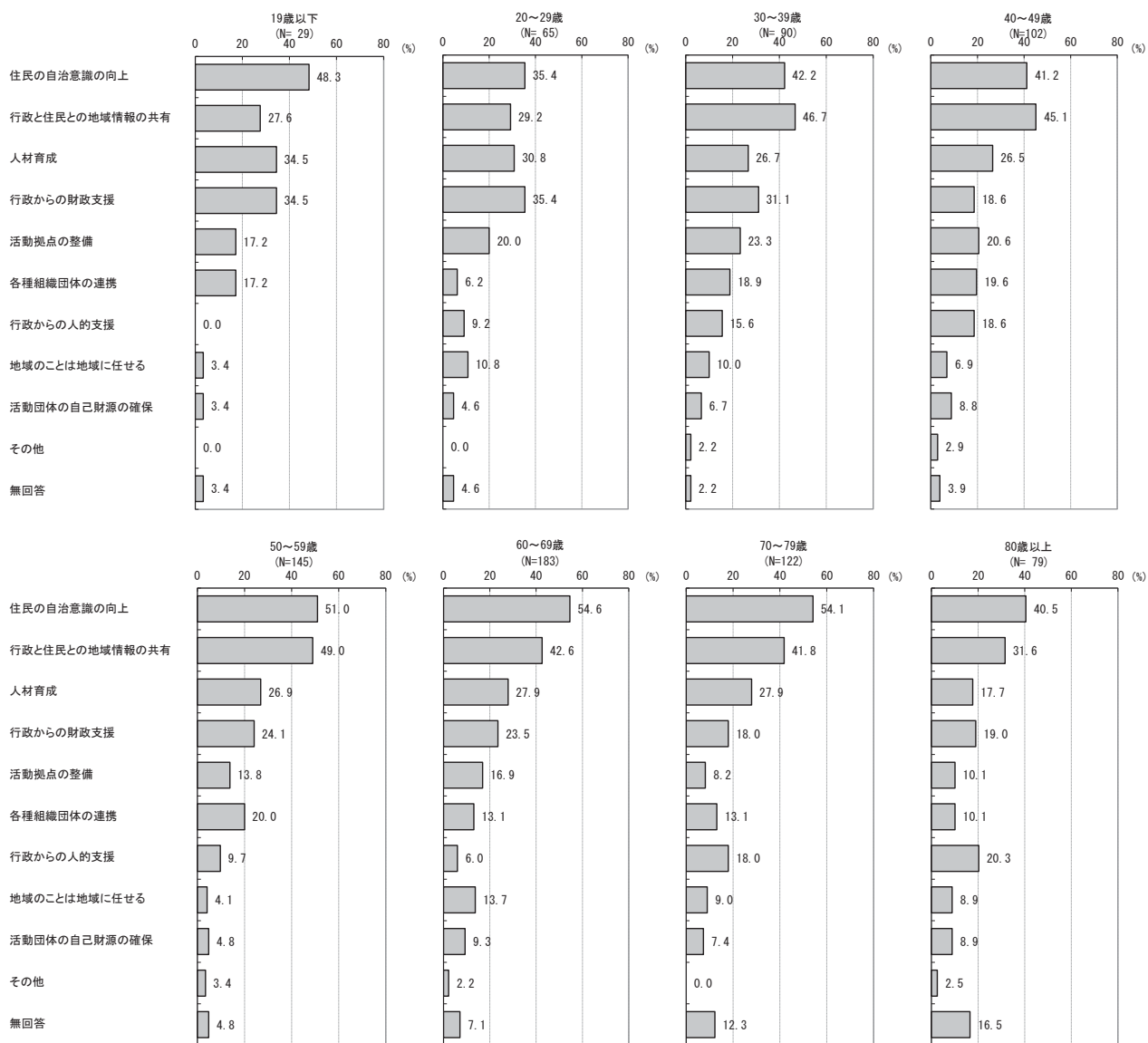
昨年度と比較すると、「行政からの財政支援」が 4.4 ポイント低くなっている。

### クロス集計



### 【性別】

男性において「行政と住民との地域情報の共有」が 44.5%と、女性を 5.0 ポイント上回っている。一方、女性では「行政からの人的支援」が 13.8%と、男性を 2.7 ポイント上回っている。

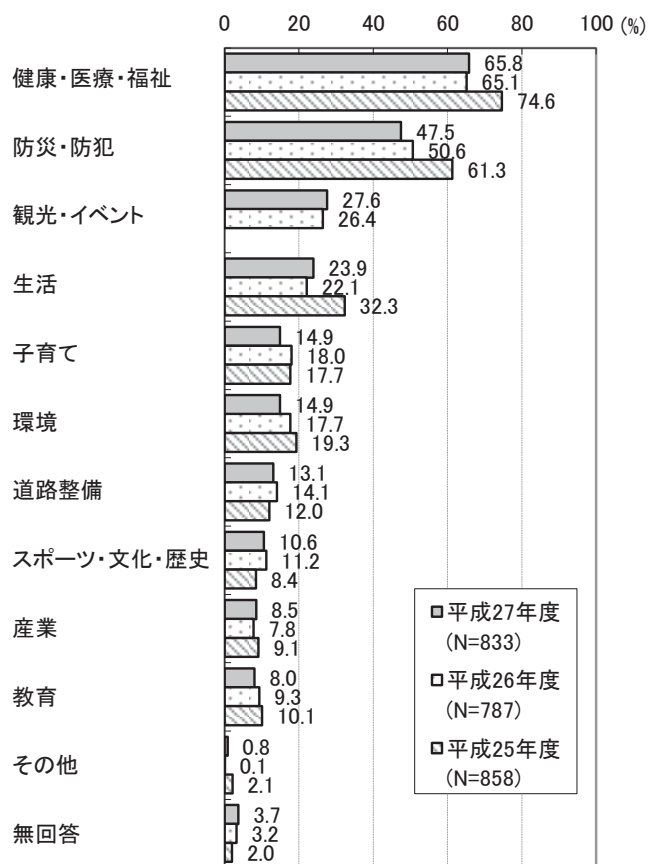


### 【年代別】

19歳以下と“50歳以上”で「住民の自治意識の向上」が最も高く、特に“50~79歳”では半数を超えている。20~29歳では「住民の自治意識の向上」と「行政からの財政支援」、 “30~49歳”では「行政と住民との地域情報の共有」が最も高くなっている。また、40~49歳と“70歳以上”では「行政からの人的支援」が、他の年代に比べて高くなっている。

## <市からの情報発信について>

問19 あなたは、市からの情報の中で、どんな情報を得たいと思いますか？  
次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



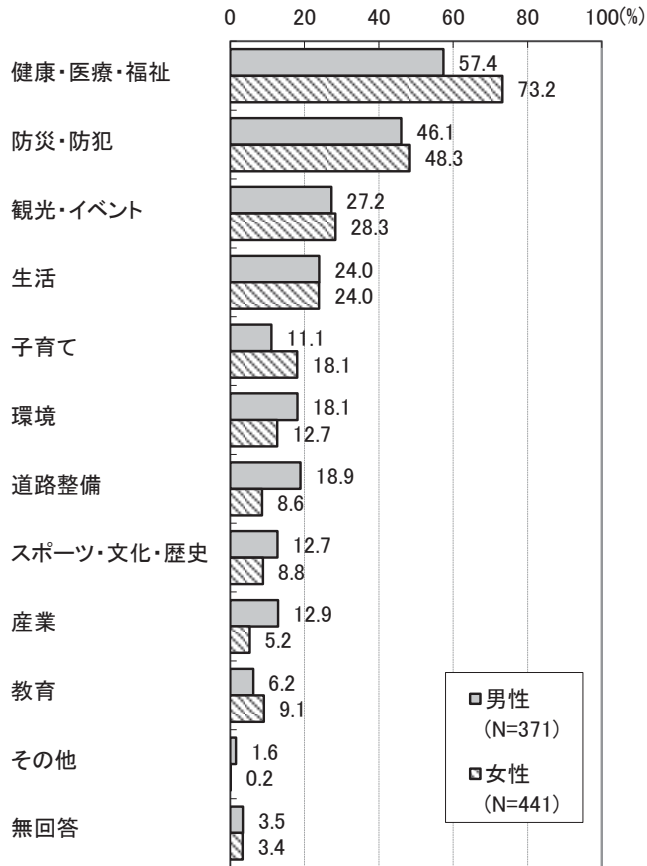
※「観光・イベント」は、平成26年度より追加された項目  
※「スポーツ・文化・歴史」は、平成25年度では「文化・歴史」

市から得たい情報については、「健康・医療・福祉」が65.8%と最も高く、次いで「防災・防犯」が47.5%、「観光・イベント」が27.6%などとなっている。

昨年度と比較すると、「子育て」と「防災・防犯」がそれぞれ3.1ポイント低くなっている。

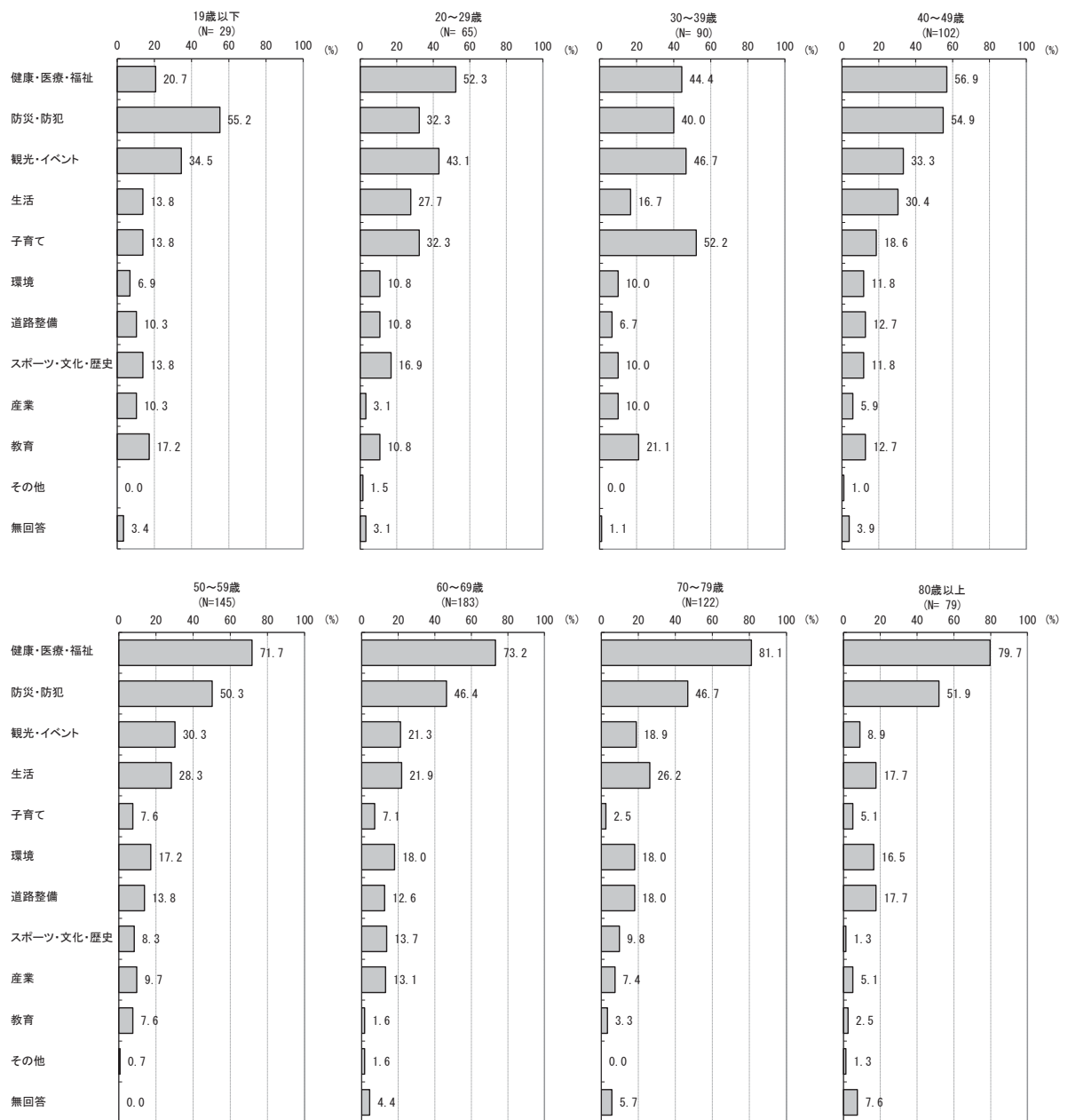


クロス集計



【性別】

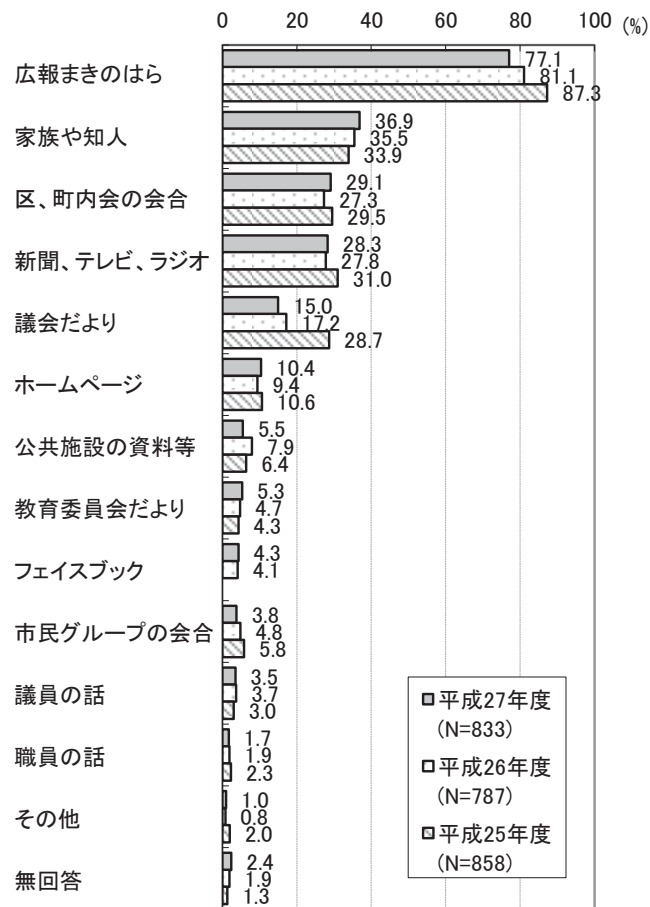
女性において「健康・医療・福祉」が73.2%と、男性を15.8ポイント上回っている。また、「子育て」が18.1%と、男性を7.0ポイント上回っている。一方、男性では「道路整備」が18.9%と、女性を10.3ポイント上回っている。また、「産業」が12.9%と、女性を7.7ポイント上回っている。



### 【年代別】

20～29歳と“40歳以上”では「健康・医療・福祉」が最も高く、特に“70歳以上”では約8割を占めている。19歳以下では「防災・防犯」、30～39歳では「子育て」が最も高くなっている。また、“20～39歳”で「観光・イベント」、30～39歳で「教育」、 “70歳以上”では「道路整備」が、他の年代に比べて高くなっている。

問20 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？  
 あてはまるものを全てに○印をつけてください。

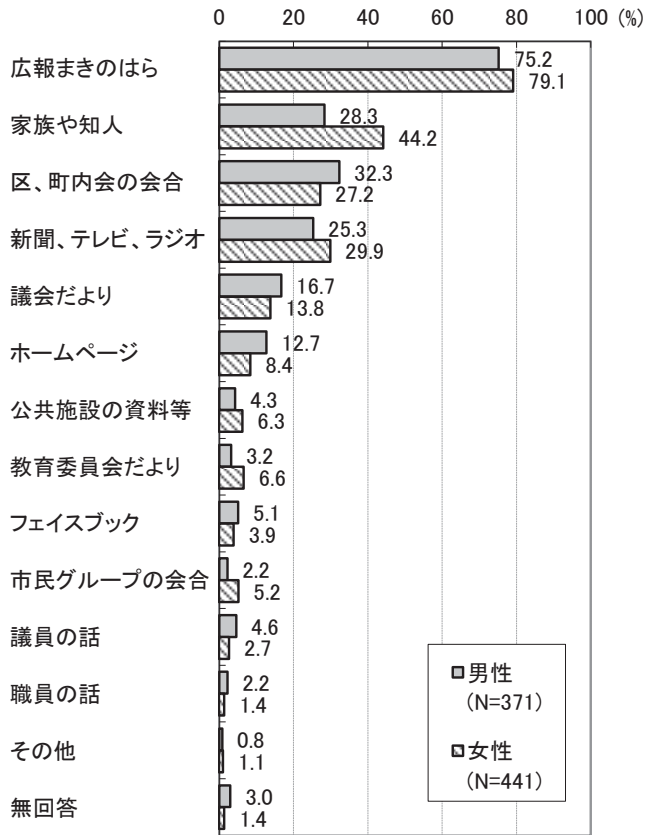


※「フェイスブック」は、平成26年度より追加された項目

市からの情報の入手手段については、「広報まきのほら」が77.1%と最も高く、他の項目と比べても突出して高くなっている。次いで「家族や知人」が36.9%、「区、町内会の会合」が29.1%などとなっている。

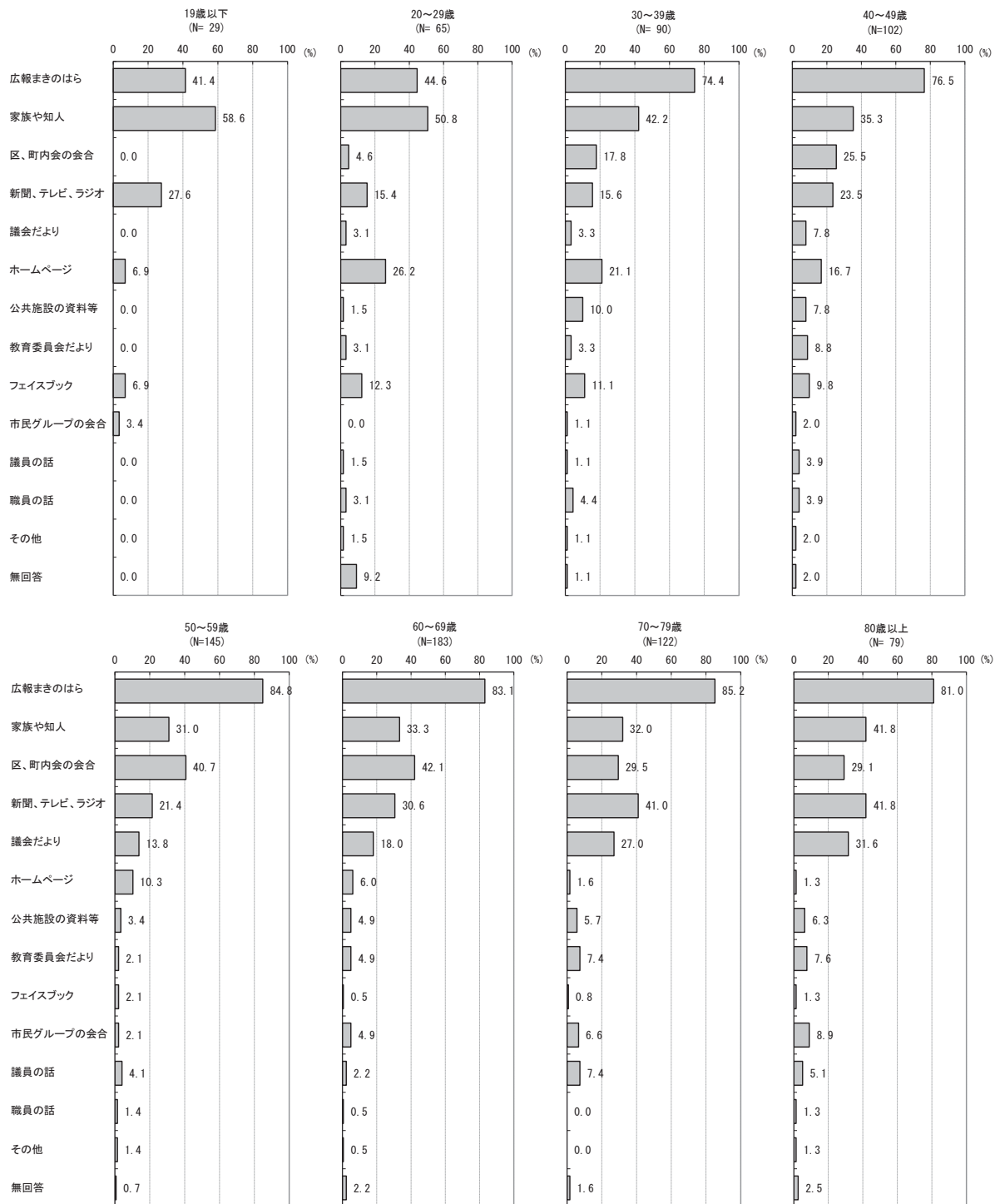
昨年度と比較すると、「広報まきのほら」が4.0ポイント低くなっており、平成25年度から年々減少している。

クロス集計



【性別】

女性において「家族や知人」が44.2%と、男性を15.9ポイント上回っている。また、「新聞、テレビ、ラジオ」が29.9%と、男性を4.6ポイント上回っている。一方、男性では「区、町内会の会合」が32.3%と、女性を5.1ポイント上回っている。また、「ホームページ」が12.7%と、女性を4.3ポイント上回っている。



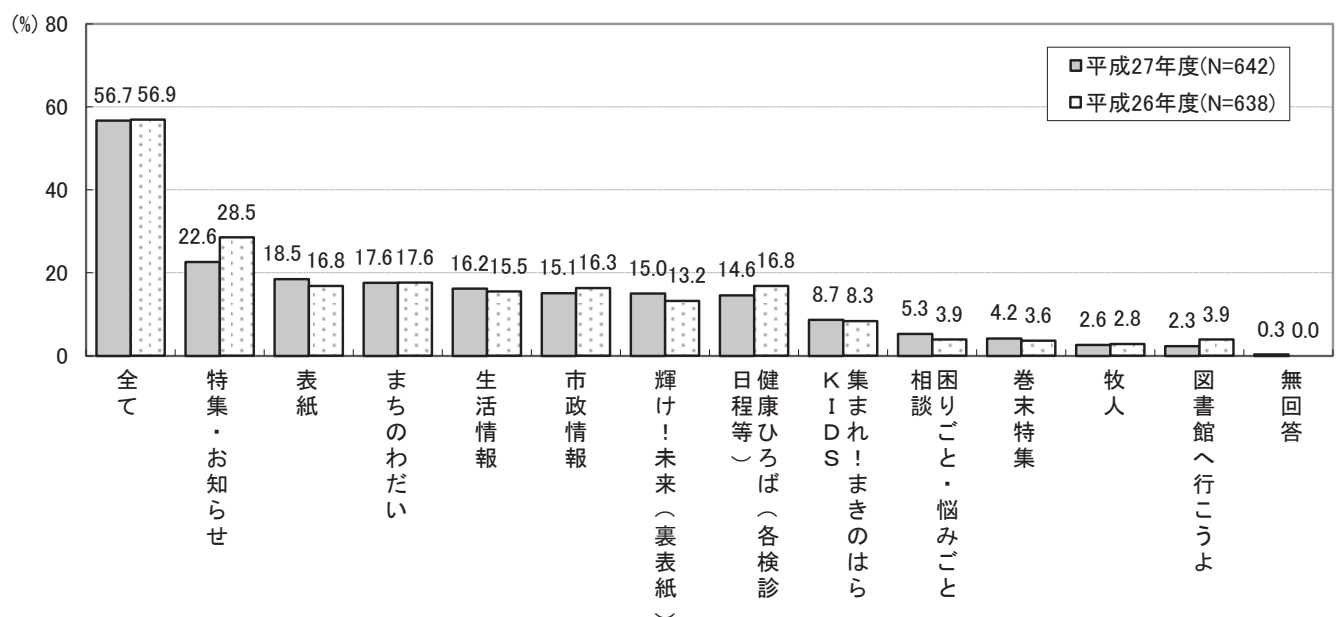
### 【年代別】

“30歳以上”で「広報まきのほら」が最も高くなっており、特に“50歳以上”では8割を超えている。“30歳未満”では「家族や知人」が半数以上で最も高くなっている。また、20~29歳で「ホームページ」、50~69歳で「区、町内会の会合」、70歳以上で「新聞、テレビ、ラジオ」と「議会だより」が、他の年代に比べて高くなっている。

(問 20 で「1. 広報まきのほら」と答えた方にお聞きします。)

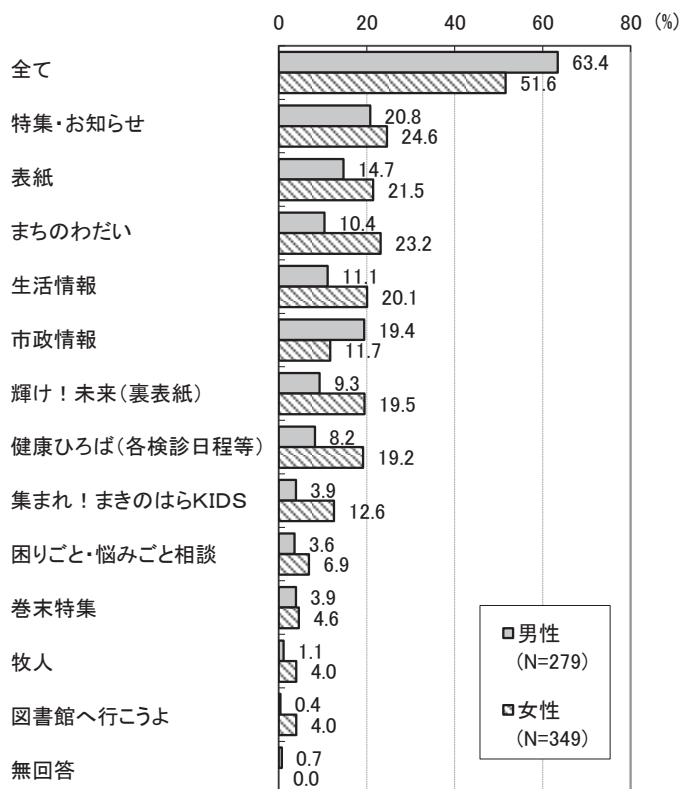
問21 広報まきのほらのどこを読みますか？

あてはまるもの全てに○印をつけてください。



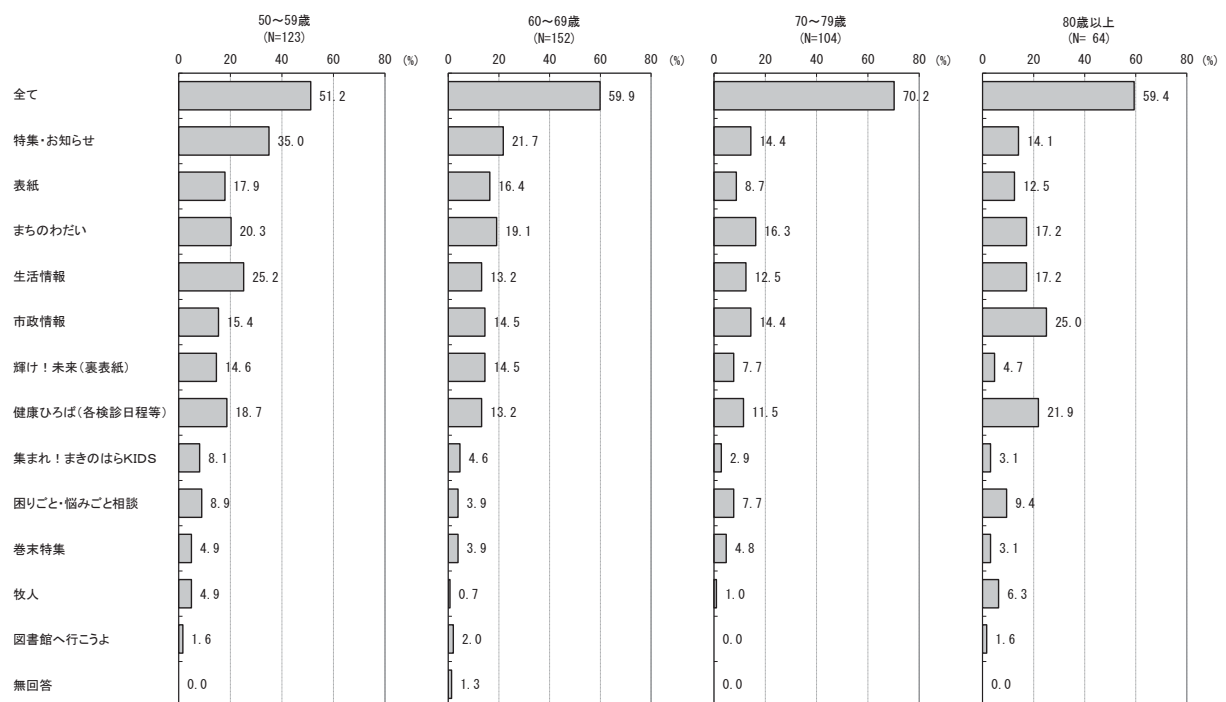
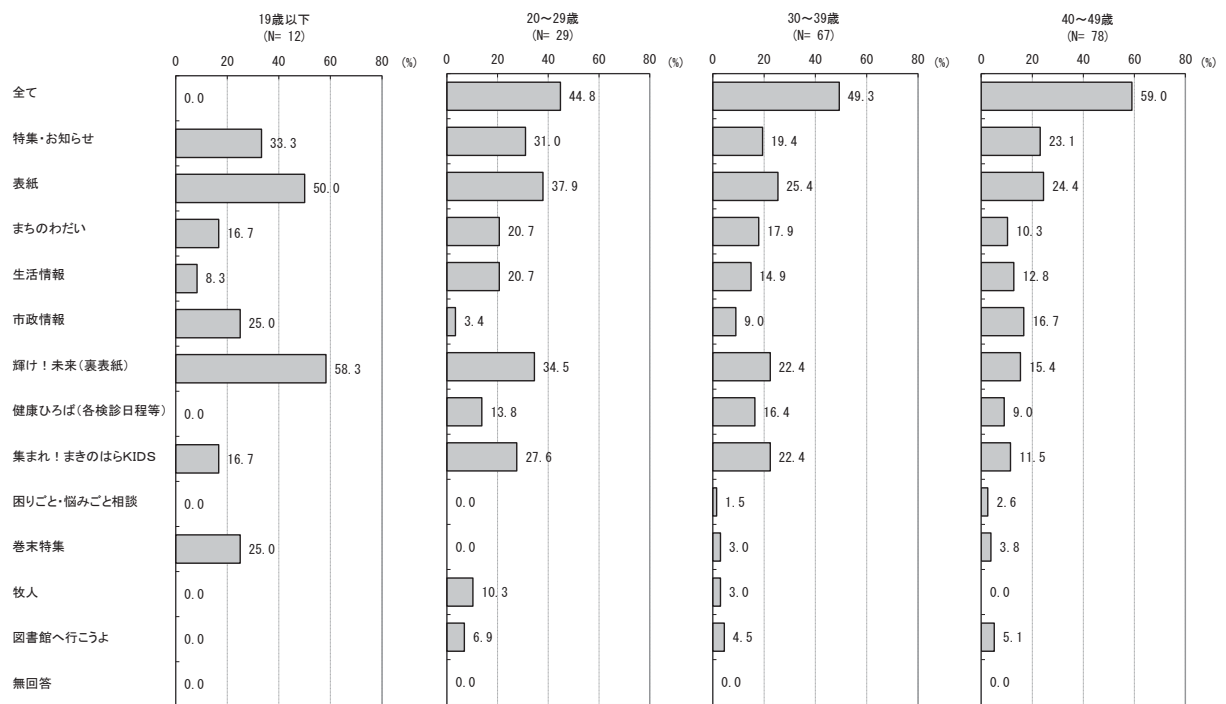
問 20 で「広報まきのほら」と回答した 642 人に読んでいる箇所についてうかがったところ、「全て」が 56.7%と半数を超え最も高く、次いで「特集・お知らせ」が 22.6%、「表紙」が 18.5%などとなっている。昨年度と比較すると、「特集・お知らせ」が 5.9 ポイント低くなっている。

### クロス集計



#### 【性別】

男性において「全て」が 63.4%と、女性を 11.8 ポイント上回っている。また、「市政情報」が 19.4%と、女性を 7.7 ポイント上回っている。一方、女性では「まちのわだい」が 23.2%と、男性を 12.6 ポイント上回っている。また、「健康ひろば（各検診日程等）」が 19.2%と、男性を 11.0 ポイント上回っている。

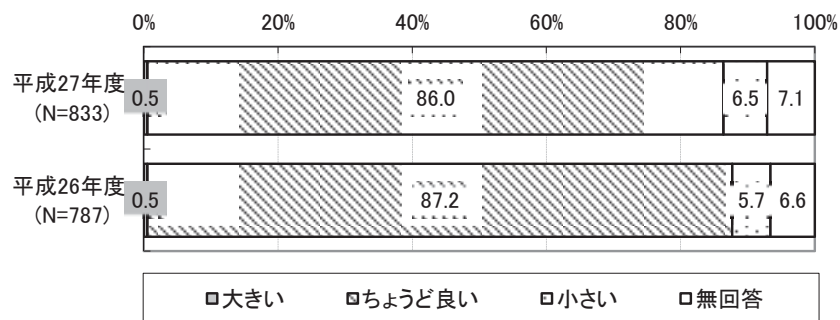


### 【年代別】

“20歳以上”では「全て」が最も高くなっており、特に70~79歳では7割を超えている。19歳以下では「輝け！未来(裏表紙)」が約6割と、最も高くなっている。また、19歳以下と80歳以上で「市政情報」、50~59歳で「生活情報」、20~29歳では「集まれ！まきのほらKIDS」が、他の年代に比べて高くなっている。

問22 あなたは、広報まきのはらの構成や内容などについてどう思いますか？  
それぞれの項目ごとにあてはまるものに1つ○印をつけてください。

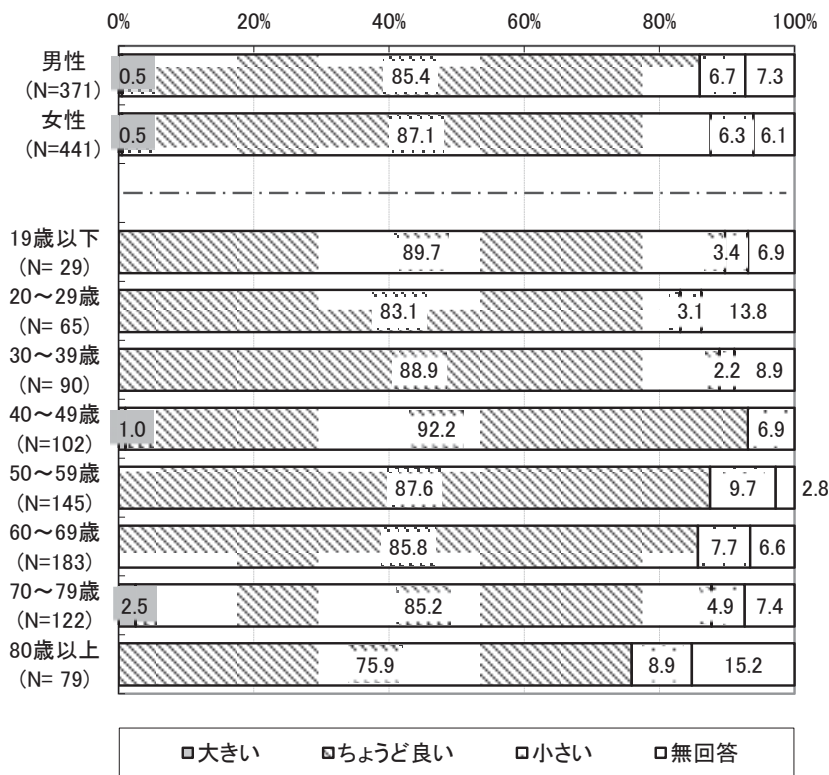
《文字の大きさ》



広報まきのはらの文字の大きさについては、「ちょうど良い」が 86.0%と 8割以上を占めている。次いで「小さい」が 6.5%、「大きい」が 0.5%となっている。  
昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

クロス集計

(※0.0%非表示)



【性別】

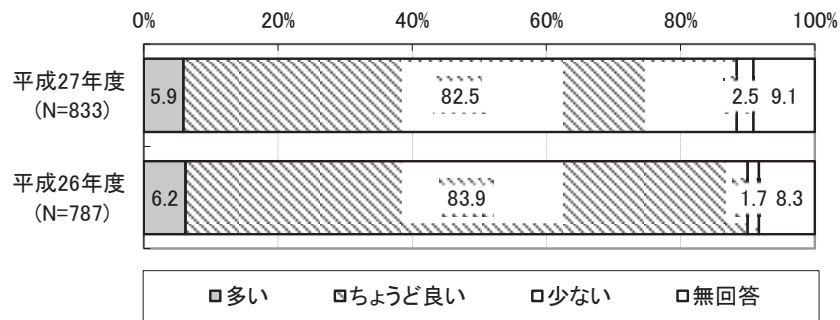
性別による大きな差異はみられない。

【年代別】

80歳以上において「ちょうど良い」が唯一 8割を下回っているものの、「大きい」は 0.0%、「小さい」は 8.9%にとどまっている。



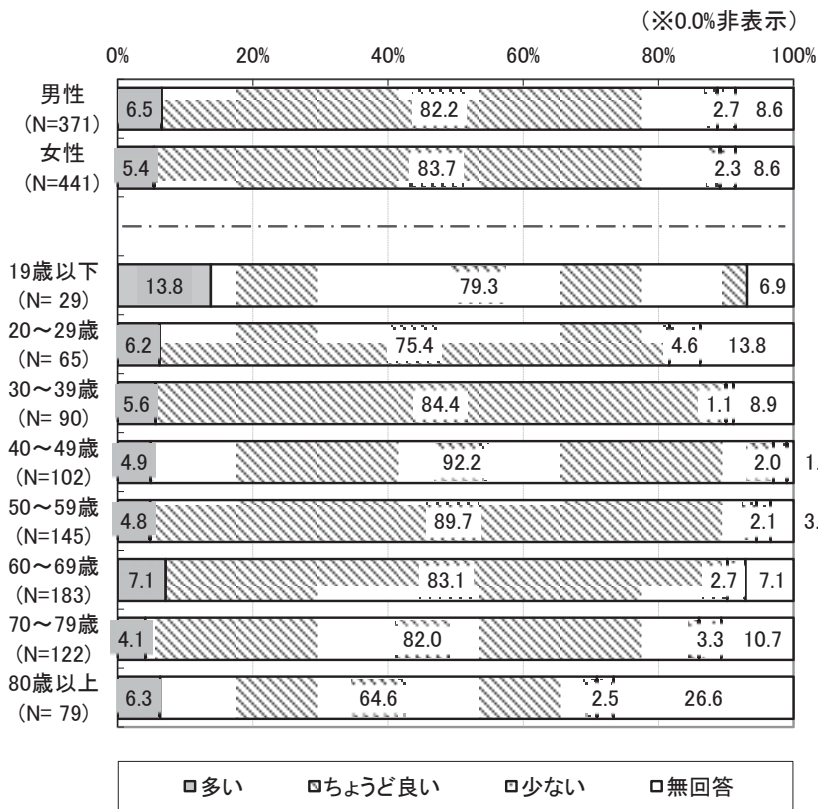
### 《文字の量》



広報まきのはらの文字の量については、「ちょうど良い」が 82.5%と約8割を占めている。次いで「多い」が 5.9%、「少ない」が 2.5%となっている。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

### クロス集計



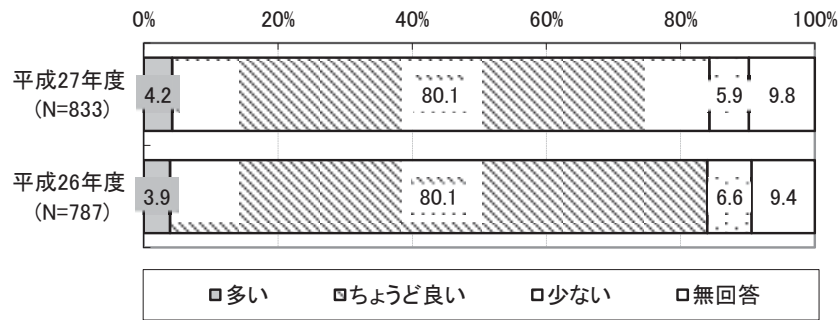
#### 【性別】

性別による大きな差異はみられない。

#### 【年代別】

80歳以上において「ちょうど良い」が64.6%と唯一7割を下回っているものの、「多い」は6.3%、「少ない」は2.5%にとどまっている。また、19歳以下では「多い」が13.8%と、唯一1割を超えている。

《ページ数》

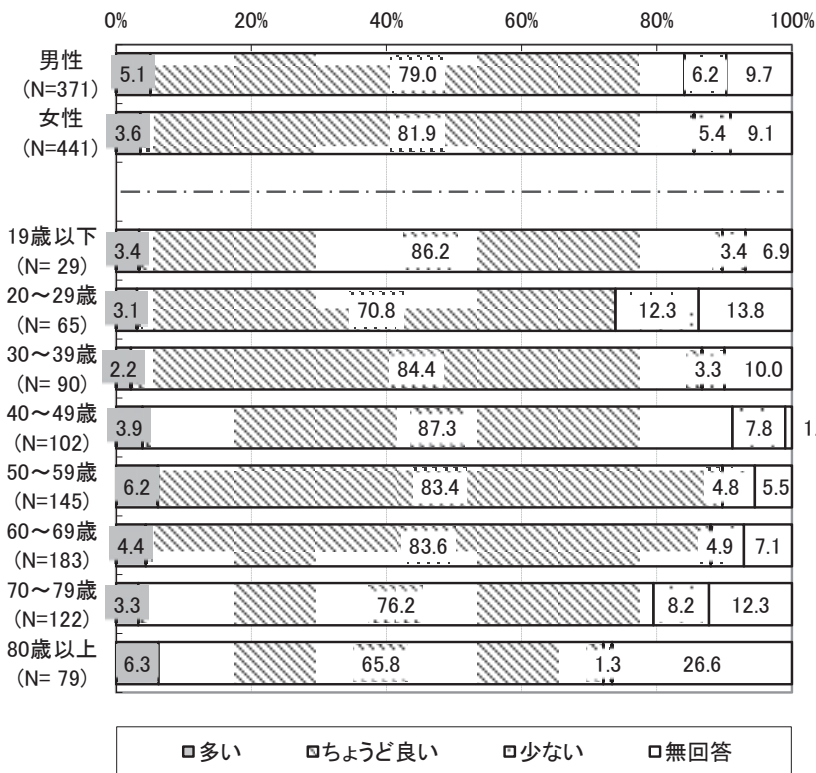


広報まきのはらのページ数については、「ちょうど良い」が 80.1%と約8割を占めている。次いで「少ない」が 5.9%、「多い」が 4.2%となっている。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

クロス集計

(※0.0%非表示)



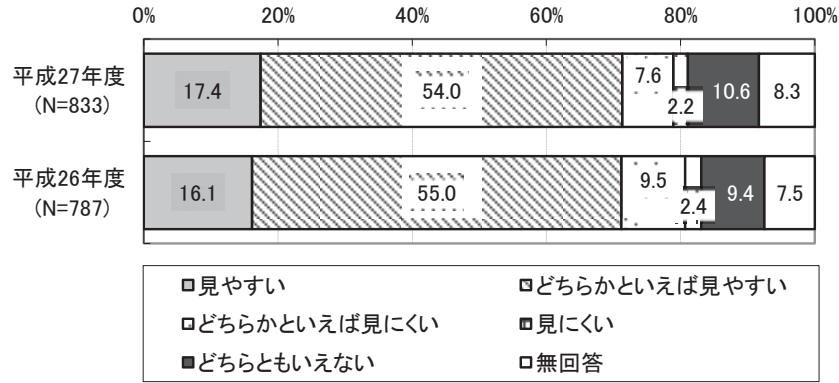
【性別】

性別による大きな差異はみられない。

【年代別】

80歳以上において「ちょうど良い」が 65.8%と唯一7割を下回っているものの、「多い」は 6.3%、「少ない」は 1.3%にとどまっている。また、20～29歳において、「少ない」が 12.3%と、唯一1割を超えている。

《見やすさ》

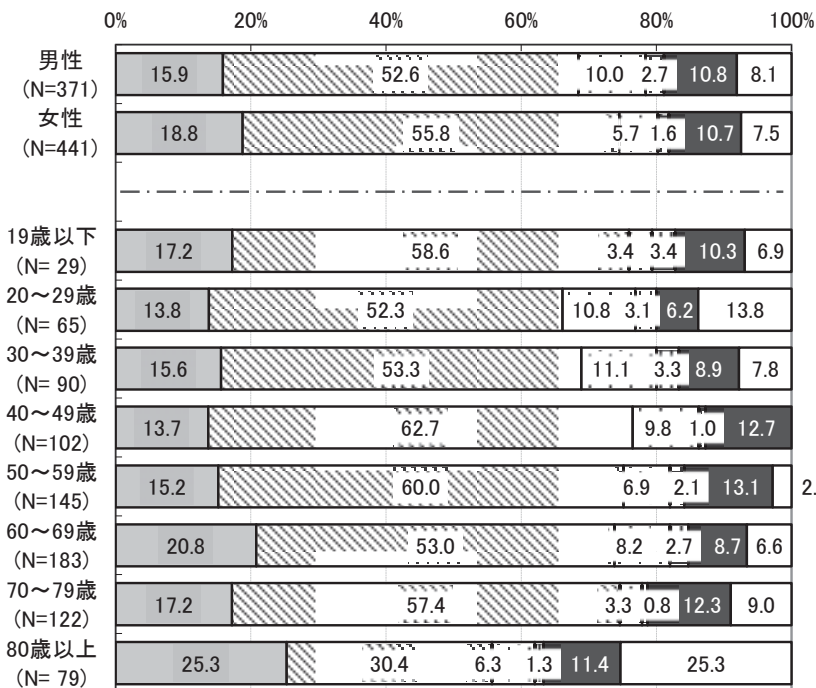


広報まきのはらの見やすさについては、「どちらかといえば見やすい」が 54.0%と約半数を占めている。次いで「見やすい」が 17.4%、「どちらかともいえない」が 10.6%となっている。「見やすい」と「どちらかといえば見やすい」を合わせた“見やすい”は 71.4%と約7割を占め、「どちらかといえば見にくい」と「見にくい」を合わせた“見にくい”は 9.8%と約1割を占めている。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

クロス集計

(※0.0%非表示)

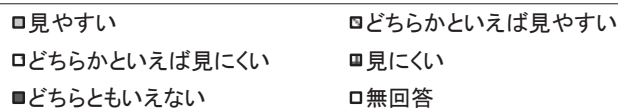


【性別】

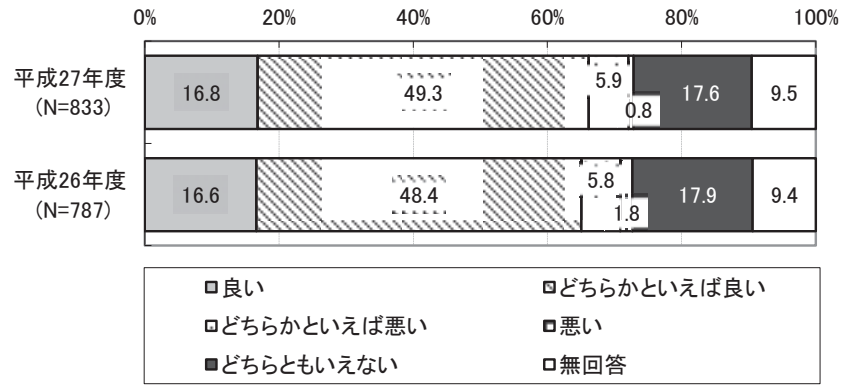
女性において“見やすい”が 74.6%と、男性を 6.1 ポイント上回っている。一方、男性では“見にくい”が 12.7%と、女性を 5.4 ポイント上回っている。

【年代別】

80歳以上において“見やすい”が 55.7%と唯一6割を下回っているものの、“見にくい”は 7.6%にとどまっている。また、“20～49歳”と 60～69歳では“見にくい”が1割を超えている。



《内容》

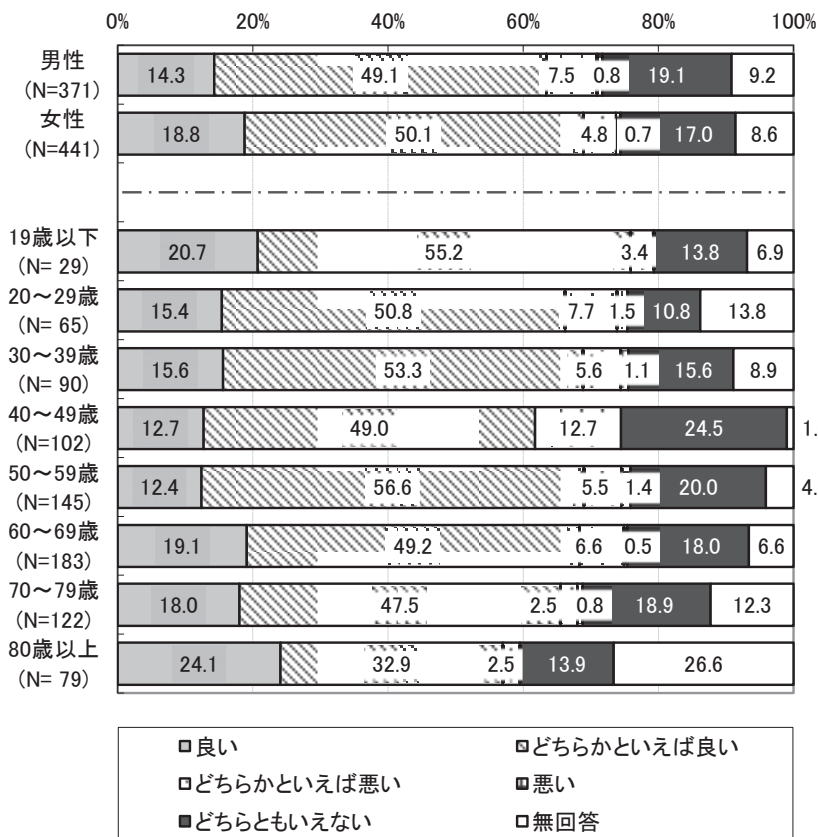


広報まきのはらの内容については、「どちらかといえば良い」が 49.3%と約半数を占めている。次いで「どちらともいえない」が 17.6%、「良い」が 16.8%となっている。「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた“良い”は 66.1%と 6 割を超えており、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた“悪い”は 6.7%と 1 割未満にとどまっている。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

クロス集計

(※0.0%非表示)



【性別】

女性において“良い”が 68.9%と、男性を 5.5 ポイント上回っている。一方、男性では“悪い”が 8.3%と約 1 割を占め、女性を 2.8 ポイント上回っている。

【年代別】

19 歳以下において“良い”が 75.9%と 7 割以上を占め、他の年代に比べて高くなっている。一方、40～49 歳では“悪い”が 12.7%と唯一 1 割を超えている。

## <牧之原市の行政サービスについて>

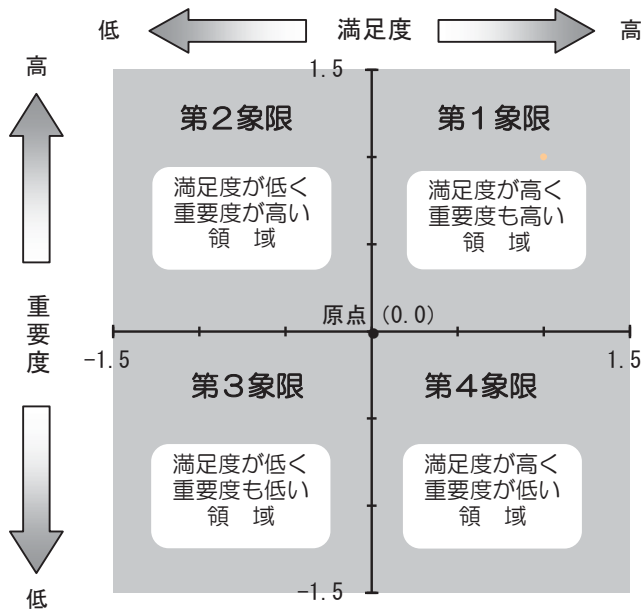
問23 あなたは、市の取り組みについて満足していますか？

また、その取り組みが重要であると考えますか？ それぞれの項目ごとにあてはまるものに○印をつけてください。

※取り組みによっては、あなたに直接関係のない取り組みも含まれるかもしれませんが、ご家族や知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○印をつけてください。

### 評価点の算出方法

「満足」「重要度高い」と回答した人を+2点、「やや満足」「重要度やや高い」は+1点、「やや不満」「重要度やや低い」は-1点、「不満」「重要度低い」を-2点とし、それぞれの点数にそれぞれの回答者数を掛け、それらを合計した数字を回答者数（「無回答」は回答者数に含めない）で割り、算出している。評価点は、プラスの大きいものは評価が高く、マイナスは評価が低いことを表している。



### 参考

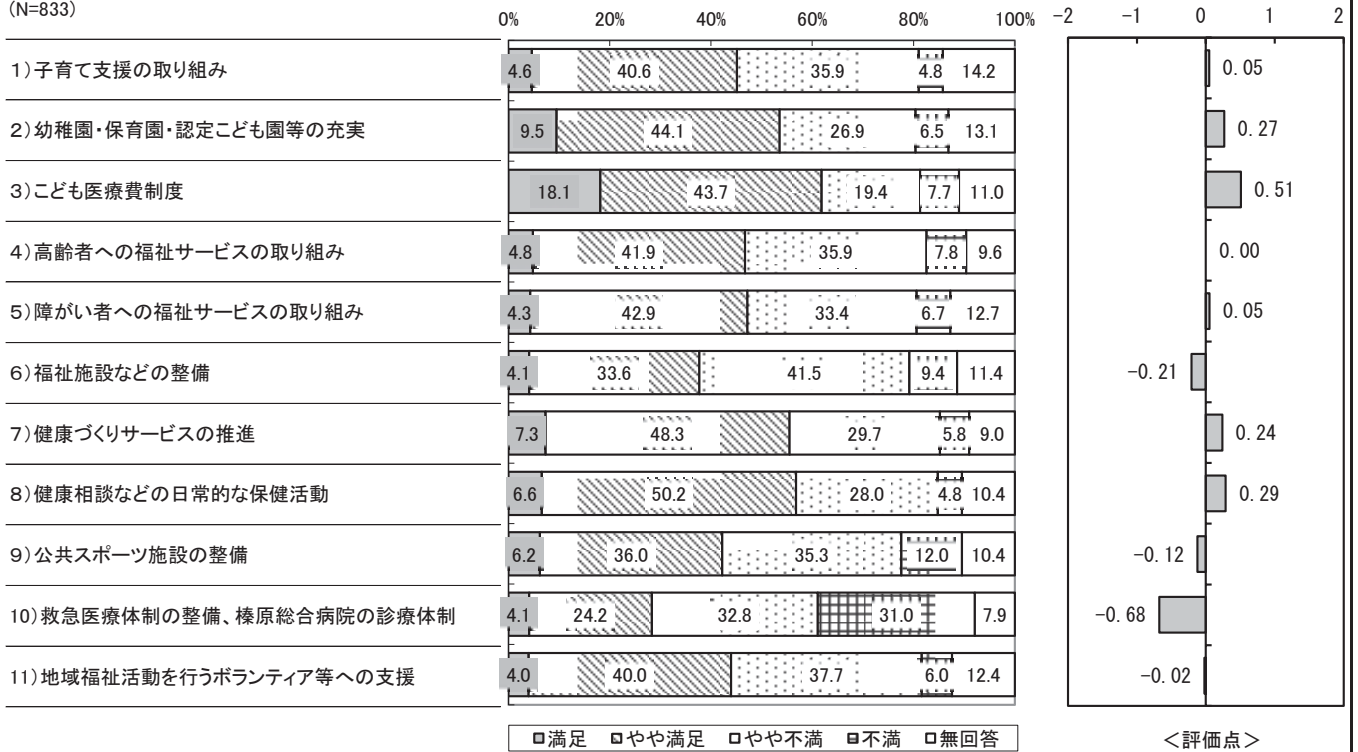
各取り組みについて満足度、重要度の評価点を散布図にした場合、左のグラフのように、4つの象限に評価をみることができる

\* 散布図中の番号は、各取り組みの通し番号であるため、各散布図上記表を参照

《 【健康福祉】 支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり 》

満足度

(N=833)



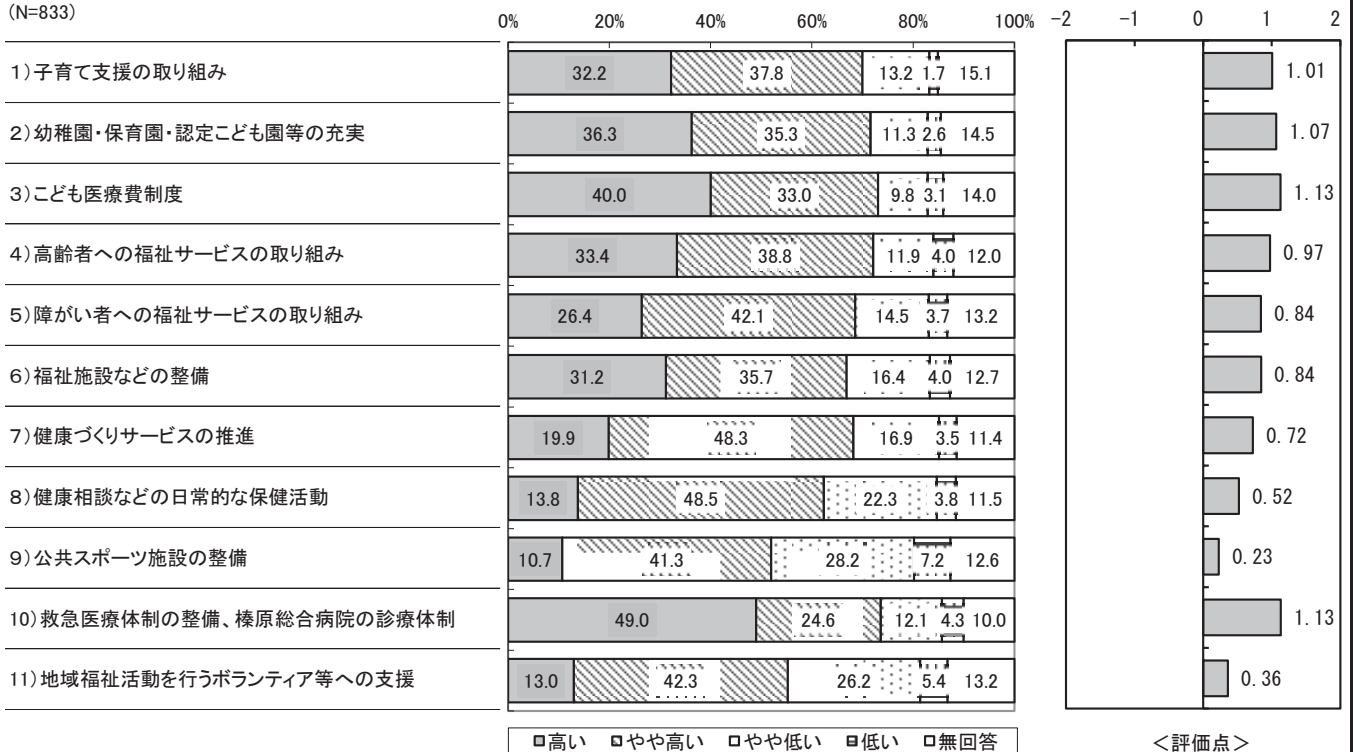
《【健康福祉】支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり》で満足度が高いのは、『3 こども医療費制度』で、「満足」が唯一1割を超えており、評価点が0.51点となっている。次いで評価点が高いのが『8 健康相談などの日常的な保健活動』で、評価点が0.29点となっている。

一方、『10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』は、「不満」が31.0%と約3割を占め高く、評価点も-0.68点と低い。次いで評価点が低いのが『6 福祉施設などの整備』で、評価点が-0.21点となっている。

《 【健康福祉】 支え合い、活き活きと暮らせる地域と人づくり 》

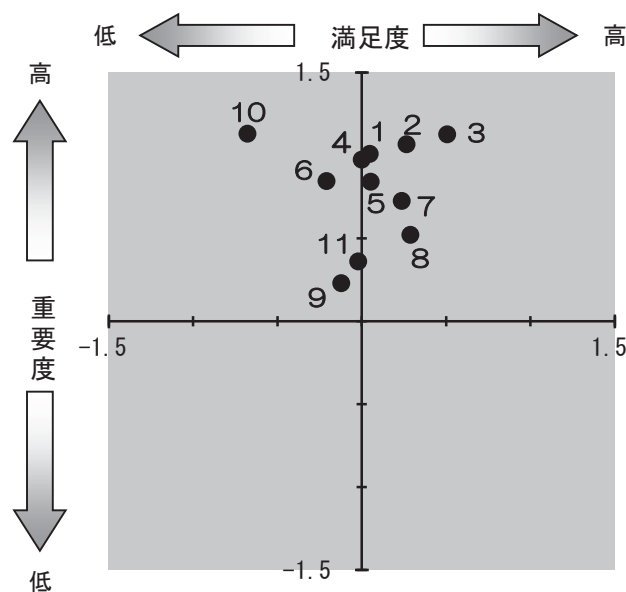
重要度

(N=833)



《【健康福祉】支え合い、活き活きと暮らせる地域と人づくり》で重要度が高いのは、『10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』で、「高い」が49.0%と約半数を占めており、評価点が1.13となっている。その他『3 こども医療費制度』が1.13点、『2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実』が1.07点、『1 子育て支援の取り組み』が1.01点となっており、この4項目は1.00点を超えている。

【健康福祉】支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり		満足度	重要度
1	子育て支援の取り組み	0.05	1.01
2	幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	0.27	1.07
3	こども医療費制度	0.51	1.13
4	高齢者への福祉サービスの取り組み	0.00	0.97
5	障がい者への福祉サービスの取り組み	0.05	0.84
6	福祉施設などの整備	-0.21	0.84
7	健康づくりサービスの推進	0.24	0.72
8	健康相談などの日常的な保健活動	0.29	0.52
9	公共スポーツ施設の整備	-0.12	0.23
10	救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制	-0.68	1.13
11	地域福祉活動を行うボランティア等への支援	-0.02	0.36
平均		0.03	0.80



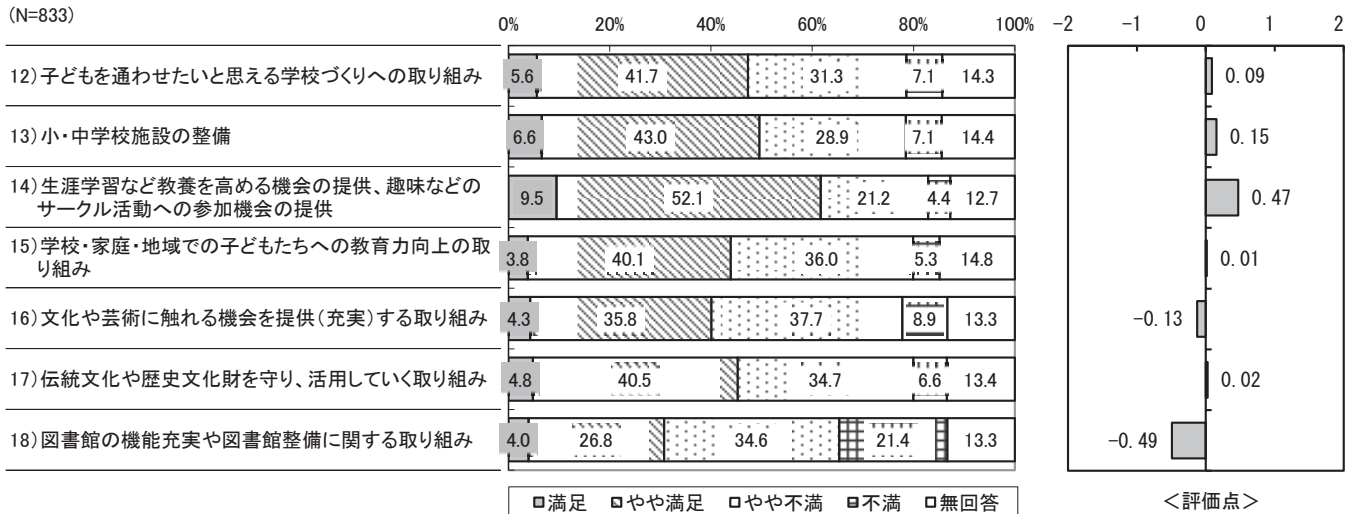
散布図でみると、『3 こども医療費制度』と『2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実』が、第1象限の上方に位置しており、特に重要度が高くなっていることが分かる。一方、『10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』は第2象限の上方に位置しており、重要度が高いものの、満足度は低くなっていることが分かる。



《 【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり 》

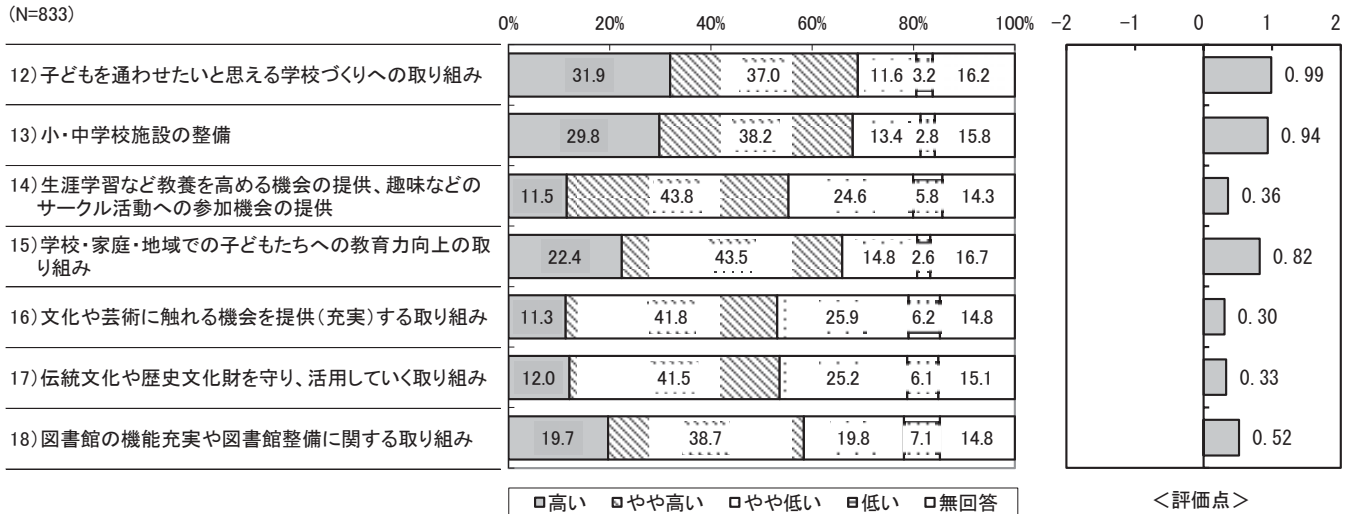
満足度

(N=833)



重要度

(N=833)



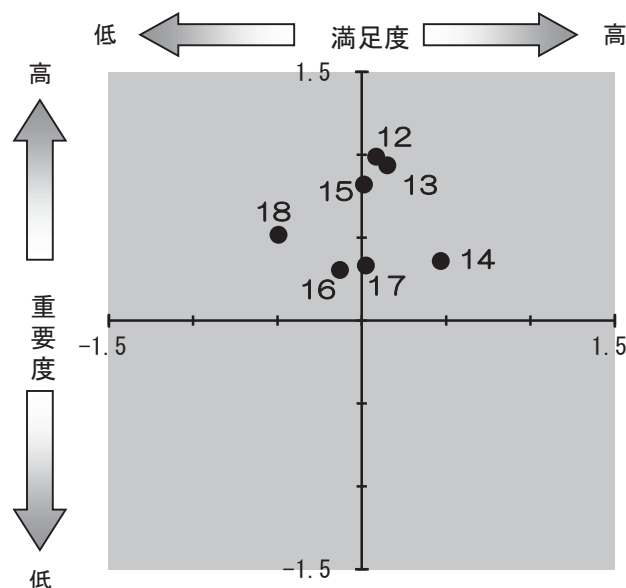
《【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり》で満足度が高いのは、『14 生涯学習など教養を高める機会の提供、趣味などのサークル活動への参加機会の提供』で、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が 61.6%と唯一6割を超えており、評価点が 0.47 点となっている。次いで評価点が高いのが『13 小・中学校施設の整備』で、評価点が 0.15 点となっている。

一方、『18 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み』は、「不満」が 21.4%と約2割を占め高く、評価点も-0.49 点と低い。次いで評価点が低いのが『16 文化や芸術に触れる機会を提供(充実)する取り組み』で、評価点が-0.13 点となっている。

《【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり》で重要度が高いのは、『12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み』で、「高い」が唯一3割を超えており、評価点は 0.99 点と

なっている。次いで『13 小・中学校施設の整備』が 0.94 点、『15 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取り組み』が 0.82 点となっている。

【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり		満足度	重要度
12	子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み	0.09	0.99
13	小・中学校施設の整備	0.15	0.94
14	生涯学習など教養を高める機会の提供、趣味などのサークル活動への参加機会の提供	0.47	0.36
15	学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取り組み	0.01	0.82
16	文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取り組み	-0.13	0.30
17	伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み	0.02	0.33
18	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み	-0.49	0.52
平均		0.02	0.61

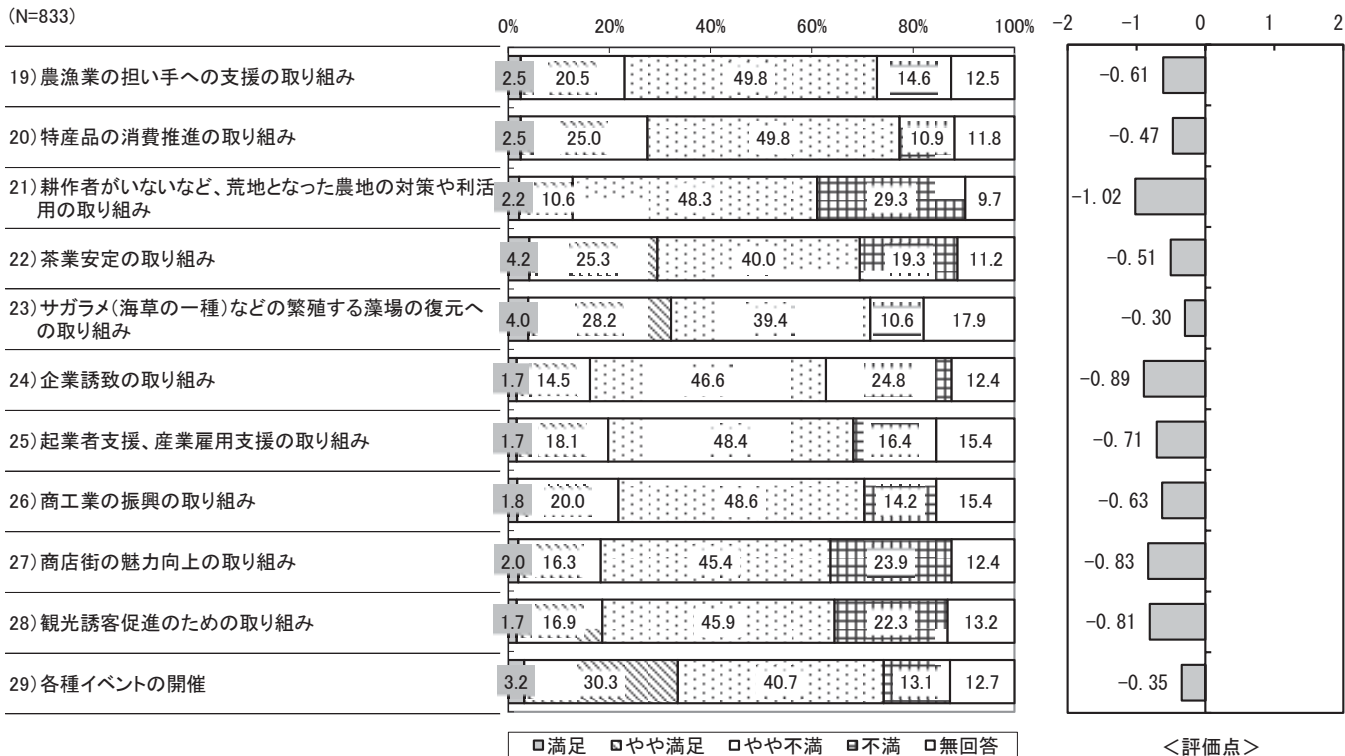


散布図でみると、『12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み』と『13 小・中学校施設の整備』が、第1象限の上方に位置しており、特に重要度が高くなっていることが分かる。一方、『18 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み』は第2象限に位置しており、重要度が高いものの、満足度は低くなっていることが分かる。

《 【産業経済】 活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり 》

満足度

(N=833)



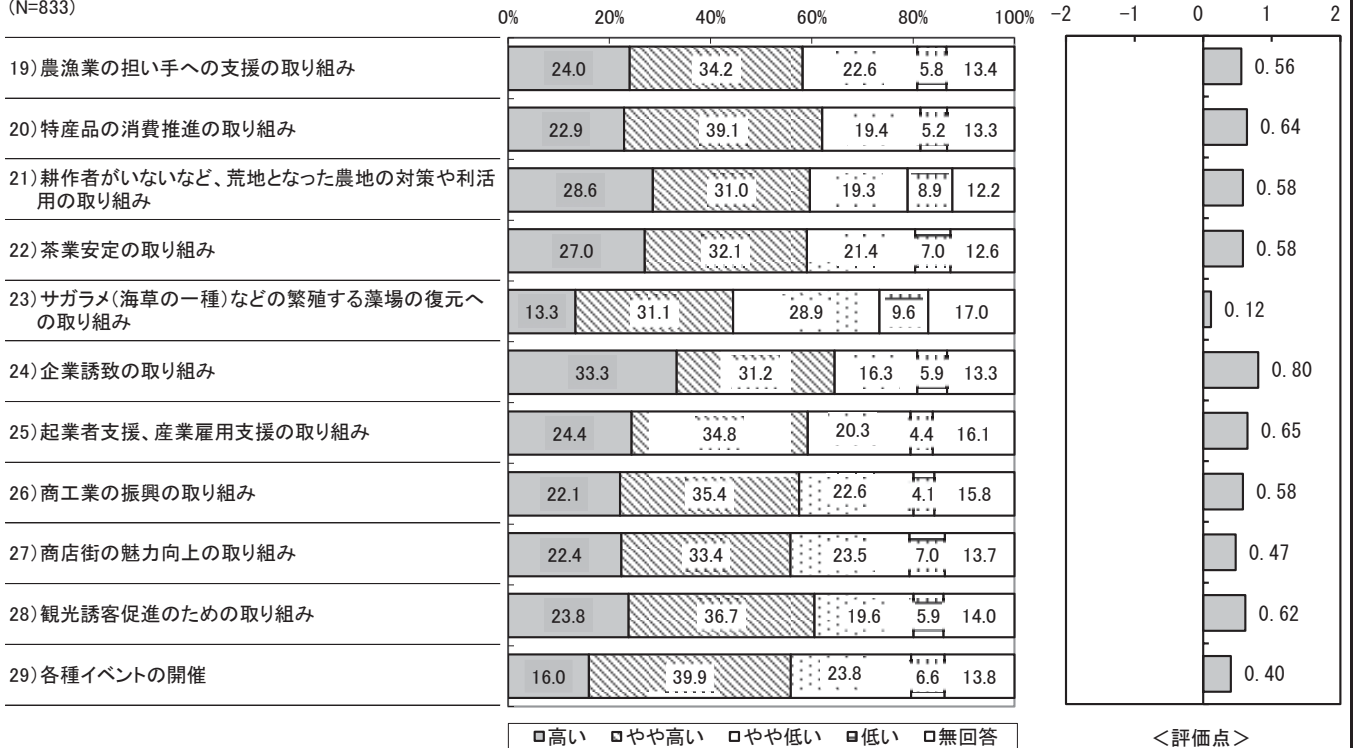
《【産業経済】 活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり》で満足度が高いのは、『23 サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み』で、評価点が-0.30点となっており、最も満足度が高い項目でもマイナスの評価点となっている。

最も満足度が低い項目である『21 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み』では、「不満」が29.3%、「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”は77.6%と約8割となっており、評価点が-1.02点となっている。

《 【産業経済】 活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり 》

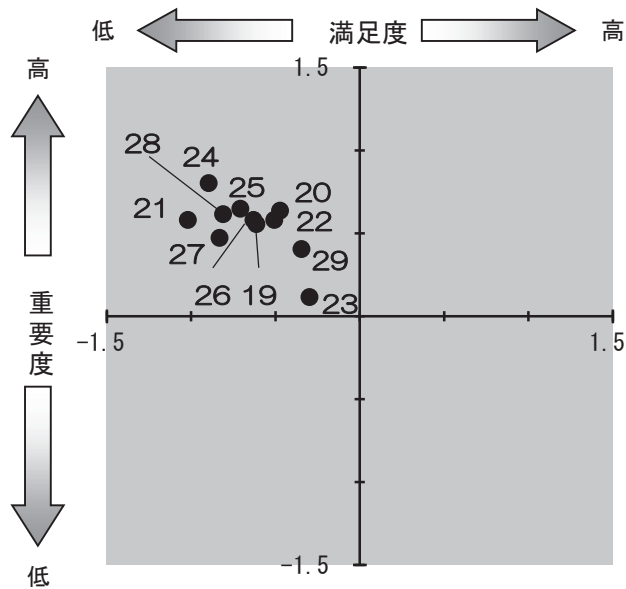
重要度

(N=833)



《【産業経済】 活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり》で重要度が高いのは、『24 企業誘致の取り組み』で「高い」が 33.3%と3割以上を占め高く、評価点も 0.80 点と高くなっている。次いで評価点が高いのは、『25 起業者支援、産業雇用支援の取り組み』が 0.65 点、『20 特産品の消費推進の取り組み』が 0.64 点、『28 観光誘客促進のための取り組み』が 0.62 点となっており、この4項目は 0.60 点を超えている。

【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり		満足度	重要度
19	農漁業の担い手への支援の取り組み	-0.61	0.56
20	特産品の消費推進の取り組み	-0.47	0.64
21	耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み	-1.02	0.58
22	茶業安定の取り組み	-0.51	0.58
23	サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み	-0.30	0.12
24	企業誘致の取り組み	-0.89	0.80
25	起業者支援、産業雇用支援の取り組み	-0.71	0.65
26	商工業の振興の取り組み	-0.63	0.58
27	商店街の魅力向上の取り組み	-0.83	0.47
28	観光誘客促進のための取り組み	-0.81	0.62
29	各種イベントの開催	-0.35	0.40
平均		-0.65	0.55



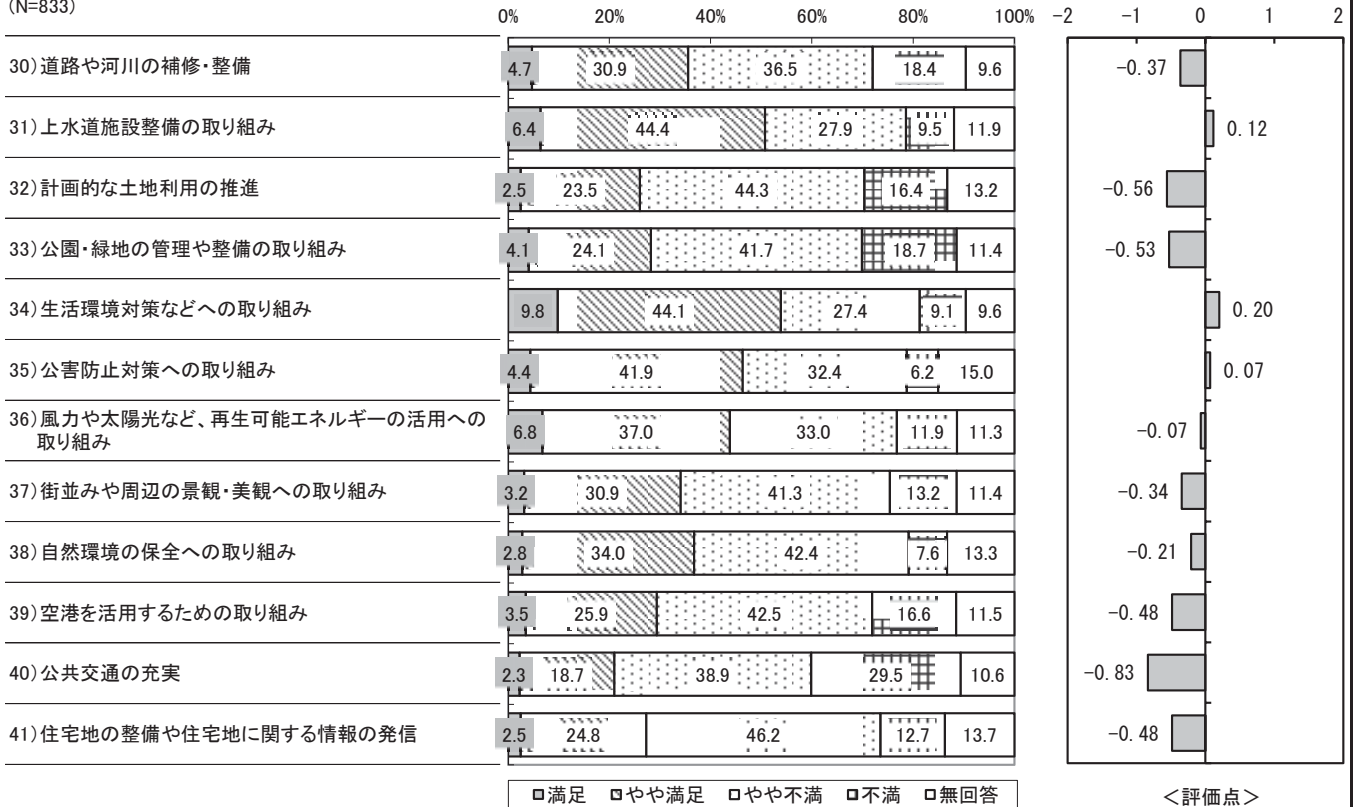
散布図でみると、いずれの項目も重要度の評価点はプラスで、満足度の評価点はマイナスの第2象限に位置している。

その中で、『21 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み』は、全項目において最も満足度が低くなっている。

《 【生活基盤】 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり 》

満足度

(N=833)



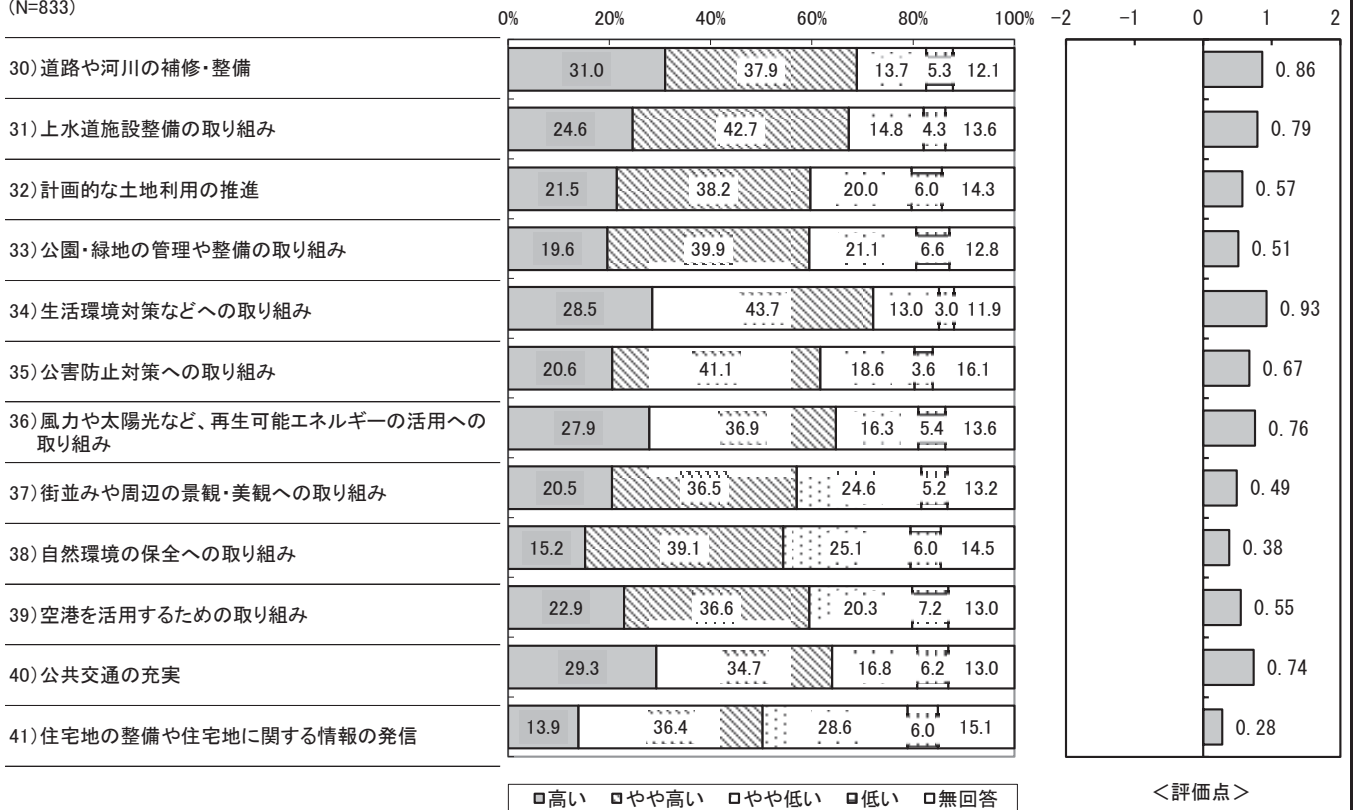
《【生活基盤】 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり》で満足度が高いのは、『34 生活環境対策などへの取り組み』と『31 上水道施設整備の取り組み』で、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が、それぞれ 53.9%、50.8%と半数を超え、評価点はそれぞれ 0.20 点、0.12 点となっている。その他、『35 公害防止対策への取り組み』が 0.07 点となっており、この3項目は満足度がプラスの評価点となっている。

一方、『40 公共交通の充実』では、「不満」が 29.5%と約3割を占めて最も高く、評価点も-0.83点と低い。次いで低いのが『32 計画的な土地利用の推進』で、評価点が-0.56点となっている。

《 【生活基盤】 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり 》

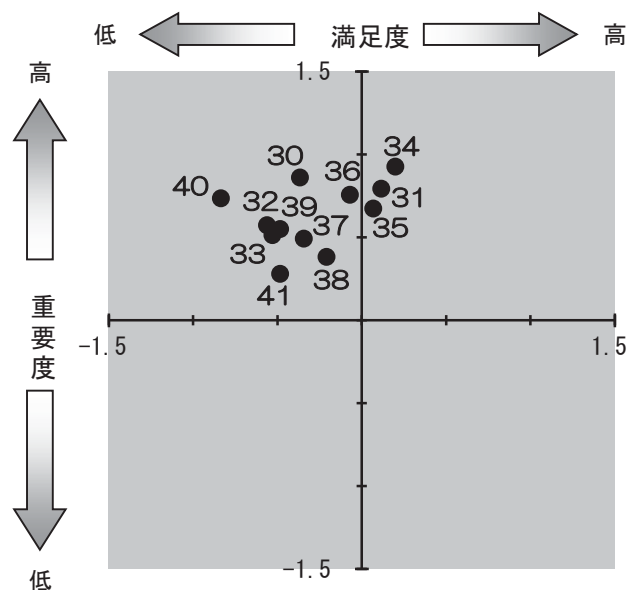
重要度

(N=833)



《【生活基盤】 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり》で重要度が高いのは、『34 生活環境対策などへの取り組み』で、「高い」と「やや高い」を合わせた“高い”が 72.2%と7割以上を占め、評価点は 0.93 点と最も高くなっている。次いで評価点が高いのは、『30 道路や河川の補修・整備』が 0.86 点、『31 上水道施設整備の取り組み』が 0.79 点、『36 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み』が 0.76 点となっている。

【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり		満足度	重要度
30	道路や河川の補修・整備	-0.37	0.86
31	上水道施設整備の取り組み	0.12	0.79
32	計画的な土地利用の推進	-0.56	0.57
33	公園・緑地の管理や整備の取り組み	-0.53	0.51
34	生活環境対策などへの取り組み	0.20	0.93
35	公害防止対策への取り組み	0.07	0.67
36	風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み	-0.07	0.76
37	街並みや周辺の景観・美観への取り組み	-0.34	0.49
38	自然環境の保全への取り組み	-0.21	0.38
39	空港を活用するための取り組み	-0.48	0.55
40	公共交通の充実	-0.83	0.74
41	住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	-0.48	0.28
平均		-0.29	0.63



散布図でみると、『34 生活環境対策などへの取り組み』、『31 上水道施設整備の取り組み』、『35 公害防止対策への取り組み』が、満足度も重要度も高い第1象限に位置している。

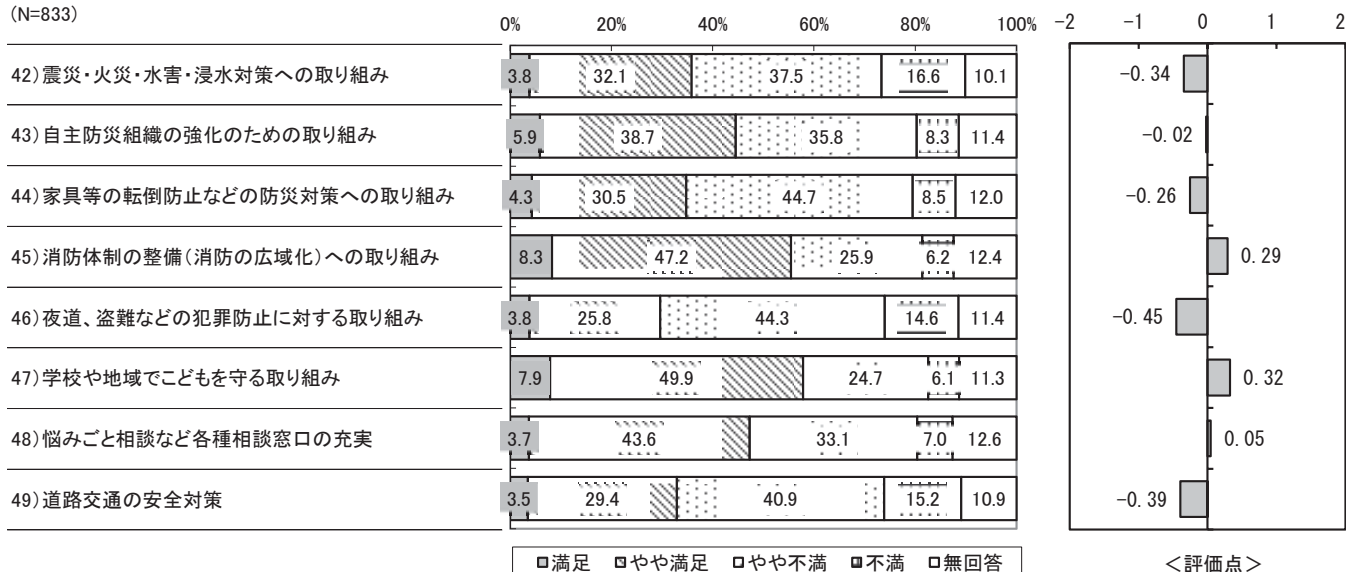
その他の全ての項目は、重要度の評価点はプラスで、満足度の評価点はマイナスの第2象限に位置している。



《 【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり 》

満足度

(N=833)



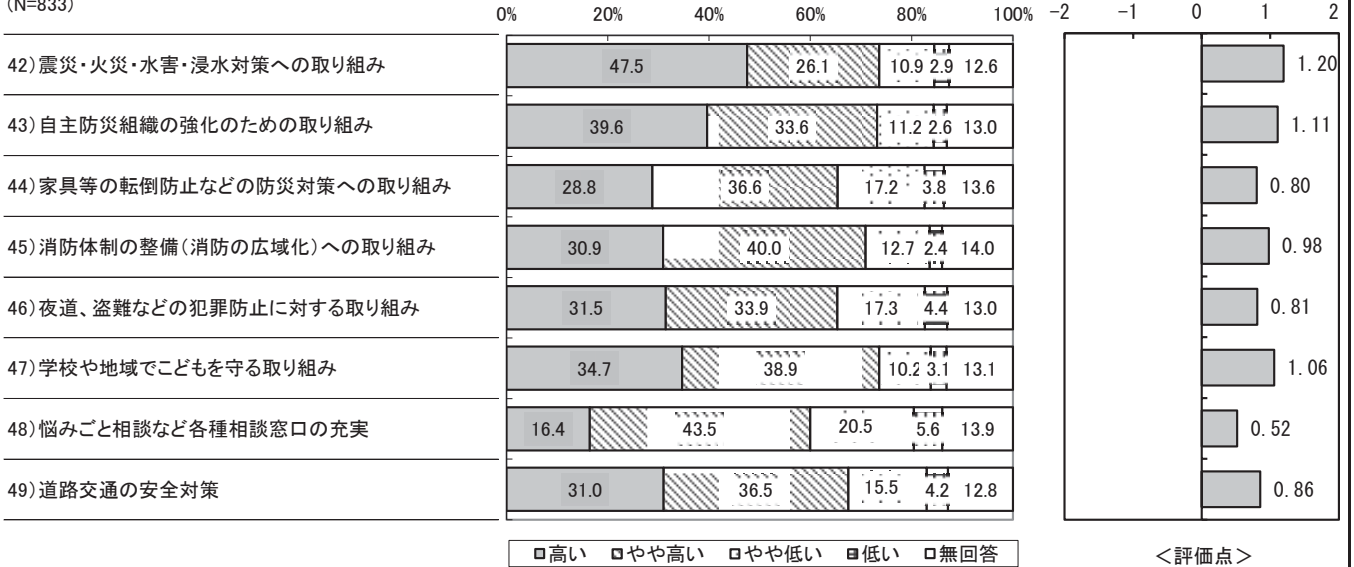
《【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり》で満足度が高いのは、『47 学校や地域で子どもを守る取り組み』と『45 消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み』で、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が、それぞれ 57.8%、55.5%と半数を超え、評価点は 0.32 点、0.29 点となっている。その他、『48 悩みごと相談など各種相談窓口の充実』が 0.05 点となっており、この 3 項目は満足度がプラスの評価点となっている。

一方、『46 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み』では、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”が 58.9%と約 6 割を占めて最も高く、評価点も -0.45 点と低い。次いで評価点が低いのが『49 道路交通の安全対策』で、評価点が -0.39 点となっている。

《 【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり 》

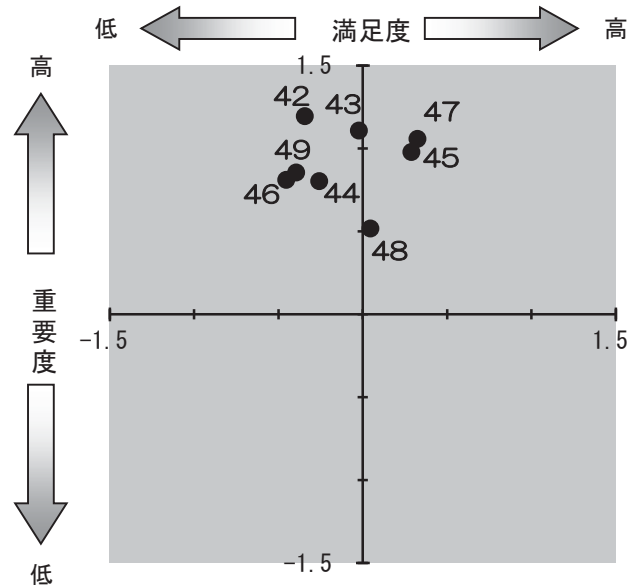
重要度

(N=833)



《【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり》で重要度が高いのは、『42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』で、「高い」が47.5%と約半数となっており、評価点は1.20点で、全項目の中で最も高い評価点となっている。次いで評価点が高いのは、『43 自主防災組織の強化のための取り組み』が1.11点、『47 学校や地域で子どもを守る取り組み』が1.06点となっており、この3項目は1.00点以上となっている。

【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり		満足度	重要度
42	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	-0.34	1.20
43	自主防災組織の強化のための取り組み	-0.02	1.11
44	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	-0.26	0.80
45	消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み	0.29	0.98
46	夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み	-0.45	0.81
47	学校や地域で子どもを守る取り組み	0.32	1.06
48	悩みごと相談など各種相談窓口の充実	0.05	0.52
49	道路交通の安全対策	-0.39	0.86
平均		-0.10	0.92



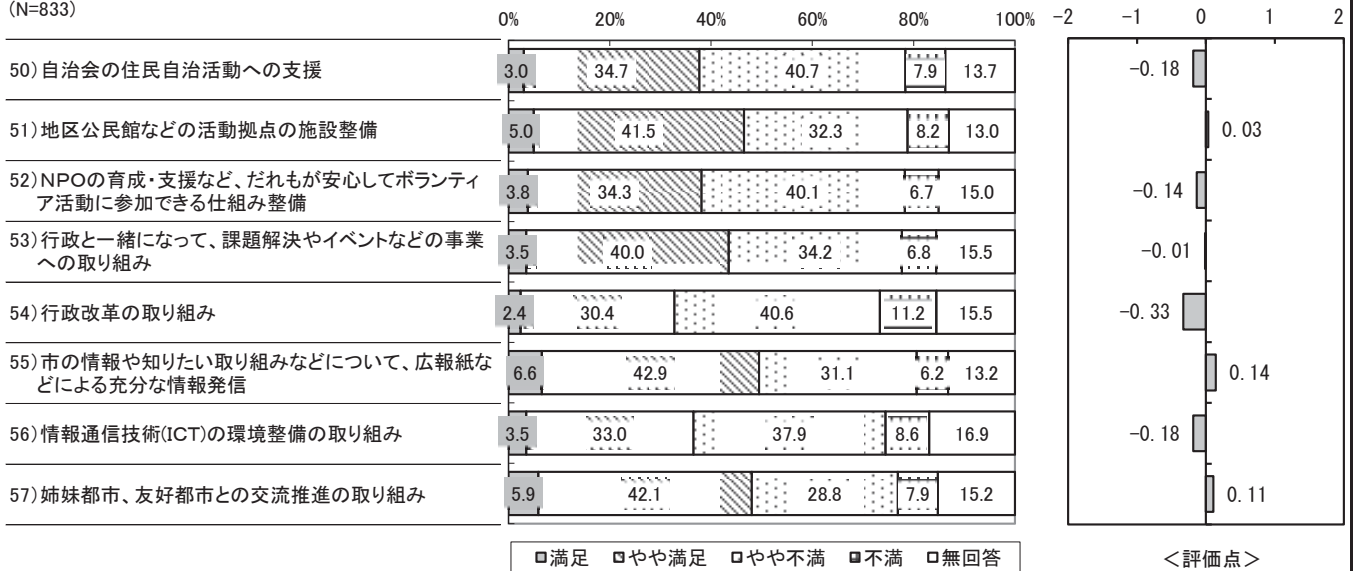
散布図でみると、『47 学校や地域で子どもを守る取り組み』、『45 消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み』、『48 悩みごと相談など各種相談窓口の充実』が、満足度も重要度も高い第1象限に位置している。

一方、『42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』は第2象限の上方に位置しており、重要度が高いものの、満足度は低くなっていることが分かる。また、全ての項目で重要度が高くなっている。

## 《 【市政経営】 実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり 》

### 満足度

(N=833)



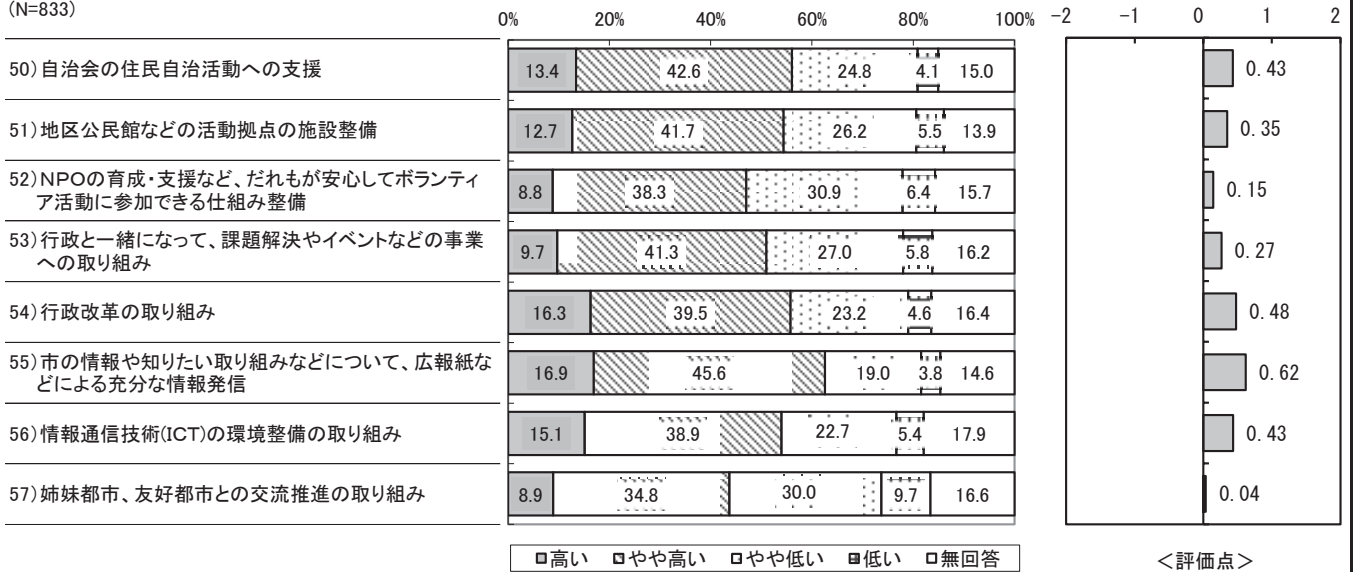
《【市政経営】 実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり》で満足度が高いのは、『55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』と『57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み』で、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が、それぞれ49.5%、48.0%と半数近くを占め、評価点は0.14点、0.11点となっている。その他、『51 地区公民館などの活動拠点の施設整備』が0.03点となっており、この3項目は満足度がプラスの評価点となっている。

一方、『54 行政改革の取り組み』では、「不満」が11.2%と1割を超えて最も高く、評価点も-0.33点と低い。次いで評価点が低いのが『50 自治会の住民自治活動への支援』と『56 情報通信技術（ICT）の環境整備の取り組み』で、評価点はともに-0.18点となっている。

## 《 【市政経営】 実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり 》

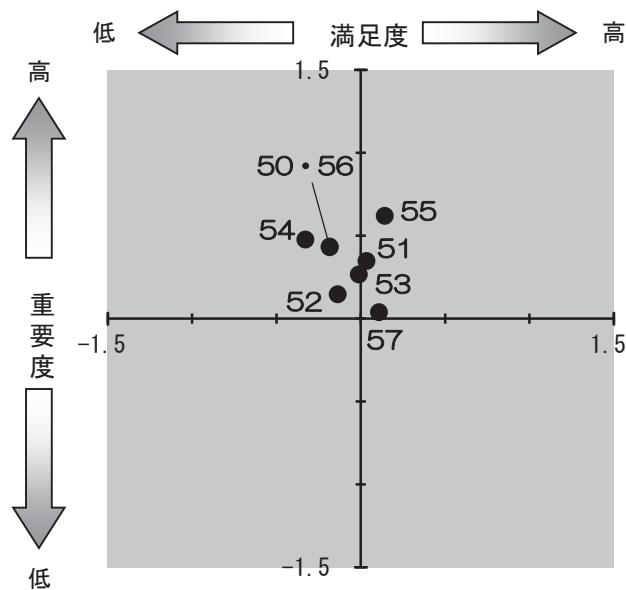
### 重要度

(N=833)



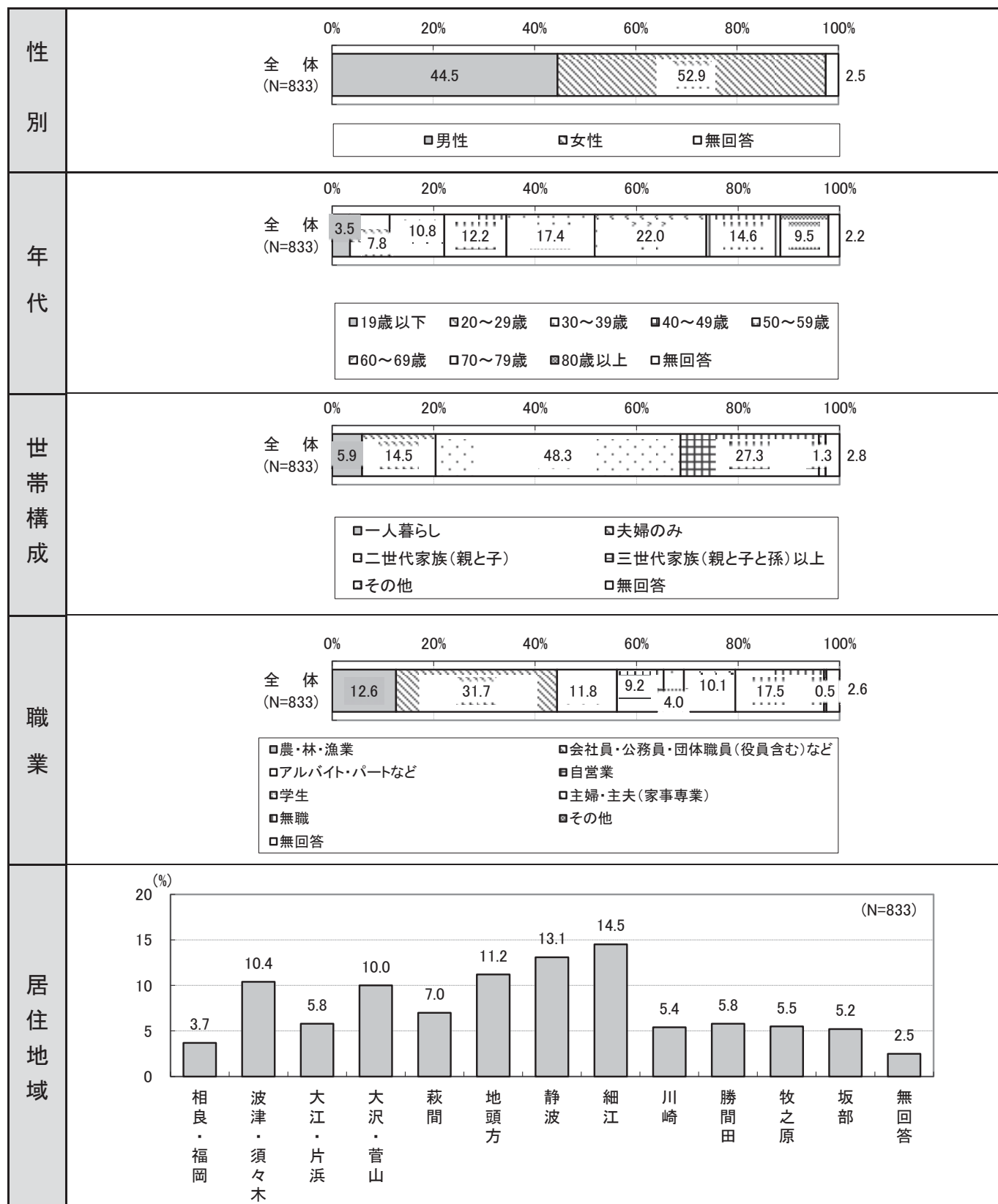
《【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり》で重要度が高いのは、『55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』で、「高い」と「やや高い」を合わせた“高い”が 62.5%と6割以上を占め、評価点は 0.62 点と最も高くなっている。次いで評価点が高いのは、『54 行政改革の取り組み』が 0.48 点、『50 自治会の住民自治活動への支援』と『56 情報通信技術（ICT）の環境整備の取り組み』がともに 0.43 点となっている。

【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり		満足度	重要度
50	自治会の住民自治活動への支援	-0.18	0.43
51	地区公民館などの活動拠点の施設整備	0.03	0.35
52	NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組み整備	-0.14	0.15
53	行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業への取り組み	-0.01	0.27
54	行政改革の取り組み	-0.33	0.48
55	市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信	0.14	0.62
56	情報通信技術（ICT）の環境整備の取り組み	-0.18	0.43
57	姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み	0.11	0.04
平均		-0.07	0.34



散布図でみると、『55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』、『51 地区公民館などの活動拠点の施設整備』、『57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み』が、満足度も重要度も高い第1象限に位置している。

## <回答者の属性>



性別は、「男性」が44.5%に対して、「女性」が52.9%と、女性の方が8.4ポイント高くなっている。

年代は、「60～69歳」が22.0%で最も高く、次いで「50～59歳」が17.4%、「70～79歳」が14.6%などとなっている。

居住地は、「細江」が14.5%で最も高く、次いで「静波」が13.1%、「地頭方」が11.2%などとなっている。

### 3 調査票

牧之原市の取り組みに「あなたの声」を聞かせてください!

# 牧之原市 市民意識調査

～ 調査ご協力 の お 願 い ～

日ごろより市政推進のためにご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、牧之原市では、「対話による協働のまちづくり」のもと、1,500人を超える市民が関わり策定した「第2次総合計画」が、本年度スタートしました。

新しい総合計画では、将来都市像「絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う NEXTまきのはら」を実現するため、28の施策すべてに設定した数値目標を毎年検証し、改善するPDCAサイクルを本格稼働させます。

この調査は、市民の皆様の声をお聞きすると共に、総合計画に設定した数値目標の進捗をチェックするために実施するものです。

調査の対象は、市内にお住まいの16歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた1,400人の方々としており、この度、あなたに回答をお願いすることとなりました。

調査結果は、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。また、回答した個人は特定されませんのでご安心ください。

設問数が多く、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、皆様の声を必ず市政に反映しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、調査結果については、本年7月に公表を予定しています。

平成27年5月

牧之原市長 西原茂樹



#### ■記入にあたってのお願い

1. この調査はあて名のご本人がご記入ください。

※ご本人が高齢等で記入できない場合は、お手数ですが、ご家族が聞き取り等でご記入ください（ご家族がご対応できない場合は職員が伺いますので、下記担当までご連絡ください）。

2. 回答は無記名でお願いします。

3. 回答は、設問ごとに（1つに○）、（3つ以内）などそれぞれ指定されています。

お間違えのないようお気を付けください。

○は番号を囲むように濃くつけてください。例（①）

#### ■調査票の返送と調査に関するお問合せ

調査票への記入が済みましたら、同封した返信用封筒により、市役所政策協働部企画課までご返送ください。（切手は不要です。）

お手数をお掛けしますが、お近くの郵便ポストへ5月15日（金）までにご投函ください。

この調査や質問内容についてのお問い合わせは下記までお願いします。

牧之原市 政策協働部 企画課（担当：石川・大倉） 電話0548-23-0040



**<牧之原市での暮らしについてお聞きします>**

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後とも住み続けたいと思いますか？あてはまるものに1つ ○印をつけてください。

1. 住み続けたい	2. 市内の他の場所へ移りたい
3. 市外へ移りたい	4. わからない

(問1で「2. 市内の他の場所へ移りたい」または「3. 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きします。)

▶ 問2 他の地域へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 公共施設や商店がなく生活に不便だから	2. 通勤や通学など交通面が不便だから
3. 道路などの生活基盤が整備されていないから	4. 子育てや教育環境が良くないから
5. 医療や介護の環境が良くないから	6. 自然環境が悪化しているから
7. 地震や津波などの被災のおそれがあるから	8. 人間関係やしきたり等が煩わしいから
9. 知人や親族がいないから	10. 故郷ではないから
11. 勤めたい会社が市内にないから	12. その他（具体的に： _____）

問3 あなたは、今現在、幸せだと思いますか？あてはまるものに1つ ○印をつけてください。

1. 大いに思う	2. ある程度思う	3. どちらともいえない
4. あまり思わない	5. まったく思わない	6. わからない

(問3 で「1. 大いに思う」または「2. ある程度思う」と答えた方にお聞きします。)

▶ 問4 幸せだと思う理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 健康であるから	2. 生きがいがあるから	3. 生活環境が良好であるから
4. 家族や友人との関係が良好だから	5. 治安が保たれているから	6. 住まいがあるから
7. 生活に余裕があるから	8. 災害がないから	9. 食生活が良好であるから
10. いい職場に勤めているから	11. 活躍できる場があるから	12. 社会貢献する場があるから
13. スポーツ活動が充実しているから	14. その他（具体的に： _____）	

## <原子力発電についてお聞きします>

問5 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

1. 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい
2. 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい
3. どちらともいえない
4. わからない
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

## <子育て環境についてお聞きします>

問6 あなたは、牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと思えますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- |            |             |              |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う   | 2. ある程度思う   | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない     |

問7 あなたは、子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことはどれだと思えますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 小児科や産婦人科などの医療機関の充実
2. 親子で遊べる施設や公園の整備
3. 医療費の無料化
4. 悩みごとを話せる相談窓口の充実
5. 教育・文化水準の向上
6. 一時的に子どもを預かる施設
7. 地震・津波などの災害対策
8. 地域で子どもを育てる意識の向上
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

## <“公共施設の更新問題”についてお聞きします>

日本では、昭和 40 年代から 50 年代にかけて、高度経済成長や都市化の進展に伴い、道路や橋を含めた公共施設を一斉に整備しました。現在、これらの公共施設は、一斉に老朽化しつつあり、また、近い将来、一斉に作り直さなければいけない時期を迎えますが、高齢化と人口減少が進む中で財政状況は悪化し、すべての公共施設を維持することが難しくなります。

このことは、「公共施設の更新問題（老朽化問題）」と呼ばれています。

問 8 あなたは、この「公共施設の更新問題（老朽化問題）」を知っていましたか？あてはまるものに 1 〇印をつけてください。

1. 知っている

2. 聞いたことがある

3. 知らない

問 9 牧之原市では、この「公共施設の更新問題（老朽化問題）」に対応するための取り組みを始めました。あなたは、この取り組みを知っていましたか？あてはまるものに 1 〇印をつけてください。

1. 知っている

2. 聞いたことがある

3. 知らない

（問 9 で「1. 知っている」または「2. 聞いたことがある」と答えた方にお聞きします。）

▶ 問 10 その情報をなにで見聞きしましたか？あてはまるもの全てに 〇印をつけてください。

1. 広報まきのほら

2. ホームページ

3. 市の会合

4. 市民グループの会合

5. 職員の話

6. 議員の話

7. 家族や知人

8. その他 ( )

問 11 「公共施設の更新問題（老朽化問題）」への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合があります。このことに対して、あなたはどう思いますか？あてはまるものに 1 〇印をつけてください。

1. 容認できる

2. ある程度までは容認できる

3. 容認できない



**<“地域活動”についてお聞きします>**

問 15 あなたは、週に何日くらい外出しますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- |         |           |           |
|---------|-----------|-----------|
| 1. 毎日   | 2. 週に4～5日 | 3. 週に2～3日 |
| 4. 週に1日 | 5. ほとんどない |           |

問 16 あなたは何のために外出しますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- |                    |                      |          |
|--------------------|----------------------|----------|
| 1. 買い物             | 2. 仕事（農作業含む）         | 3. 通学    |
| 4. 塾               | 5. スポーツや部活動          | 6. 外食    |
| 7. 旅行              | 8. 散歩                | 9. 趣味や娯楽 |
| 10. 医療機関への通院       | 11. 学習活動             | 12. 地域活動 |
| 13. 友人や子どもの家などへの訪問 | 14. その他（具体的に： _____） |          |
| 15. 外出はほとんどしない     |                      |          |

問 17 あなたが現在参加している地域活動は何ですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 地域の計画づくり（地域の絆づくり等）         |
| 2. 防犯や防災（防犯活動、防災訓練、交通安全運動等）   |
| 3. 子育て支援（子育てサークル・託児ボランティアを含む） |
| 4. 高齢者や障害者の支援                 |
| 5. 健康づくり                      |
| 6. スポーツ（地区のスポーツ大会、スポーツ少年団等）   |
| 7. 環境美化や保全                    |
| 8. 公園や施設の維持管理                 |
| 9. イベントの開催                    |
| 10. 文化芸術（伝統行事、まつり等）           |
| 11. 学校行事（子ども会、PTA活動等）         |
| 12. 自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）       |
| 13. 生涯学習                      |
| 14. その他（具体的に： _____）          |
| 15. 参加していない                   |

問 18 あなたは、地域活動の活発・活性化に必要なだと思うことは何ですか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- |               |                      |
|---------------|----------------------|
| 1. 住民の自治意識の向上 | 2. 行政と住民との地域情報の共有    |
| 3. 人材育成       | 4. 活動拠点の整備           |
| 5. 行政からの人的支援  | 6. 地域のことは地域に任せる      |
| 7. 各種組織団体の連携  | 8. 活動団体の自己財源の確保      |
| 9. 行政からの財政支援  | 10. その他（具体的に： _____） |

**<市からの情報発信についてお聞きします>**

問 19 あなたは、市からの情報の中で、どんな情報を得たいと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- |                |                      |          |
|----------------|----------------------|----------|
| 1. 子育て         | 2. 健康・医療・福祉          | 3. 防災・防犯 |
| 4. 道路整備        | 5. 観光・イベント           | 6. 環境    |
| 7. 教育          | 8. 産業                | 9. 生活    |
| 10. スポーツ・文化・歴史 | 11. その他（具体的に： _____） |          |

問 20 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- |                      |               |             |
|----------------------|---------------|-------------|
| 1. 広報まきのはら           | 2. ホームページ     | 3. フェイスブック  |
| 4. 教育委員会だより          | 5. 新聞、テレビ、ラジオ | 6. 区、町内会の会合 |
| 7. 市民グループの会合         | 8. 議員の話       | 9. 職員の話     |
| 10. 家族や知人            | 11. 公共施設の資料等  | 12. 議会だより   |
| 13. その他（具体的に： _____） |               |             |

→（問 20 で「1. 広報まきのはら」と答えた方にお聞きします。）

問 21 広報まきのはらのどこを読みますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- |                       |           |                  |
|-----------------------|-----------|------------------|
| 1. 全て                 | 2. 表紙     | 3. 特集・お知らせ       |
| 4. 市政情報               | 5. まちのわだい | 6. 健康ひろば（各検診日程等） |
| 7. 困りごと・悩みごと相談        | 8. 牧人     | 9. 図書館へ行こうよ      |
| 10. 集まれ！まきのはら K I D S | 11. 生活情報  | 12. 巻末特集         |
| 13. 輝け！未来（裏表紙）        |           |                  |

問 22 あなたは、広報まきのはらの構成や内容などについてどう思いますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに1つ○印をつけてください。

文字の大きさ	1. 大きい	2. ちょうど良い	3. 小さい		
文字の量	1. 多い	2. ちょうど良い	3. 少ない		
ページ数	1. 多い	2. ちょうど良い	3. 少ない		
見やすさ	1. 見やすい	2. どちらかといえ ば見やすい	3. どちらかといえ ば見にくい	4. 見にくい	5. どちらとも いえない
内容	1. 良い	2. どちらかといえ ば良い	3. どちらかといえ ば悪い	4. 悪い	5. どちらとも いえない

### <牧之原市の行政サービスについてお聞きします>

問 23 あなたは、市の取り組みについて満足していますか？ また、その取り組みが重要であると考えますか？ それぞれの項目ごとにあてはまるものに○印をつけてください。

※取り組みによっては、あなたに直接関係のない取り組みも含まれるかもしれませんが、ご家族や知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○印をつけてください。

(満足度・重要度について、○はそれぞれ1つずつ)

評価項目	満足度				重要度			
	満足 ←		→ 不満		高い ←		→ 低い	
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
〔記入例〕 行政改革の取り組み	1	2	③	4	1	②	3	4
<b>【健康福祉】 支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり</b>								
1 子育て支援の取り組み (放課後児童クラブや学習支援教室などの取り組み、 子育て支援センターや児童館の施設整備など)	1	2	3	4	1	2	3	4
2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
3 こども医療費制度 (現在、中学生まで医療費助成を行っています。 基本的には1回の受診は個人負担が500円)	1	2	3	4	1	2	3	4
4 高齢者への福祉サービスの取り組み (介護予防や高齢者の自主的な活動への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
5 障がい者への福祉サービスの取り組み (生活支援の取り組みなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
6 福祉施設などの整備(介護の必要な方や障がいのある方が利用する施設などの整備)	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
7 健康づくりサービスの推進 (介護予防、健診、スポーツ支援)	1	2	3	4	1	2	3	4
8 健康相談などの日常的な保健活動	1	2	3	4	1	2	3	4
9 公共スポーツ施設の整備 (グラウンド、体育館、プール、テニスコートなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制 (平成22年3月から指定管理者制度が導入されています。)	1	2	3	4	1	2	3	4
11 地域福祉活動を行うボランティア等への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
<b>【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり</b>								
12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの 取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
13 小・中学校施設の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
14 生涯学習など教養を高める機会の提供 趣味などのサークル活動への参加機会の提供 (はりはら塾や田沼塾などの取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
15 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向 上の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
16 文化や芸術に触れる機会を提供(充実)する取 り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
17 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取 り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
18 図書館の機能充実や図書館整備に関する取 り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
<b>【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり</b>								
19 農漁業の担い手への支援の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
20 特産品の消費推進の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
21 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策 や利活用の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
22 茶業安定の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4



評価項目	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
23 サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
24 企業誘致の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
25 起業者支援、産業雇用支援の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
26 商工業の振興の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
27 商店街の魅力向上の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
28 観光誘客促進のための取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
29 各種イベントの開催	1	2	3	4	1	2	3	4
<b>【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり</b>								
30 道路や河川の補修・整備	1	2	3	4	1	2	3	4
31 上水道施設整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
32 計画的な土地利用の推進 （住宅地、商業地、工場、農地など土地利用の特性に基づいた機能分担）	1	2	3	4	1	2	3	4
33 公園・緑地の管理や整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
34 生活環境対策などへの取り組み （ゴミの収集や処理、ゴミ減量化の啓発、資源回収への支援など）	1	2	3	4	1	2	3	4
35 公害防止対策への取り組み （工場や事業所に対する取り組み）	1	2	3	4	1	2	3	4
36 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
37 街並みや周辺の景観・美観への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
38 自然環境の保全への取り組み （活動団体への支援など）	1	2	3	4	1	2	3	4
39 空港を活用するための取り組み （情報発信や交流の推進）	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
40 公共交通の充実（バス交通など） （通勤・通学など生活交通の利便性向上、日常の買い物の利便性の向上の取り組み）	1	2	3	4	1	2	3	4
41 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	1	2	3	4	1	2	3	4
<b>【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり</b>								
42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
43 自主防災組織の強化のための取り組み （防災訓練や防災資機材整備の補助など防災体制整備への取り組みなど）	1	2	3	4	1	2	3	4
44 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
45 消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
46 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
47 学校や地域で子どもを守る取り組み （軒先運動や青色パトロールなど）	1	2	3	4	1	2	3	4
48 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
49 道路交通の安全対策 （歩道などの整備）	1	2	3	4	1	2	3	4
<b>【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり</b>								
50 自治会の住民自治活動への支援 （お金と人の支援）	1	2	3	4	1	2	3	4
51 地区公民館などの活動拠点の施設整備	1	2	3	4	1	2	3	4
52 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組み整備	1	2	3	4	1	2	3	4
53 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業への取り組み（市では協働を進めています。）	1	2	3	4	1	2	3	4
54 行政改革の取り組み （効果的、効率的な取り組み）	1	2	3	4	1	2	3	4
55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
56 情報通信技術（ICT）の環境整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み （市では三戸町、松川町など、交流推進に取り組んでいます）	1	2	3	4	1	2	3	4

**<あなたご自身のことについてお聞きします>**

問 24 それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。

1 あなたの性別は？

1. 男 性	2. 女 性
--------	--------

2 あなたの年齢は？

1. 19歳以下	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70～79歳	8. 80歳以上

3 あなたを含む同居世帯の構成は？（○はひとつ）

1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ	3. 二世世代家族（親と子）
4. 三世世代家族（親と子と孫）以上	5. その他（ ）	

4 あなたの職業は？

1. 農・林・漁業	2. 会社員・公務員・団体職員（役員含む）など
3. アルバイト・パートなど	4. 自営業
5. 学 生	6. 主婦・主夫（家事専業）
7. 無 職	8. その他（ ）

5 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？

1. 相良・福岡	2. 波津・須々木	3. 大江・片浜	4. 大沢・菅山
5. 萩 間	6. 地頭方	7. 静 波	8. 細 江
9. 川 崎	10. 勝間田	11. 牧之原	12. 坂 部

**次ページの質問へのご回答もお願いします。**

**<日ごろ思うことを、なんでもお書きください>**

問 25 日ごろ暮らしの中で、感じていることや考えていること、市の取り組みやまちづくりに対するアイデアなど、ご自由にお書きください。




チャーフィン

**ご協力ありがとうございました。**



マキティー

**お手数ですが、この調査票を同封の返信用封筒にお入れいただき、お近くの郵便ポストに5月15日（金）までにご投函ください。**

平成 27 年度  
牧之原市 市民意識調査  
報 告 書

発 行 平成 27 年 6 月  
発 行 者 牧 之 原 市  
企画・編集 政策協働部 企画課  
〒421-0495  
静岡県牧之原市静波 447 番地 1  
TEL : 0548-23-0040 FAX : 0548-23-0059  
E-Mail kikaku@city.makinohara.shizuoka.jp  
<http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/>